

第五十六回 帝國議會 貴族院議事速記録第三十四號

昭和四年三月二十五日(月曜日)

午前十時二十三分開議

議事日程 第三十四號 昭和四年三月二十五日

午前十時開議

第一 昭和四年度歲入歲出總豫算追加案(第一號) 會 議(委員長報告)

第二 昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號) 會 議(委員長報告)

第三 昭和四年度歲入歲出總豫算追加案(第三號) 會 議(委員長報告)

第四 昭和四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號) 會 議(委員長報告)

第五 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號) 會 議(委員長報告)

第六 府縣制中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 市制中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 町村制中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 北海道會法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 北海道地方費法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 衆議院議員選舉法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十五 議院法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十六 出版法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十七 新聞紙法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十八 樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十九 刑法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十 違警罪即決例中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十一 行政執行法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十二 刑ノ執行又ハ勾留ニ因ル補償ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十三 家祿賞典祿給與未濟ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十四 耕地整理法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十五 農會法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十六 質屋取締法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十七 古物商取締法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十八 牧野法案(衆議院提出) 第一讀會

第二十九 六大都市ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第三十 議院建築速成ニ關スル建議案(公爵近衛文麿君外七名發議) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十一 外人來遊ニ關スル建議案(公爵一條實孝君外五名發議) 會 議

第三十二 漁業組合指導施設改善ノ請願 會 議

第三十三 船員保險法ニ關スル請願 會 議

第三十四 青森海事部出張所ヲ札幌遞信局ノ管轄ト爲スノ請願 會 議

第三十五 群馬縣下ノ大正用水掘鑿ニ關スル請願 會 議

第三十六 盲及聾啞學齡兒童義務教育制度制定ノ請願 會 議

第三十七 財團法人日本少年指導會ニ對シ助成金下付ノ請願 會 議

第三十八	津山區裁判所出張所設置ノ請願	會	議
第三十九	和歌山縣有田郡五西月村大字青田ニ無集配郵便局設置ノ請願	會	議
第四十	霧多布燈臺建設ノ請願	會	議
第四十一	名寄區裁判所出張所設置ノ請願	會	議
第四十二	靱薄播獎勵ニ關スル請願	會	議
第四十三	岩見澤區裁判所出張所設置ノ請願	會	議
第四十四	落石燈臺ニ霧笛及納沙布水道ニ航路標識設置ノ請願	會	議
第四十五	北海道中川郡西足寄村ニ登記所設置ノ請願	會	議
第四十六	古物商取締法中改正ノ請願	會	議
第四十七	秋田縣雄勝郡稻庭町ニ登記所設置ノ請願	會	議
第四十八	藤原光親卿外四卿ヲ奉祀スル別格官幣社創建ノ請願	會	議
第四十九	上田區裁判所出張所設置ノ請願	會	議
第五十	大分、熊本間直通電話架設其ノ他ニ關スル請願	會	議
第五十一	陸軍火藥製造所在地京都府宇治郡宇治村ニ助成金下付ノ請願	會	議
第五十二	愛知縣知多郡常滑町ニ登記所設置ノ請願	會	議
第五十三	柳津、小出及只見、古町間鐵道敷設ノ請願	會	議
第五十四	北海道旭川市ニ官立高等工業學校設立ノ請願	會	議
第五十五	兵庫縣川邊郡小田村潮江ニ無集配三等郵便局設置ノ請願	會	議
第五十六	津輕新城郵便局ニ電話事務開始ノ請願	會	議
第五十七	東海道本線鐵道靜岡驛構內森下踏切ヲ地下道ト爲スノ請願	會	議
第五十八	米價調節ニ關スル請願	會	議
第五十九	北海道土功組合事業助成ニ關スル請願	會	議
第六十	石狩川架橋ノ請願	會	議
第六十一	清津、敦賀間直通命令航路開始ノ請願	會	議
第六十二	福島地方裁判所白河支部存置ノ請願	會	議

第六十三	大任郵便局ニ集配及電信事務開始ノ請願	會	議
第六十四	一時金廢兵恩給法改正即行ニ關スル請願	會	議
第六十五	北海道空知郡瀧川町ニ區裁判所設置ノ請願	會	議
第六十六	増毛區裁判所出張所設置ノ請願	會	議
第六十七	北海道檜山郡上ノ國村大字上ノ國村ニ無集配郵便局設置ノ請願	會	議
第六十八	北海道枝幸郡頓別村字濱頓別市街ニ區裁判所設置ノ請願	會	議
第六十九	青森縣東津輕郡原別村ニ三等郵便局設置ノ請願	會	議
第七十	軍人傷痍記章令中改正ノ請願	會	議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

昨二十四日本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和二年第一豫備金支出ノ件

昭和二年特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和二年特別會計豫備費支出ノ件

昭和二年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件追加

昭和二年特別會計第二豫備金支出ノ件追加

昭和二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件追加

昭和三年度第二豫備金支出ノ件

昭和三年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

昭和三年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和四年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第三號)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)可決報告書

府縣制中改正法律案修正報告書

市制中改正法律案修正報告書

町村制中改正法律案修正報告書

北海道會法中改正法律案修正報告書

北海道地方費法中改正法律案修正報告書

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案修正報告書

大正十四年法律第五十一號中改正法律案可決報告書

昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案可決報告書

六大都市ニ關スル法律案否決報告書

同日國際汽船株式會社ノ整理ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵 樺山愛輔君
副委員長 男爵 井上清純君

同日關稅定率法中改正法律案外一件特別委員會ニ於テ副委員長ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ高橋琢也君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和四年度歲入歲出總豫算追加案、第一號、第二、昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案、特第一號、會議、委員長報告

一昭和四年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)

一昭和四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審查シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十三日

豫算委員長

伯爵 柳澤保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 豫算委員長柳澤伯爵ノ登壇ヲ望ミマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ先ヅ總理大臣ノ出席ヲ求メマス

○議長(公爵德川家達君) 只今總理大臣ノ出席ヲ求メマスカラ、暫ク御登壇ヲ御待チテ願ヒマス……總理大臣ガ出席セラレマシタカラ、柳澤伯爵ノ登壇ヲ求メマシテ差支アルマイト考ヘマス

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 只今日程ニ上ボリマシタ日程第一、第二、之ヲ束ネテ御報告ヲ申上ゲマス、是ハ事業ノ補助デゴザイマス、御承知ノ通りニ大禮記念帝室博物館復興翼贊會ナルモノガ出來マシタ、此會ハ御大禮記念ノ爲メ東京帝室博物館本館ノ建設ヲ致シ、之ヲ獻上スルノデアリマス、是ハ國家の樞要ノ事業ト認メマスニ依リマシテ、事業費ノ一部ニ對シ、國庫ヨリ補助スル必要ガアルノデアリマス、依テ補助費トシテ二百五十萬圓ヲ支出イタスノデアリマス、此建物ハ總額ハ八百五十萬圓ノ豫定デゴザイマシテ、此内五百萬圓ハ民間ノ寄附ガ確實ト認メラレタノデアリマス、依テ不足ノ分ノ三百五十萬圓ヲ補助シヤウト云フノデアリマス、之ニ對シテ歲入ハ造幣局ノ資金繰入デゴザイマシテ、是ガ特第一號ニアルノデアリマス、是ハ豫算委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ何等ノ質問ナク可決イタシマシタ、何卒皆様ニ於カレマシテモ全會一致ヲ以テ御可決アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、只今豫算委員長ノ報告セラレマシタ豫算追加案、即チ日程第一、第二兩案トモ一括シテ採決ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 豫算追加案二件全部ヲ問題ニ供シマス、全部御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔總員起立〕

○議長(公爵德川家達君) 全會一致ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、昭和四年度歲入歲出總豫算追加案、第三號、第四、昭和四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案、特第三號、第五、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第二號、會議、委員長報告

一昭和四年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)

一 昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第三號)

一 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

豫算委員長

伯爵 柳澤保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 柳澤委員長ノ登壇ヲ願ヒマス

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 先ヅ日程第三ヨリ申上ゲマス、此第三號ハ昭和四年度ノ歳入歳出總豫算追加案デゴザイマシテ、是ハ歳入歳出トモ各千七百十五万三千二百六十五圓デゴザイマス、之ニ對シマシテノ歳入ハ經常部ニ二口ゴザイマス、臨時部ニ三口ゴザイマス、歳出ノ方ハ經常部臨時部トモ殆ド各省ニ互ツテ居リマス、此内ノ百万圓以上ノモノダケヲ申上ゲマス、大藏省所管デ國債整理基金繰入金ノ増加、是ガ百十七万四千四百九十圓デアリマス、歳出臨時部、内務省所管、東京外十六府縣災害土木費補助、北海道災害土木費補助、北海道其他災害復舊ニ關スル經費、此三口ガ先ヅ災害ニ關シマス補助デアリマス、合計イタシマスト七百三十万圓程ニナリマス、ソレカラ大藏省所管ニ於キマシテ中央諸官衙建築費追加、是ガ百三十一万三千五百三十三圓デアリマス、尙ホ製鹽地整理ニ伴ヒ要スル交付金、是ガ百七万四千四百三十二圓、續イテ陸軍省、海軍省、逓信省、此三省ニ互リマシテ、支那事件ニ關スル經費ノ要求ガアリマス、是ガ三省合セマシテ約三百四十三万圓餘アリマス、是ガ先ヅ百万圓以上ノ大キナ口デアリマス、之ニ付テ滿鐵ニ關シマスルコト、剩餘金ニ關シマスルコト、災害土木補助ニ關シマスルコト、大禮記録編纂ニ關シマスルコト、製鹽地整理ニ關スルコト、支那事件費等ニ關シマシテ質問ガゴザイマシタ、是ハ後デ申上ゲマス、日程第四ハ各特別會計歳入歳出豫算ノ追加デゴザイマス、是ハ國債整理基金ノ歳入歳出デアリマスガ、百四十二万三千五百八十一圓、國有財産整理資金ガ百三十一万三千五百三十三圓、朝鮮總督府ガ四百四十一万二千二百七十五圓、文部省ノ部ニ於キマシテ帝國大學、是ガ僅カ二万四千

七百七十八圓、官立大學ガ二口ニ分レマシテ、一口ハ二万三千五百十五圓、他ノ一口ハ二十六万九千五百圓、農林省ノ部デ米穀需給調節、是ガ四百三十二万九千三十二圓デゴザイマス、日程第五ハ是ハ大藏省、農林省、商工省、朝鮮總督府等ニ關スル分デアリマス、是ハ何レモ前ノ豫算ニ出テ居ル箇條デアリマス、尙ホ精シク申上ゲマスト大藏省所管デハ南滿鐵道ノ關係ガアリマス、是ハ削除ノ分モアリマス、又年二分ノ増配ノ件モアルノデアリマス、農林省所管デハ災害復舊補助、廣島縣山口縣兩縣ニ跨ルモノデアリマス、商工省ノ方ハ國際規格統一協會費ノ分擔金等デアリマス、特別會計ノ大藏省所管、朝鮮總督府ニ於キマシテハ貴族保護資金ノ借入金デアリマス、先ヅ此第三、第四、第五ニ付キマシテノ箇條ハ申上ゲマシタガ、是ヨリ豫算會ニ於キマスル所ノ質問應答ノ大體ヲ申上ゲマス、先ニ結果ヲ申シテ置キマス、結果カラ申シマス、此第三、第四、第五ニ付キマシテ何レモ是ハ可決ニナッタデアリマス、併ナガラ此特第三號ニ付キマシテハ即チ日程第四ノ分ニ付キマシテハ之ヲ除外シテ置クト云フ御議論ガ出マシタガ、是ハ十四對二十五デ以テ否決ニナリマシテ、結局日程第三、第四、第五トモ委員會デハ可決ニナッタデゴザイマス、先ヅ例ニ依リマシテ豫算ニ餘リ關係ノ深カラザルコトカラ申上ゲマス、其次ニ大體ニ關スル豫算ノ御質問、其次ハ此日程ニ上ボリマシタ各件ニ付キマシテ口々ノ質問應答ヲ申上ゲマス、第一申上ゲマスノハ今年ノ秋ニ行ハセラルベキ所ノ伊勢神宮ノ式年造營及其遷御ノ儀ニ付キマシテ、是ハ國民的祝意ヲ表スルコトガ實ニ當然ノ事ト思フノデアリマス、是迄ハ餘リ之ニ付テ深キ注意ヲ拂ハレナカッタヤウデアルガ、ドウゾ此事ニ付テハ重要ナル儀デアアルカシテ、是ハ十分ニ國民的ノ祝意ヲ表シタイ、政府ハ之ニ對シテ大イニ奉祝スル方法ヲ講ズル意ハナイカト云フ御質問デアリマス、是ハ衆議院ニ於キマシテモ質問ガ出テ居ル事ト全ク同ジデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ、無論祝意ヲ表スルコトハ無論御同感デ、少シモ躊躇セヌコトデアアル、當日ヲ祭日トスルコトニ付テハ最モ意義アル事ト思フノデアアル、就テハ國民的祝意ヲ表スル方法ニ付テハ十分ニ考慮シテ之ヲ實行スル積リデアルト云フコトデゴザイマシタ、モウ一ツハ來年ハ日本海ノ大海戰ノ二十五年目ニ當ルノデアアル、此記念スベキ事實ヲ、追憶スル爲ニ又精神作興ノ爲ニモ、何か催シタイト云フ相談ハ各所ニ起ッテ居ルノデアアル、政府ニ於テハ昭和五年度ノ豫算ヲ編成スルトキニ、此民間ノ色々之ニ對スル催ノ事柄ニ付テ贊助ヲスル爲ニ相當ニ考

慮シテ貫ヒタイ、政府ハドウ云フ考デアルカ、當局ハ何等異論ハ無イノデア
リマス、併ナガラ大分先キデアリマスカラシテ、昭和五年度ノ豫算ニ組ムト
云フコトハ今御約束ハ出来ヌガ、無論事柄ニ付テハ異議ノ無イコトデアアルト
云フコトデゴザイマシタ、其次ハ例ノ怪寫真ノ件デアリマス、是ハ二月十二
日本議場ニ於テ大分御質問ガアリマシテ、質問モアリ、相當御答辯モアッタ事
柄デアリマス、此引續キト見テノ御質問デアリマス、所謂朴烈事件ノ怪寫真
ノ件デアリマス、小川鐵道大臣ハ大審院ノ判決ノ事實ノ認定ヲ信ズルニ足ラ
ヌト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ル、ドウモ是ハ司法部ノ威信ニ關スル事項
デアアルカラドウゾ取消サレテハドウデアアルカト云フ御質問デアリマシタ、之
ニ對シテ鐵道大臣ハ、決シテ自分ハ判決ヲ否認スルト云フコトヲ言ッタ積リデ
ハナイ、判決ニ付テハ十分尊重ヲシテ居ルノデアアル、唯自分ハ當時發表シタ
所ノ文書ノ責任ヲ取ルト云フコトヲ申シタノデアアル、司法部側ノ言葉ハ五月
二日ニ此二人ノ寫真ヲ地方裁判所ノ豫審廷デ撮ッタト云フコトデアアルケレド
モ、當時ハ當人共ハ其處ニ居ラナイノデアアル、又其寫真ノ婦人ノ著作物モソレ
ハ後ノ差入ノ著作物ニ係ルモノデアアル、又看守モ司法部側ノ言葉ヲ否認シテ居
ル、又寫真ノ裏ニハ「初秋寫」ト云フコトモアルト云フヤウナコトヲ言ハレマ
シテ、色々之ニ付テ陳辯ヲサレタノデアリマス、尙ホソレニ付テ是ガ議會ノ
問題ニナッタノデ、色々自分ノ所ニ申シテ來タ事柄ガアルガ、自分ハ前言ヲ翻
ス積リハナイ、唯吳々モ判決ニ付テハ慎重ノ敬意ヲ表スルノデアアルガ、判決
文ノ中ニアル其日ノ事ニ付テハ自分ハ意見ヲ異ニスルノデアアル、ソレニ對シ
マシテ、尙ホ質問者ハドウモ時日ノコトヲ言ハレルガ、其陳述ハドウモ誤リ
ト思フノデアアル、五月二日ニ寫真ヲ撮ッタト云コトハ是ハ全ク相違ナイコトデ
アル、幾多ノ證據物件ガ之ニ付テアルンデアアルガ、之ヲ否認サレルノハ如何
ノモノデアアルカ、再考サレル餘地ハナイカ、尙ホ之ニ對シマシテ、鐵道大臣
ハ前言ヲ固ク主張セラレマシテ、自分ハ決シテ判決ノ事ニ付テ彼此レ申スノ
デハナイ、裁判所ノ判決ヲ否認シタ覺エハナイ、速記ヲ見ナイカラ分ラヌケ
レドモ、自分ガ判決迄モ否認スルト云フヤウナコトガアッタ時分ニハソレヲ
取消スケレドモ、ドウモ今ノ所ハ速記ヲ見ナイカラ能ク分ラナイ、尙ホ之ヲ取
調ベタ上ニ相當ノ結末ヲ付ケタイト云フ御言葉デゴザイマシタ、次ニハ豫算
ニ關係ノアル大體ノ御質問ヲ申上ゲマス、第一ハ公債政策ニ關スル件デアリ
マス、是ハ本豫算ニモ借入金ノコトガアリ、公債募集ノコトモアル、又追加

豫算ニモ大分出テ居ル、ソレニ付テ其數字ヲ擧ゲラレマシテ、段々ト斯様ナ
モノノ増加スルコトヲ申サレマシタ、要スルニ公債ハ殖エルバカリデ減ルコ
トハナイ、依テ公債政策ニ關スル當局ノ方針ヲ聽キタイト云フコトデアリマ
ス、之ニ對シマシテ成程近年ハ公債ハ殖エテ居ル、併シ是ハ軍事費ノ關係、
大震大火ノ關係、又財界動亂等ノ關係等ニアッテ、實際殖エタノデアアル、又此
中デモ將來續クモノモアル、此外鐵道ノ買收關係ノモノ、鹽田整理關係、國
際汽船關係等ノコトデアリ公債ヲ募集スルガ、是ハ已ムヲ得ザル分ノ増加ト思フ
ノデアアル、勿論生産關係ノ公債ニ付テハ、是ハ直グ公債ヲ返却セヌデモ先ヅ
宜シイト思フケレドモ、所謂不生産的關係ノ公債ニ付テハ、是ハ政府ニ於テ
モ根本カラ考ヘテ、何トカ處置シタイト云フ積リデアアル、併シ好シデ公債ヲ
募集スルト云フ考ヘハ無論ナイノデアアル、デ此度ノ公債募集ニ付テモ、大分無
用ノモノデアアルト云フ御議論モアルケレドモ、併シ當局ハ是ハ已ムヲ得ザル
モノトシテ認メテ居ルガ、將來ハ左様ニドン／＼殖エルト云フコトハナイト
云フコトデアリマシタ、ソレカラ今回提出サレテ居リマスル各法案ガ通過シ
タ場合ニ公債ノ發行ガ幾ラニナルカ、又追加豫算全部ガ通レバ本豫算ハ幾ラ
ニナルカト云フ御質問デアリマス、是ハ本豫算ハ十七億七千四百七十七萬五
百九十八圓ニナルト云フコトデアリマス、ソレカラ公債ノ方ハ約三億二千三
百餘萬圓ダト云フコトデアリマシタ、次ハ地方財政ノ膨脹ニ關スル御質問デ
アリマス、是ハ內務省デ出來マシタ地方財政要覽ト云フ、サウ云フ本デアリ
マスガソレニ出テ居リマスカラ、ソレニゴザイマス材料ヲ擷マヘラレマシテ
數字ヲ示サレマシタ、是デ見ルト一番最近景氣ノ好イ時、大正八年頃ガ景氣ノ
好イ時ト思フケレドモ、其時ガ地方費ガ六億餘圓、中央ガ十一億餘圓、合計十
七億餘圓ニナル、然ルニ段々ト景氣ガ惡クナッテ、昨今ニ至ッテ隨分ト景氣ノ
惡イ時ニドウダカト見ルト、地方ノ方ハ十七億圓ニ上ボッテ居ル、中央亦十七
億圓デアアル、丁度前ノ大正八年頃ハ地方ト中央ト合セテ十七億餘圓ニナルガ、
今デハ其合シタモノガ既ニ中央ニモ見エ、又地方ニモ見エル、殆ド非常ナ増
額デアアル、之ニ付テノ所見ハドウデアアルカト云フコトデアリマシタ、當局ハ
之ニ對シマシテ、歐洲大戰爭ノ以後ノ狀況ヲ述ベラレマシテ、段々ト自治團
體ガ公營事業ヲ殖ヤスヤウニナッテ來タ、無論地方費ハ殖エル、前ニハ斯様ナ
事ハ少カッタガ、世界ノ趨勢デハ皆地方費ノ膨脹ヲ現シテ居ルト申サレマシ
テ、米國英國ノ例ヲ引カレマシテ、是ハ段々地方デ仕事ヲ自分デスルト云フ

コトが増シテ來ルト云フ結果デアッテ、日本ニ於キマシテモ斯様ナ矢張り趨勢ヲ見タノデアル、中ニハ併シ隨分無理ナモノモアルヤウニ思フカラシテ、是等ヲ整理スル爲ニ調査會ヲ作ッテ、段々之ヲ整理シタイト云フ考デアル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、ソレデハ満足セラレマセヌデ、尙ホ色々書類ニアル數字ヲ示サレマシタ、内務省ノ書類ヲ見テモ其外ノ分ノ増加ヲ明カニ示シテ居ル、公營事業ニ關スル分ハ、十七億圓ノ中デ、一割位ニシカナッテ居ラヌト云ッテ、又數字ヲ示サレマシタ、色々實例ヲ述ベラレマシタ、例ヘバ地方團體ニ於テ、大都市ニ於テ、市ノ理事者ノ俸給ノ非常ニ多イコトナドヲ述ベラレマシテ、斯ウ云フコトモ何カ監督スル方法ハ無イカト云フコトヲ申サレタノデアリマス、ソレカラ尙ホ財界ノ不安定ノ狀況、金解禁ノ必要ヲ述ベラレマシテ、斯ウ云フ風デハ迎モ財界ノ安定ヲ保タレナイト云フ御質問デアリマシタガ、要スルニ是ハ前ノ豫算委員會ニ於テ申サレタコトノ補充ノ御言葉デアッタト思ヒマス、之ニ對シマシテ、當局者ハ矢張り本議會ニ於テ述ベラレマシタ點、又前ノ豫算委員會ニ於テ御述ベニナッタ點ヲ補充セラレマシテ、相當之ニ對シテ御答ヲサレタノデアリマス、尙ホ之ニ續キマシテ斯様ナ御質問ガアリマシタ、ドウモ此頃ノ諸官廳ノ勤メ振リト云フモノハ大變大マカニナッテ居ル、ドウモソレデ政費ガ殖エルヤウニ思フ、就テハ是モドウカ考ヘテ貰ヒタイ、又此頃デハ地方官ハドウモ派手ヤカナ仕事ヲスルト云フ傾キガアル、斯ウ云フコトデハ又地方費ノ膨脹ノ原因ニモナルノデアル、又地方官ハ屢々變ッテ、變レバ何カシテ見タイ、新規ニ來ル地方官ハ、來ルトキト何カシナケレバ此男ハ腕ガナイト見ラレルノデ、何カシナイト甚ダ自分ノ肩身ガ狭ク思ハレル、兎ニ角新規ニ來ル人ハ何カシテ見タイト云フノデ色々ナ事ヲスル、ソレデ從テ地方ノ費用モ殖エル、又町村費ノ膨脹モ大變殖エテ居ル、將來ノ豫算ニハ斯ウ云フコトハ餘程氣ヲ付ケテ貰ッテ、緊縮ノ方針ヲ執ラレタイガドウ考ヘルカ、之ニ付テハ無理ナラヌ御質問デアリマスルカラシテ、大體同感デアルト云フ御返事デアリマシタ、ソレカラ例ノ兩稅委讓ト國防費トノ關係ノ御質問ガ出マシタ、多分兩稅委讓ノ案ハ審議未了ニ終ルデアラウ、此委讓ニ要スル金ガ餘ル、ソレト保留財源トヲ加ヘタ金ハドウ云フ風ニ扱フノデアルカ、是ハ將來ノ國防上ノ費用ニ充テルノガ適當ト思フガ、ドウデアアルカト申サレマシテ、色々御意見ヲ附加ヘテノ御質問デアリマシタ、當局者ハ之ニ對シマシテ未定ノ問題ニ對シテ將來ノ事ヲ言フコトハ自分ハ避ケタイト思フ、併

シ委讓ノ事ハ兎ニ角昭和六年後ノコトデアアル、製艦費ノ財源ニ付テハドウゾ御心配ハ御無用デアルト云フコトデアリマシテ、色々御問答ガアリマシテ又金額ニ付テモ質問應答ガアッタノデアリマス、尙ホ一委員ヨリ追究セラレマシテ隨分思ハナイ財源ガ出ルコトガアル、斯ウ云フ取扱ハドウスルノカ、斯ウ云フモノハ海軍ノ費用ニ充テルノガ當然ト思フガドウカ、當局者ハサウ云フ思ハナイ財源ガ澤山出ルト云フヤウナコトハ無イ筈デアルド云フコトヲ言ハレタノデアリマス、サウ云フ巨額ナ財源ノ浮クヤウナコトハ無イ、結局是ハ兩稅委讓ニ關シテ居ラヌコトデアリマスカラ、ソレ以外ニハ無イト云フ思召ト考ヘマス、續イテ例ノ濟南出兵事件デアリマス、是ハ今日ノ新聞ニモ大分出テ居リマスガ、其時分ハマダ今日ノ新聞記事ノ出ナイ時デアリマスカラ、其事ニ付テ述ベラレマシテ、濟南事件ニ付テハ雙方ノ間ニ協定ガ出來テ、損害ノ共同調査ヲ爲スト云フヤウニ聞イタガ、是ハ日本側ノ方ヲ調べルノカ、又日支兩方ノ損害ヲ調べルノカ、又謝罪、處罰、賠償、將來ノ保證ト云フヤウナコトニ付テノ交渉ヲシタカドウカ、又損害ヲ相殺主義デ交渉シタカドウカ、之ニ對シマシテ、目下ハ交渉中デアアルガ、近ク解決セムト思フト云フ御話デアリマシタ、謝罪其他ノ要項ニ付テハ、是ハ交渉ノ基礎ニナッテ居ルノダケレドモ、共同調査ノ内容ニ付テハ、マダ明言ハ出來ヌト云フコトデアリマシタ、尙ホ陸軍ノ行動ニ付キマシテ、山東上陸後ノ陸軍ノ行動ニ付テ、是ハ少シモ過リハナイカ、是ハ豫算委員會ノ前ノ時ニモ御質問ガアリマシタガ、之ヲ尙ホ確メテ置キタイト云フコトデアリマシタ、之ニ付テハ我が軍事行動ニ付テハ何等過ッタコトヲシテ居ラヌト云フコトヲ固ク申サレタノデアリマス、是ヨリ追加豫算ニ直接ニ關係ノコトヲ申上ゲマス、第一ハ滿鐵ニ關スル問題デアリマス、滿洲ニ於ケル仕事ハ是ハ日支共存共榮ノ方針デヤッテ居ルノデアアルケレドモ、支那人ト共同ノ仕事ヲスルト皆失敗ニ終ッテ居ル、兩方トモ損ヲシテ居ル、唯南滿鐵道ダケガ成功シテ居ル、是ハ支那人ト共同ノ仕事デハナイガ、將來ハ政府ノ持株ヲ他ニ渡ス時ハ先ヅドウ云フ風ニナルノデアアルカト云フヤウナ御質問デアリマス、尙ホ日露戰爭後滿鐵ノ配當ハ八分デアッタノガ一割ニナリ、今回又増配スルコトニナッタ、併シ日本ハ滿洲ヲ利益ノ爲ニ壟斷スルモノデナイ、門戸開放ノ主義ヲ採ッテ居ル筈デアアル、斯様ニ増配スルコトハ是ハ餘程考ヘベキコトデハナイカ、要スルニ滿蒙政策ハ多少修正ヲ必要トシナイノダラウカドウカ、即チ株ノ賣買ノ制限等ヲ解ク必要ハナイカ、又ド

ウ云フヤウナ考デ増配ヲ爲ス氣ニナツタカ、之ニ對シマシテ南滿鐵道會社ノ使命ハ創立以來不變ナル、滿蒙開發ガ目的ナル、初ノ間ハ政府ガ配當保證、社債ノ利子ヲ補給ヲスル必要ヲ認メテ居ルタガ、是ハ會社ノ經營宜シキヲ得タ爲ニ健全ニ發達シテ六分ノ配當保證ハ空文ニナツテシマツタ、政府モ四分三厘ノ配當ヲ受ケ、他ノ一般株主ハ四分ノ第二配當モ受ケタノデアル、是ハ附近ニ色々ノ鐵道ガ出來タ爲ニ是ガ榮養線ニモナツテ利益モ増シタノデアル、配當緩和ノ聲ガ是ガ爲ニ起ッタノデ、到頭一割二分迄ノ配當ヲスル見込ガ立ッタノデアル、其見込ハ確ニ付イタノデアルデ、今回斯様ニシタノデアルト云フコトデアリマス、尙ホ配當ニ付テノ御質問ガアリマス、滿鐵ノ配當ノ増加ハ二百十七萬餘圓デ、是ガ今回歲入ニ出テ居ルガ、ドウモ自分等ノ考ヘル所デハ政府ノ言フガ如ク各方面ニ好況ヲ呈シテ居ルトハ思ハナイ、依テ最近ドウ云フ狀況ニナツテ居ルカ其様子ヲ聽キタイモノデアル、又將來ノ見込ハドウデアルカ、是ハ聯絡線ガ出來タリ、競争線ガ出來タリ、並行線ガ出來タガ爲メノ御質問デアリマシテ、尙ホ之ニ付テ信託會社ヲ作ルトカ、土地會社ヲ作ルトカ云フ話ガアルガ、是ハ眞實カドウカ、斯様ナモノハ殆ド無用ノヤウニ思フガドウ考ヘルカト云フ御質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ政府ハ之ニ反シマシテ、最近ノ結果ハ良好デアリ、一分ノ増配ヲ致シテモ繰越金ハ減ラナイ、依テ慎重考慮シタ結果斯様ニシタノデアルト云フコトヲ申サレテ、實際ノ情況ヲ述ベラレマシタ、尙ホ二分迄ノ増配ハ出來ルガ、先ヅ今回一分ダケニ止メテ置イタノデアル、而シテ是マデ各種ノ不良分子ガアッタノデアルケレドモ、是ハ餘程前ニ切捨テ、綺麗ニシテシマツテ、鐵道ノ利益ハ每年増加シテ居ル、他ノ線路ガ出來テモ少シモ妨害ニハナラヌ、信託會社トカ土地會社ト如キソシナ話ハ一向存ゼスト云フコトデアリマシタ、尙ホ此配當ニ關シテ又御質問ガアリマシタ、今回一分ノ増配ヲスル、之ヲキッカケニ將來滿鐵會社ノ幹部ヲ官選ニスルコトニ付テノ考ハドウカ、ソレハ社長トカ副社長ト云フヤウナモノハ官選デモ宜シイガ、理事位ハ是ハ株主選舉ニシタラドウカト云フ御質問ガアッタノデアリマス、之ニ付テドウモサウモイカスト云フヤウナ御返事デアリマシタ、又一分増配ニ付テノ御希望の忠告ガ出マシタ、是ハ政友會内閣ノ時ニ既ニ二度迄モ増配ヲ致シタ、今度又一分ノ増配ヲシヤウトスルノデアル、政府ハ此滿鐵ノ配當ダケデ僅ニ關東軍ト駐屯軍ノ費用ニ向ケル位シカ出ナイノデアル、實ニ心細イコトデアル、又滿鐵ノ幹部ハ今日迄ノ所デハ政

府更迭ト共ニ是ハ迭ル、又方針モソレニ從ツテ變ツテ來ル、斯ウ云フヤウナコトデ何デ十分ナ發展ガ出來ヤウカ、自分ハ斯様ナコトハ甚ダ將來ノ爲ニモ宜シクナイコトト思フ、將來ノ注意ヲ十分ニ望ムト云フ御希望の忠告ガ出タノデアリマス、是デ滿鐵ノ分ハ終リマス、今度ハ剩餘金ノ問題デアリマス、是ハ大分數字ニ涉ツテ居リマスガ、極ク簡單ニ申上ゲテ置キマス、此第三號ノ豫算ヲ見ルト剩餘金ガ八百萬圓程アル、所ガ過去ニ付テ考ヘテ見ルト、昭和元年度ニハ剩餘金ガ四億七千萬圓アッタ、二年ニハ二億九千萬圓アッタ、三年ニハ八千餘萬圓アッタ、是ニ此處ニ出テ居ル八百萬圓ヲ加ヘテ九千萬圓ニナラナイ、其外多少アルダラウガドノ位アルカ最早餘リ澤山ハアルマイ、之ニ對シマシテ昭和三年ノ剩餘金ハ本年ノ七月頃ニナラナイト分ラナイ、七月ニ締切ルノデアルカラ今デハ分ラヌガ、先ヅ五千萬圓位ハアル、併シ此中四分ノ一ハ減債基金ノ方ニ這入ルノデアル、是ハ昭和五年度ニ向クベキモノデアアル、今回造幣局資金ヨリ三百五十萬圓ヲ出シテ居ルガ、是ハ片方ノ方ガ非常ニ少クナツタ爲ニ出シタノデナクシテ、造幣局ノ資金ニハ十分餘裕ガアルカラ出シタト云フ御辯解モアリマシタ、尙ホ剩餘金ニ付テ細カイ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ省略シテ置キマス、ソレカラ次ノ議會ニ提出サルベキ所ノ四年度五年度ノ追加豫算ニ對シテ少額ノ財源ホカナイガ、是デ宜イカト云フ御質問デアリマシタ、ソレカラ兩稅委讓案ガ審議未了、又關係各法案ガ審議未了ト云フ時ニハ歲入ガ千二百萬圓程浮クノデアル、是ハ昭和四年中ニ起ル所ノ何か事件ニ使フノカ、是ハ五年ノ七月以降ニ使フモノト思フガドウデアルカ、誠ニ剩餘金ノ少イノハ心細イノデアル、マアサウ云フ時ニハ相當ノ方法ヲ執ルガ、又四年度ノ中ニ浮ク所ノ歲入ガアル時ニハ或ハ其年度ニ場合ニ依ツテハ使フテモ差支ナイト云フヤウニ私ハ伺ツタノデアリマス、モウ一ツ此剩餘金ガ不足ノ時ニハドウスルカ、段々ト剩餘金ヲ使ヒ拂ツテシマツテ不足ヲ感ズル時ガアルダラウ、不時ノ支出ガ隨分起ルガ、從來ノ例ハドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フ質問デ、ソレニ付キマシテハ只今ノ所デハ剩餘金ハ百五萬圓シカナイ、豫算外支出ヲスル時ニハ先ヅ第二豫備金カラ出シテ此不足ノ時ニハ三年度ノ剩餘金カラ出ス積リデアルト申サレマシテ、過去ノ支出ニ付テ詳細ニ數字ヲ示サレタノデアリマス、是デ剩餘金ノコトハ終リマス、ソレカラ地方ノ災害復舊補助費ノコトデアリマスガ、是ハナカ／＼多イ、コンナ多イモノヲ何故ニ追加ニ出シタカ、本豫算ニ出スベキモノデハナイカ、是ハ能ク

出ル御質問デアリマス、是ニ付テ當局者ハ斯様ニ申サレマシタ、ドウモ斯様ナ災害事項ハ秋口ニ起ルノデアアル、ソレヲ十分ニ調べテ中央ニ持ッテ來ルノデアアルカラシテ、ドウシテモ遅レテ來ル、本豫算ヲ組ム迄ニハソレガ申達サレナイカラ已ムヲ得ズ、是ハ追加ニナルト云フコトニナル、從來モ災害ノ事ハ斯ウ云フ取扱デアルト云フ御話デアリマシタ、ソレカラ大禮費ニ關スル件、大禮記録編纂諸費三万九千餘圓、僅カノ費用デアリマス、是ガ今般計上サレテ居ル、ケレドモ印刷費が見エテ居ラナイ、此事ハ大禮使ノ殘務ノ事項ト思フガ、又大禮費モ若干殘ッテ居ルヤウニ聞イテ居ル、ソレヲ使ッテハドウデアアルカ、政府ニ於テモ同ジヤウナコトヲ考ヘテ見タノデアアル、色々考究ノ結果今回ノ請求ガ當然ト思ッテ出シタ、現ニ 大正天皇ノ場合ニ於テモ斯様ナ例ガアル、依テ之ヲ踏襲イタシタノデアアル、大禮費ノ中ニハ多少ノ殘額ハアル見込デアアル、ケレドモ是ハ繰越シテ差支ナイノデアアル、故ニ繰越シテシマッテモ一向差支ナイ、又是ハ殘リガアリマシテモ是ハ編纂費ニ使フノハ如何ナモノデアアルカ、マダ此事業ハ一箇年位ニテ済ムモノデハナイ、五年度デ印刷費ヲ要求スル考デアアル、次ハ製鹽地整理交付金ノコトデアリマス、之ニ付テ製鹽地ノ現況ト整理ノ状態ノ質問ヲサレマシタ、是ハ外鹽即チ關東方面並ニ青島方面カラ這入リマス所ノ鹽ハ是ハ廉イノデアリマス、内地產ヨリ廉イノデアリマス、是ハ工業原料ニモ使ハレマス、又色々他ノ加工品、醬油ノ醸造等ニモ用キラレテ居ルノデアリマス、内地鹽ハ十一億斤位出來ルノデアリマス、ドウモ外鹽ガ廉イノデ發展ノ仕様がナイノデアアル、故ニ此際内地ニ於テハ一千町歩程ノ鹽田ヲ減ラス、サウシテ六億斤程關東方面並ニ青島方面カラ入レヤウト云フ考デアアル、ソレデ鹽田ヲ整理スルノデ從業者及ビ關係者ニ交付金ヲスルノデアアル、次ハ支那事件費、支那事件費ニ付テハ今回デ總テ三千万圓以上ニナル、併シ此前特別議會ノ時ニ質問ヲシタ時ニ政府ハ何デモ二百万圓位デ足リルト云フコトヲ言ハレタ、其後責任支出ヲサレテ又今回支出スル、大變殖エテ來タ、殆ド豫想ノサレナイ巨額デアアル、政府ハ如何ニ思フカ、政府ハ成程當時ハ二百万圓位デ宜イヤウニ思フテ居ッタケレドモ、事情ガ急變シテ、ア、云フ場合ニナッタノデ誠ニ申譯ガナイガ、ア、云フ出費ガ出タノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、尙ホ機密費ノコト、是ハ濟南ノ出兵以來前上ゲマシタ通り三千餘万圓ノ費用ガ出テ居ル、又昨年ノ五月以降モ色々出費ガ重ナッテ居ル、此内機密費ガ百万圓程アルガ、斯ンナニ要ッタノカドウカ、又今回二十万

圓程ノ機密費ガアル、ドウモ陸軍ノ機密費ハ濫用スルヤウニ考ヘテ居ルガサウデナイカ、之ニ對シテ決シテ無用ナコトニ使ッテ機密費ヲ濫用スルコトハナイノデアアル、無論將來氣ヲ付ケルガ併シ此機密費ハ濟南方面ノミニ使ッタノデハナイ、他ノ支那方面ニ於テモ使ッタノデアルト云フコトデアリマシタ、最後ハ朝鮮貴族ノ保護資金ノ件デアリマス、是ハ朝鮮總督府ノ豫算ニアリマス、是ハ何故ニ保護資金ガ要ルカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ現況ヲ述ベマシテ其必要ヲ申サレマシタガ、是ニハ速記ガ中止サレマシタカラシテ申上ゲマセヌ、今申上ゲタ所ノ多少細カイコトハ主トシテ日程第三ニ關スルコトガ多イガ、又第四ニ關スルコトモゴザイマス、先ヅ是ダケガ大體御質問ノ箇條デアリマシテ、サウシテ別ニ御議論モ出マセシタガ、唯御議論ノ出マシタノハ此中ノ一ツヲ延バサウデハナイカト云フダケデアリマシタガ、ソレハ消エタノデアリマス、其以外ニハ大シタ御議論モナク委員會ヲ通過イタシマシタ、ドウゾ委員長報告ヲ御認メ下サルコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今豫算委員長ノ報告セラレマシタ豫算案三件、ソレトノ質疑ノ通告者ガゴザイマスカラ、順次ニ通告順ニ依リマシテ發言ヲ許サウト存ジマス、先ヅ矢吹男爵ノ發言ヲ許シマス、同男爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔男爵矢吹省三君演壇ニ登ル〕

○男爵矢吹省三君 會期切迫ノ折柄茲ニ登壇イタスコトハ、誠ニ遠慮イタサナケレバナラヌノデアリマスガ、只今上程サレマシタ追加豫算ヲ協賛スルニ付テハ二三政府ニ質問ヲ致シ、其上デ協賛ヲ與ヘタイト思フガ爲ニ已ムヲ得ズ登壇シタノデアリマス、暫ク御清聴ヲ願ヒタイト思ヒマス、先日、私モ當議場ニ於テ總理兼外務大臣ニ質問ヲ致シ、又衆議院ニ於テモ左様ナ質問ガアッタヤウデアリマスルガ、一月ノ終リニ支那ト日本トノ間ニ協定ニナリマシタ、所謂關稅協定ニ付テ附帶シテ日支ノ間ニ公文ノ交換ガアッタノデアリマス、而シテ其公文ヲ發表シテ貰ヒタイ、我々モソレヲ知リタイト云フコトヲ政府ニ申シタラバ、支那政府ノ同意ヲ得タ上デ發表シヤウト云フコトデアリマシタ、既ニ二箇月ヲ經過シテ居ルニモ拘ラズ、今尙ホ其ノ發表ヲ見ナイノハ誠ニ其理由ヲ發見スルニ苦シムノデアリマス、聞ク所ニ依リマス、海關稅協定ニ附帶シタル交換公文ノ中ニハ曾テ關稅……支那特別關稅會議ノ際、各國ノ間ニ略、諒解ヲ遂ゲタ事項ヲ基礎ニシテ取極ガ出來タ點モアアルヤウデアリマス、而シテ其關稅會議ニ於テ略、極メラレマシタ事柄ヨリモ、日本トシテハ、

不利益ナル取極ニナツテ居ルヤウニ伺フノデアリマス、若シモ左様デアリマス
ト此際政府ガ發表ラセズ、而シテ會期ハ今日ヲ以テ盡キルノデアリマスルカ
ラ、議會中ニ左様ナモノヲ公表シテハ政府ノ面目ニ關スルト云フガ如キ御考
デモアルノデハナイカ、斯様ニ邪推サレノデアリマシテ、此際御發表ニナル
コトガ、政府ノ體面カラ申シテモ必要デアリ、又國民トシテ一刻モ早ク此内容
ニ付テ知リタイト思ヒマスルカラ、此際外務大臣ヨリ公文ノ交換ノ内容ニ付
テ御發表アラムコトヲ切ニ希望スルノデアリマス、若シ又支那政府ノ同意ヲ
得ラレナイト云フコトデアレバ、其同意ヲ得ラレナイ理由ヲ御述ベ願ヒタイ
ト思ヒマス、次ニ伺ヒタイノハ不戰條約ノコトデアリマス、昨年ノ四月十三日
ニ、亞米利加政府ヨリ所謂不戰條約ニ付テノ提議ガ、日本初メ各國ニ對シテ、
アッタノデアリマシテ、是ニ對シテハ、五月ノ二十六日ニ、日本政府ニ於テ滿腔
ノ贊意ヲ表シテ回答ラシテ居ルノデアリマス、次デ六月ノ二十三日ニハ、亞米
利加政府ヨリ改訂サレタル草案ヲ更ニ送ッテ參ッテ、之ニ對シテ日本ノ同意ヲ
求メ、其他英、佛、獨、伊等ニモ同様ニ送ッタノデアリマス、日本ハ七月ノ二十日
ニ回答イタシ、滿腔ノ贊意ヲ此場合ニモ表シテ回答ラシテ居ルノデアリマス、而
シテ御承知ノヤウニ内田伯爵ハ我國ノ全權大使トシテ巴里ニ出發サレ、八月
ノ二十七日ニハ巴里ニ於テ、十五箇國政府ノ間ニ調印式ガ行ハレ、我國モ之ニ
調印シタノデアリマス、爾來既ニ半年ヲ經過イタシテ居ルノデアリマスルガ

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

其間ニ此十五箇國ノ中批准ヲ致シタ國ガ殆ド全部、今尙ホ批准ノ濟マナイ國
ガ、白耳義ト佛蘭西ト日本ト云フヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、而シテ白
耳義ハ既ニ批准書ヲ華盛頓政府ニ寄託ノ手續ヲ取ッテ居ル、佛蘭西ハマダ上院
ニ於テ審議中デアッテ批准ニハ達シマセヌガ、是モ既ニ批准ノ手續ニハ這入ッ
テ居ル、然ルニ日本ハ今日マデ御批准ノ手續ヲ政府ニ於テ一向執ッテ居ナイト
云フコトハ是ハ誠ニ不思議千萬ノコトデアルト思フノデアリマス、政府ハ昨
年亞米利加政府ノ提議ニ對シテ立ドコロニ回答シ、其當時ニ於テハ日本ノ回
答ハ他ノ列國ノ回答ニ遲レテ居ラナイノデアリマス、此條約ニ對シテ日本ハ
進ンデ贊同スルト云フ誠意ガ十分溢レテ居リ、列國モ亦其誠意ヲ十分認メタ
モノト思フノデアリマスガ、批准ノ點ニ至ッテハ他ノ列國ニ一番遲レテ居ルト
云フ如キ實情ハ、如何ニモ遺憾千萬ナコトデアルト私ハ思フノデアリマス、不
戰條約ハ言フ迄モナク國際聯盟出來テ以來ノ國際協調ノ上カラ見テ一大事業

デアリマシテ、茲ニ又世界平和ノ上ニ一紀元ヲ劃スルモノデアラウカト思フ
ノデアリマシテ、我國ハ勿論世界何レノ國モ是ノ實施ノ一日モ早ク來ラムコ
トヲ熱望シテ居ルノデアリマス、然ルニ日本ノ批准ガナケレバ同條約ノ條文
カラ見マシテ、同條約ハ實施ノ機會ヲ得ナイノデアリマス、言換ヘマスルト
日本ガ批准ヲ終ヘザレバ、同條約ハ效力ヲ生ゼナイノデアリマス、非常ニ重
大ナル結果ヲ見ルノデアリマスガ、從テ我國トシテ列國ニ對スル德義ノ上カ
ラ見テ、又此世界平和ヲ熱望スル其誠意ヲ示ス上カラ見テモ、一日モ早ク御
批准ノ手續ヲ政府ガ執ッテ、同條約ノ一日モ早ク實施ノ機ノ至ラムコトヲ希望
イタシテ居ルノデアリマス、茲ニ於テ政府ニ伺ヒタイノハ、何故ニ斯ノ如ク
御批准ガ遲レテ居ルノデアルカ、奏請ガ遲レテ居ルノデアルカ、恐ラク政府
ニ於テモ、御批准ノ奏請ヲシナイ御考デハナイト信ズルノデアリマス、奏請
ヲサレルニ相違ナイト思フノデアリマス、然ラバ何故ニ斯ノ如ク其手續ヲ遲
ラシテ居ルノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、同條約ノ第一條ニハ
世間デ問題ニナツテ居リマス「人民ノ名ニ於テ」ト云フ言葉ガ英文ニ於テ又佛
蘭西文ニ於テモ這入ッテ居ルノデアリマス、此「人民ノ名ニ於テ」ト云フ言葉
ガ、我國體カラ見テ又我が憲法上カラ見テ、甚ダ不穩當、不都合ナ言葉デア
ルト云フコトニ付テノ世論囂々タルモノガアルノデアリマス、政府ハ此囂々
タル世論ニ鑑ミマシテ、「人民ノ名ニ於テ」ト云フ言葉ヲ、此條約ノ中ニ其儘
置イテハ、政府ノ面目上工合ノ惡イト云フ御考デモアッタカ、初メニ於テハ「人
民ノ名ニ於テ」ト譯サレタニモ拘ラズ、其後ハ此言葉ヲ變ヘテ「人民ノ爲ニ」
ト云フ言葉ニ改メテ居ルノデアリマス、此事ハ昨年ノ七月並九月ノ外務省カ
ラ發表サレテ居ル國際時報ヲ見マスト明カデアリマシテ、最初ニ於テハ「人
民ノ名ニ於テ」ト譯シ、後ニ於テハ「人民ノ爲ニ」ト譯シテ居ル、而シテ原
文ハ如何ニ見マシテモ、人民ノ名ニ於テト譯スルノ外ナイノデアリマス、ソ
レデ條約ノ正文ハ何デアアルカト申セバ、日本文デハナクテ英佛文デアアルノデ
アリマス、デアリマスルカラ、日本ニ於テ如何ニ「人民ノ名ニ於テ」ト云フ
言葉ヲ變ヘテ「人民ノ爲ニ」ト之ヲ改メタ所デ、條約ノ效力ニハ何等ノ影
響ガナイノデアアル、其原語ヲ改メザル限ニ於テハ、飽クマデモ「人民ノ名ニ
於テ」ト云フコトニ各國トモ理解スルノデアリマス、然ルニ政府ハ之ヲ變ヘ
テ「人民ノ爲ニ」トシタコトデ、事ガ濟ンダト思フコトハ誠ニ其意ヲ得ナイ
ノデアリマシテ、唯一ニ目前ノ失態ヲ糊塗スル御考トホカ想像ガ出來ナイノ

デアリマス、此「人民ノ名ニ於テ」ト云フ言葉ハ、之ヲ法律上ノ言葉トシテ見マスルト、我が憲法ト牴觸スルコトハ是ハ否ムベカラザルコトデアリマス、唯「人民ノ名ニ於テ」ト云フコトヲ法律的ニ見ルカ、或ハ又一ツノ形容詞ト云フガ如ク輕ク見ルカト云フノガ、意見ノ上ニ差ガ起ルノデアラウカト思ヒマス、我々ハ之ヲ一ツノ形容詞トシテ見ルトシテモ、我國ニ於テハ條約上ニ左様ナ文句ヲ入レテ置クト云フコトハ、甚ダ不穩當ナモノデアアルノデアルト思フノデアリマス、況ヤ之ヲ法律的ニ見タラバ、到底御批准ヲ奏請スルコトガ出來ナイモノデアラウカト思フ、政府ハ是ガ御批准ヲ奏請スルニ當ッテ、何等カノ留保ヲ爲サル必要ガアルダラウト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ如何ニ御考ヘニナッテ居ルカ、同時ニ又左様ナ留保ヲ爲スニ付キマシテハ、豫メ左様ナ文句ヲ挿入スルコトヲ避ケ得タデアラウト思フニモ拘ラズ、之ヲ避クルノ途ニ出デズシテ、御批准ニ當ッテ留保ヲスル必要ヲ生ズルニ至ラシメタコトハ、政府トシテ失態デアッタデアラウ、左様ニ私ハ思フノデアリマス、昨年ノ四月十三日ニ亞米利加政府ヨリ提議ノアリマシタ際、亞米利加政府ノ手紙ノ中ニハ、修正シテ同意ガ出來ルナラ修正シテ吳レト云フガ如キ言葉モアルノデアリマシテ、決シテ修正ヲ許サナイト云フモノデハナカッタ思ハレルニモ拘ラズ、ソレヲ爲サズシテ今日ニ至ッタト云フコトハ、全く不注意デアッタモノデハナイカト私ハ察スルノデアリマス、衆議院ニ於テ此點ニ付テノ質問ノ際政府ハ、其點ニ付テハ亞米利加政府トノ間ニ諒解ヲ遂ゲテアル、ダカラ心配ハ要ラナイト云フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、其亞米利加政府トノ間ニ諒解ヲ遂ゲタト云フ其公文ノ發表ハ未ダニ無イノデアリマス、然ルニ其當時ノ往復文書、其他ノ分ニ付テハ國際時報等ニ政府ハ發表シテ居ルノデアリマス、唯此大事ナ亞米利加政府トノ間ニ「人民ノ名ニ於テ」ト云フ言葉ヲ挿入スルニ付テノ我が政府ノ解釋ハ斯様デアルト云フコトノ諒解ヲ求メタ、其文書ノ發表ハ未ダニ無イノデアリマス、此點ガ誠ニ私トシテ不思議ニ思フノデアリマスガ、政府ハ左様ナ言葉ガ同條約ノ中ニ用キラレテ居ッタコトヲ見逃シテ今日ニ及ンダト云フコトハ過失ト思ハナイ、何等ノ失態ナシト思ッテ居ラレルカドウカ、此點ヲ政府ニ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、以上ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今ノ御尋ニ付テ御答ヲ致シマス、第一ノ此

關稅ノ問題ニ付キマシテハ、過般私ガ此處デ申上ゲタ通りニ、支那ニモ此公表ト云フコトニ付テ交渉ヲ致シテ居ルノデアリマス、ガ先方ヨリ之ニ對シテ未ダ同意ヲ致シテ來ヌノデアアル、恐ラクハ何ガ爲ニ同意ヲ表シテ來ヌノデアラウカト云フ御尋ニ對シテハ、今日ノ彼國ノ國情ガ、之ヲ同意ヲシテ來ヌ所以デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、不戰條約ノコトニ付テノ御尋デアリマス、此不戰條約ニ付キマシテハ、初メヨリ政府トシテハ慎重ニ考慮ヲ拂ヒ、又十分ニ手續ヲ盡シテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ保留スルカ云々ト云フコトノ御尋デアリマスガ、左様ナコトニ付テノ茲ニ政府ノ意思ヲ御答ヲスルト云フコトハ、未ダ御批准ノ相濟マヌ場合デアリマスカラ、折角、今日ハ御批准ノ手續中デアリマスカラ、其以前ニ當ッテ彼此レ之ヲ御説明申スト云フコトハ、遠慮イタスベキコトト考ヘルノデアリマス、併シ只今指摘ナサレタ其意義ノコトニ付キマシテハ、政府トシテハ最初ヨリ十分ニ考慮ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、決シテ其點ニ注意ヲスルコトヲ疎カニシテ居ッタト云フ意味デハナイノデアリマス、ソレダケハ申シテ置キマス

○男爵矢吹省三君 日支關稅協定ニ付テノ交換公文ノ發表ニ付テ、支那政府ヨリ未ダ同意ヲシテ來ヌト云フコトデアリマス、ソレガ事實デアリマスレバ、誠ニ已ムヲ得ナイコトデアリマス、成ルベク早く御發表アラムコトヲ希望シテ置キマス、續イテ不戰條約ニ付テノ「人民ノ名ニ於テ」ト云フコトガ最初カラ考ヘテ居ッタノデアアル、不注意デナイ、斯様ナル仰セデアリマスガ、然ラバ御批准奏請ガ疾クニ出來テ居ルダラウト思ヒマスガ、今ニ於テ御奏請ナイノハ何故デアリマスカ、其點ヲ重ネテ伺ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 今日マデ御批准ガ遲レテ居ッタ事實ハドウデアアルカト云フ御尋デアリマス、是ハ其條約ニ對スル各國ノ態度ヲ能ク見ルト云フコトモ必要デアラウト考ヘルノデアリマス、現ニ未ダ佛蘭西モ批准ヲシテ居ラスノデアリマス、又先刻御舉ゲニナリマシタ白耳義ハ昨今其運ビニナッタヤウデアリマス、必シモ之ヲ急イデヤラナクテハナラヌト考ヘマセヌ、是ハ各國ノ狀況モ能ク見テヤルコトニ何等差支ノナイコトト存ジマス

○男爵矢吹省三君 只今ノ御答辯ニ依リマス、各國ノ態度ヲ見タ上ニスルノデアルト云フ仰セデアリマスガ、其御言葉カラ見マスルト、當然日本ハ最後ニ批准スルノデアアル、斯ウ云フコトト了解シテ差支ナイト思フノデアリマ

ス、我々ハ不戰條約ニ昨年政府ガ調印シタ時ト、今日此條約ニ對スル國民トシテノ考ハ、少シモ差ノナイモノト思フノデアリマス、從テ同條約ニ對シテ我國ガ最後ニ批准スルガ如キコトハ、成ルベク避ケタイモノデアルト思フニモ拘ラズ、總理ハ好シデ左様ナルコトヲ爲サレルト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思フ、而シテ先刻私ガ指摘イタシマシタ言葉ニ付テハ、最初カラ考ヘテ居リ、又何等不都合ノナイモノデアルト思フガ如キコトデアリマシタカラ、恐ラク御批准ヲ奏請サレルニ付テハ、何等ノ留保モセズシテ、御批准ヲ奏請サレルノデアラウカト思フノデアリマス、此際御答辯ガアリマスレバ幸デアリマスガ、左様ニ了解シテ宜シイカドウカ、重ネテ御答辯ガ願ヘレバ仕合セデゴザイマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 長尾元太郎君ノ登壇ヲ望ミマス

〔長尾元太郎君演壇ニ登ル〕

○長尾元太郎君 只今上程ニナリマシタ委員長報告ノ追加豫算中内務省所管土木工事支出ニ關シマシテ、岐阜縣ニ於キマシテノ犀川事件ニ付テ此際内務大臣ニ御尋シタイノデアリマス、會期終了ノ今日デアリマスルカラ、成ルベク差控ヘタイト存ジマシタケレドモ、アレ程ノ騒ギヲ起シマシタ所ノ事件デアリマスルカラ、且ツ工事ノ著手モ迫ッテ居リマスカラ、再度斯ノ如キ騒動ガナイ爲ニ、當局ノ御答辯ヲ得テ事ヲ明カニシテ置クコトガ必要デアルト存ジマスカラ、已ムヲ得ズ今日御伺ヒスル次第デアリマス、私ノ御尋スルノハ左ノ三件デアリマス、第一ハ騒擾ニ依ッテ起訴セラレタコトニ付テ、第二ハ犀川工事ノ設計ニ付キマシテ、第三ハ知事ノ執リマシタル處置ニ付キマシテ、以上三點ノ質問ノ要旨ヲ簡單ニ申述ベマシテ御尋ネ致シタイト存ジマス、犀川事件ト申シマスルト、本年一月岐阜縣ノ安八郡ノ名森村初メ七箇村ノ農民ガ岐阜縣當局ニ犀川改修ノ新工事ノ變更ヲ願ヒ出デタヨリ起ッタ所ノ騒擾事件デアリマス、皆様ガ東海道線ヲ御通行ニナリマスルト、岐阜市ト大垣市トノ間ノ線路ノ南方ニ見渡ス所ノ一帯ノ平坦地ガ、今回ノ騒擾ノ起ッタ所ノ地方デアリマス、此地方ニハ岐阜縣内ヲ流レテ居リマスル所ノ三大川ノ中ノ揖斐川ト長良川ノ兩川ガ南方ニ向ッテ流レテ居リマシテ、其間ニ騒擾ノ起リマシタ所ノ名森村初メ七箇村ガ挾マレテ居ルノデアリマス、其兩川ノ間ノ地ハ幅ガ約二十町位デアリマシテ、南北五六里ノ間ニ互ッテ居ル所デアリマス、此地方ハ土地ガ極メテ平坦デ低イ所デアリマスルカラ、少シ雨ガ續キマスルト直ニ水

入リニナリマシテ農民ハ水ノ爲ニ極メテ苦シメラレルノデアリマス、ソレ故ニ水ヲ恐レル所ノ念ガ甚ダ強イノデアリマス、此所ヘ向ッテ又新タニ犀川ト申ス川ノ流レヲ造ラウト云フノデアリマス、其工事ノ爲ニ幅五六十間長サ三里ノ田畑ガ荒廢トナルノデアリマス、之ガ爲ニ此地方ノ農民ハ昨年改修工事ノ決定ヲセラレタト云フコトヲ、世間デ唱ヘラレマシタ以來、岐阜縣當局ニ度度願出デタノデアリマスルガ、其目的ヲ達シ得ナカッタノデアリマス、斯様ニシテ此川ノ新工事ノ爲ニ七箇村ノ村民ノ祖先以來住居シテ居ッタ宅地、及び其生活ノ爲ニ耕作シテ居ッタ所ノ田畑ガ荒廢トナリマシテ、生活ノ安定ヲ侵サレル爲ニ、此工事ヲ變更又ハ廢止サレタイトノ意味ヲ、本年一月七日ニ約千數百名ノ農民ガ一團トナリマシテ、岐阜縣廳ニ來ッテ願出デタノデアリマス、其時ニハ民衆團ニ格別不穩ノ行動ガアッタノデアリマセス、代表者ヲ選ビマシテ岐阜縣知事金澤正雄殿ニ面會ヲ求メタノデアリマス、其時知事ハ直接面會ヲセズシテ、何カ御差支ガアツタカ代理者ニ取扱ハシメテ、農民代表者ト會見シタ由ニ聞及ンデ居リマス、其時ニ農民ノ願ノ趣旨ガ聞届ケラレザリシ爲ニ、七箇村ノ町村長助役等ハ遂ニ辭表ヲ提出イタシマシタ、縣ニ於キマシテハ之ヲ受理イタシマシテ、翌日縣吏員ヲ派遣シテ事務管掌ヲナシ、而モ其吏員ハ數十名ノ警官ト共ニ、一月八日ノ夕方ニ其名森村地方ニ出張シタノデアリマス、其時ニ早ヤ夕方デアリマスカラ、村民ナドニ於キマシテハ役場ナドハ錠前ヲ掛ケマシテ、戸締リヲシテ置イタノデアリマス、ソレニモ拘ラズ吏員ハ村民ニ何等ノ諒解ヲモ得ズシテ役場ニ入り込ンダノデアリマス、ソレ等ガ原因トナリマシテ、村民ハ激昂イタシマシテ遂ニハ警官ト農民トノ衝突トナリマシテ、翌日、九日ノ朝マデ大小ノ衝突ガ續ケラレタノデアリマス、之ニ依ッテ農民ノ重傷者ガ四人、輕傷者ガ三十五六人ト思ヒマス、又警官ノ負傷者モ數名出來マシタ、斯ノ如ク雙方ノ間ニ負傷者ヲ出シタト云フコトハ此聖代ノ御代ニ於キマシテ、甚ダ遺憾ノ次第デアリマス、其衝突ノ場合ニ於キマシテ、傳ヘ聞ク所ニ依リマスルト、警官ガ農民ニ向ッテ先キニ暴行ヲ加ヘタト云フヤウナコトガ傳ヘラレテ居リマスガ、果シテ然リトスレバ、斷ジテ許スベカラザルコトデアルト存ジマス、之ニ對シテ岐阜縣下ノ警官ノ非常召集ヲ發シマシテ、殆ド總動員ヲシタトノコトデアリマスルガ、其數ハ田舎ノ縣デアリマスルカラ約七百名バカリデアアルカト思ヒマス、尙ホ縣下ノ警官ダケデハ不足ヲ告ゲマスモノトシテ、三百名ノ應援ヲ愛知縣ニ願出タノデアリマス、其警官ハ其

日ノ正午頃著シマシテ、又其上ニ多數ノ憲兵……傳へ聞ク所ニ依リマスルト七八十名位トモ又百名位トモ申シマスガ、其憲兵ノ出動ヲ願出タノデアリマス、其憲兵ハ九日午後四時頃ニ騷擾地方ニ著シタト云フコトニ聞キ及ンデ居リマス、尙ホソレデモ不足ト致シマシテ岐阜縣當局ハ遂ニ軍隊ノ出動ヲ、第九師團下ノ敦賀聯隊ヨリ派遣ヲ願出タノデアリマス、新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスルト、一月九日ノ午後八時十五分、大垣驛著上リ列車デ、第九師團ノ敦賀第十九聯隊ヨリ百五十名程ノ兵隊ガ著シマシテ、大垣驛ニ駐屯シテ一泊シテ歸隊シ、尙ホ四箇中隊ノ軍隊ハ米原驛マデ出動シテ引返シタト云フヤウナ説ガアッタノデアリマス、ソレ故ニ御尋シタイノハ、一月十日ニ騷擾關係ノ人民ノ檢舉ニ取掛ッタノデアリマスガ、其檢舉ガ第一回、二回、三回ニ互リマシテ、約二百名程ノ檢舉ヲナシタノデアリマス、其檢舉方法タルヤ、極メテ亂暴、人權蹂躪ノ行動ガアッタト云フコトデアリマスルガ、其内、取調ノ結果大部分ハ歸サレマシテ、起訴サレタル者ガ四十七名アリマシタト云フコトデス、是等ノ人ガ罪ヲ犯シタ動機ト申シマスレバ、前申述ベマシタル通り、生活ノ安定ヲ缺クコトカラ生ジタコトデアリマスル故ニ、極メテ同情スベキ點ガアルノデアリマス、此人々ニ對シテハ成ルベク早く取調ヲ進行セラレマシテ、法律ノ許ス範圍ニ於キマシテ、最モ輕キニ依ッテ處分セラレムコトヲ私ハ希望スルノデアリマス、ソレト同時ニ當局ニ於カレマシテハ、私ト同様ノ御意見ガアリマスルカ否ヤト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、第二ハ此騷擾事件ハ一月十一日ニ岐阜縣知事ヨリ農民ノ代表者ニ對シマシテ、白紙デ設計ヲヤリ直ストノ言明ヲナシ、回答ガ與ヘラレマシテ、漸ク一時鎮靜ニ至ッタノデアリマス、先般此問題ガ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ、某代議士ヨリ質問ノアリマシタル時ニ、政府ノ御答ニハ工事ノ設計ガ未ダ確定シテ居ラヌヤウニ御答ニナッタヤウニ存ジマスルガ、此工事ハ確カ最早來月、四月カラ著手セラル、コトニナッテ居ルカト存ジマスルカラ、果シテマダ工事ノ設計ガ出來テ居ナイト云フコトデアリマスレバ、是ハ當局ノ怠慢ノ責ヲ免カレルコトハ出來ナイノデアリマス、最早工事ノ設計ハ決定シテ居リマスルノデアリマスルカ、關係地方農民ノ安心ガ出來ルヤウニ御發表、御答辯ガ願ヒタイノデアリマス、第三ハ軍隊ノ出動ガ傳ヘラレマシタルガ故ニ各地ノ新聞紙ニモ事件ハ益々誇大ニ傳ヘラレルヤウニナリマシタノデアリマス、農民ガ竹槍ヲ作リマシタトカ、或ハ種々ノ流言蜚語ガアリマシタケレドモ、警官ト民衆ト八日ノ晩ニ一

同ノ大衝突ガアリマシタノミデ、何等軍隊ノ出動ヲ請フ程ノ暴動事件デハ私ハ無カッタト存ジマスルノデアリマス、是ハ餘リ縣知事ガ狼狽ノ結果ニシテ、又縣當局ガ僅カ一時間位ニテ其名森村マデハ岐阜縣廳カラ平坦地デアリマスルカラ、自動車達シ得ラレル所デアリマス、ソレニモ拘ラズ唯部下ノ報告ノミヲ聞キマシテ、一度モ現場ヲ實驗セズシテ席上論ノミニテ取扱ッタ缺點モアルカト存ジマスノデアリマス、軍隊ノ出動ト云フコトハ容易ニ爲スベキコトデハナイノミナラズ、犀川事件ノ如キハ警官ダケニテ十分ニ取締リ得タコトデアルト考ヘルノデアリマス、最初一月七日ニ、七箇町村ノ農民ガ縣廳ニ出頭イタシマシテ、縣知事ニ願出デタル際ニ、モウ少シ懇切ニ知事ガ話シテヤッタナレバ、斯ノ如キ騷擾ハ起ラナカッタカト私ハ考ヘルノデアリマス、又軍隊ノ出動ヲ請フ程ノ事件デハ勿論ナカッタノデアリマス、農民生活ノ不安ニ何等ノ同情モナク、恰モ農民ガ何カノ大動亂デモ起シタ如キ取締ヲナサレタト云フコトハ、農民ノ思想取締ニ於キマシテ、將來甚ダ惡結果ヲ生ズルコト私ハ存ジマス、軍隊ヲ出動セシムルト云フコトハ農民ヲ暴民扱ヒニスルコトデアリマシテ、甚ダ宜シクナイコトデアルト存ジマスルノデアリマス、ソコデ御尋シタイノハ、斯ノ如キ失政ヲナシタルニモ拘ラズ、何等之ニ對シテ縣當局ハ責任ヲ表明スルコトナク、農民數十名ノ檢舉起訴ヲ行ヒマシタケレドモ、良民ニ傷害ヲ加ヘタル所ノ、警官等ノ責任ヲ明カニセナイノデアリマス、以上述べマシタ岐阜縣知事ノ取扱ニ對シマシテ、内務大臣ハ如何ヤウニ御考ヘニナルノデアリマスルカ、又軍隊ノ出動ノ必要ナカッタ事件ニ對シマシテ、免ニ角其出動ヲ願出デタト云フ知事ノ取扱ヒタル失態ノ處置ヲ如何ヤウニ處理セラレル御考デアリマスルカ、勿論農民集團ノ不穩ノ行動ト云フコトハ、十分取締ラネバナラヌノデアリマスルガ、前述ベマシタ如キ知事ノ取扱ハ、民衆思想取締上、將來ニ惡影響ヲ及ボシハセスカト云フ憂慮ヲ致ス次第デアリマスルカラ、内務大臣ハ之ヲ如何ヤウニ御考ニナルノデアリマスルカ、以上述べマシタ三點ニ付キ明瞭ナル、且ツ關係地方ノ農民ガ十分安心ト諒解ノ出來ル程度ノ御答辯アラムコトヲ切ニ御願シテ止マナイ次第デアリマス

〔政府委員秋田清君演壇ニ登ル〕

○政府委員(秋田清君) 只今、長尾サンカラ御尋ニ相成リマシタル犀川ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ當議場ニ於テ佐竹サンカラ懇切ナル御質問ガゴザイマシテ、私ヨリ御答ヲ申上ゲテ置イタノデゴザイマシテ、大體ハ是ニテ御諒

解ヲ得タイノデアリマスルガ、只今此事件ニ付テ特ニ深キ御心配ヲ御持チニ
ナツテ居リマス長尾サンヨリ重ネテノ御質問デゴザイマスカラ、御尋ニナリマ
シタ點ニ付キマシテ簡單ニ茲ニ重ネテ御答ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、
第一ハ此騷擾事件ニ付テ被告トナツテ居リマスル人々ニ對シテ、其取扱ヲ成ル
ベク寛大ニ致セト云フ御註文デゴザイマス、事件ニ付キマシテハ極メテ公平
ニ當局トシテハ調査ヲ致シテ居リマス、事件ガ既ニ檢事ノ手ヲ離レテ裁判ニ
移リマシタナラバ、裁判所ハ極メテ嚴正ニ公平ニ之ヲ取扱ヒマスノデアリマ
シテ、ソコニ少シモ御心配ハ無カラウト存ジマス、檢事局ノ手ニ在リマス間ニ
於キマシテハ成ルベク範圍ヲ制限イタシマシテ、殊更ニ峻嚴ニ致シタト云フ
ヤウナコトハナイ筈デゴザイマス、固ヨリ警察ニ於テハ殊更事件ノ擴大ヲ欲
スルト云フヤウナコトノナイコトハ申ス迄モナイコトデ、即チ此事件ノ起リ
マシタコトハ誠ニ遺憾千萬デゴザイマス、成ルベク當局ト致シマシテハ範圍
ノ擴大ヲ欲シマセヌノデ比較的寛大取扱ヲシタ筈デゴザイマス、此點ハ左
様ニ御諒承ヲ願フテ置キタイノデアリマス、第二ノ此工事ノ設計デゴザイマス
ガ、是ガマダ定テ居ラヌト云フノハドウ云フコトデアアルカト云フ御答デゴザ
イマシタ、未ダ以テ定テ居ラヌト云フコトデアレバ甚シキ怠慢デハナイカ
ト云フヤウナ御叱責モアッタノデゴザイマスガ、此工事ノ設計ハ事實ニ於テ今
日マダ定テ居ラヌノデゴザイマス、大體ノコトハ固ヨリ昨年特別議會ノ際、
上下兩院ノ御協賛ヲ經テ事柄デアリマスカラ、其大體ノ計畫ハ定テ居リマス
ルコトハ申ス迄モゴザイマセヌガ、併シ實施設計計畫ト云フモノハ極メテ細
カク立テナケレバナリマセヌノデ、從テ岐阜縣ノ當局ハ固ヨリ、名古屋ノ土木
出張所及内務省ノ土木局ノ技術者ノ間ニ於テ、極メテ詳密ナ調査ヲ致スノデ、
從テ是ガ實施設計計畫ノ定マラスト云フコトハ、決シテ怠慢デモ何デモナイ
ノデアリマス、昨年ノ夏特別議會ノ御協賛ヲ經テ、爾來僅ニマダ半年デゴザイ
マス、即チ昨年ノ十二月ニ至ツテ是ガ實施設計計畫ノ確定ヲ見ヤウト致シテ
居ッタノデアリマス、其際ニアノヤウナ事件ガ起ッタノデ、事件ガ起リマシタ以
上ハ當局ト致シマシテハ、成ルベク地方民ノ利害ヲ考慮イタシマシテ、再ビ斯
ノ如キ事態ノ發セザランコトニ十分ノ注意ヲ加ヘテ、サウシテ實施設計計畫
ヲ確定イタサナケレバナラヌノデアリマスカラ、今日マダ是ガ確定ヲ見テ居
ラヌト云フコトハ、必シモ怠慢トハ申サレヌト思フノデアリマス、大體年度内
ニ於テハ此計畫ヲ確定イタサセテ、サウシテ是ガ施行ヲ圓滿ニ致シタイト云

フ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、第三ニ此騷擾事件ニ付テ、知事ノ執リマシ
タ措置ガ甚ダ宜シクナイト云フ御答デゴザイマシタ、殊ニ軍隊ノ出動ヲ請フ
ニ至ッタト云フコトニ付テモ御答ガアッタノデアリマスガ、當局ト致シマシテ
ハ斯様ナ事態ノ發生イタシタ場合ニ、公安ヲ維持スルタメニ必要ナル最善ノ
努力ヲ致サナケレバナラヌ責任アル知事ト致シマシテ、アノヤウナ態度ヲ執
リマシタルコトヲ必シモ咎ムル譯ニハ參ラスト、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザ
イマス、即チ軍隊ノ出動ヲ求メマシタコトモ、決シテ不當ナル舉動デアッタト
ハ認メテ居ラヌノデアリマス、幸ニシテ軍隊ハ出動スルニ至ラズシテ事件ハ
終熄イタシタノデゴザイマスガ、此間ニ處シテ知事ガ執リマシタ所ノ此警察
ノ活動ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、完全ニシテ些ノ遺憾ガナカッタハ
決シテ申サヌノデゴザイマスケレドモ、之ニ依ッテ知事ニ對シテ其責任ヲ問ハ
ナケレバナラヌ程ノ失態ガアルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、從テ知事
ノ進退等ニ付テハ、當局トシテハ何等考慮ヲ致シテ居ラヌ次第デゴザイマス、
要スルニ斯様ナ事態ノ發生イタシマシタト云フコトニ付キマシテハ誠ニ遺憾
千萬デゴザイマスケレドモ、斯様ナ事件ノ起リマシタ動機ハ、要スルニ關係
地方民ガ實施設計計畫ニ誤解ヲ持チマシタ結果トシテ、即チ岐阜縣民ハ格別
此水ノコトニ付テハ感情ガ鋭敏デゴザイマス、自分ノ利害ニ付テ甚シク心配
シタル結果ト致シマシテ、誤解ガアノヤウナ事件ヲ生ミマシタコトデゴザイ
マスノデ、此點ニ付キマシテ縣知事ノ責任ト云フモノニ付キマシテハ、私ハ
一派ノ御意見トハ特別ノ考ヲ持ッテ居リマス次第デゴザイマスノデ、只今長尾
サンノ御叱責デハゴザイマシタケレドモ、之ニ付テ知事ノ責任ヲ云爲スル程
ノ事態トハ考ヘテ居ラヌノデゴザイマス、大體左様ニ御承知ヲ願ヒタイノデ
ゴザイマス

○長尾元太郎君 簡單ニモウ一度、此席カラ御尋ネ致シマス、只今ノ御答辯
ハ、少シ遠方デ聽キ漏シタコトモアリマスガ、第一ノ質問ニ對シテ、特ニ重
ク扱ハレルヤウナコトハナイ、極メテ公平ニヤル、斯ウ云フ御答辯ニ聽キ取
リマシタガ、私ノ御尋ネシタノトハ少シソレデハ違ヒハセヌカト思ヒマス、
私ハ此農民ノ騷擾ノ起ッタ動機ガ、先程述べタ生活ノ安定上起ッタコトデアッ
極メテ同情スベキコトデアアルト存ジマス、法律ノ許ス範圍内デ成ルベク輕ク
御取扱ニハナラヌノデアリマスカラト云フコトヲ御尋シタ積リデアリマス
ガ、ソコガ甚ダ了解ガ出來ナンダノデアリマス、第二ニハマダ此工事ノ設計

ガ矢張り今日デモ定マツテ居ラヌヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ何時頃迄ニ御決定ニナルノデアリマスルカ、關係地方ノ農民ハ首ヲ長クシテ、ドウ云フコトニ決定セラレルカト云フコトデ待ッテ居ルコトト存ジマスルカラ、是等ノ農民ノ安心ノ出來ル程度ニ、一日モ早ク決定セラレルコトヲ私ハ希望スルト同時ニ、此年度ノ何時頃迄ニ御決定ニナラレルノデアルカト云フコトヲ承ハレ、バ此際承リタイト思ヒマス、又第三ノ問ニ對シテ、軍隊ノ出動ヲ知事ガ請求シタノハ當然デアッタト云フコトノヤウニ御答ニナッタト思ヒマス、又、併ナガラ此軍隊ハ出動ヲセズシテ止ンダト斯ウ云フ御答辯デアリマス、併ナガラ私ハ丁度岐阜縣ニ居リマスカラ、當時ノ狀況ヲ能ク存ジテ居リマスルガ、軍隊ノ出動スル程ノ騒ギデハナカッタ、又出動ヲ願出ル程ノ必要ハナカッタ事件ノヤウニ考ヘテ居リマスルノデ、之ヲ願出タコトハ不當デハナカッタラウカト云フ質問ヲシタノデアリマスガ、其邊ガ私ニハ能ク分リマセヌデシタ、モウ一應御説明ヲ願ヘレバ甚ダ満足イタスノデアリマス

〔政府委員秋田清君演壇ニ登ル〕

○政府委員(秋田清君) 重ネテノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、騒擾ニ關係ヲ致シマシタ被告人ノ取扱ニ付キマシテ成ルベク出來得ル限り寛大ノ處置ヲ執リマシタコトハ、只今申上ゲタ通りデアリマス、警察官憲ノ出來マスル間ニ於テハ出來得ル限り事件ノ擴大ヲ防イデ寛大ノ處置ヲ執リマシタノデアリマス、檢事ノ手ニ於キマシテモ同様デアリマス、唯已ムヲ得ズシテ起訴セラレタル事件ガ只今裁判所ノ手ニ繫屬イタシテ居ルノデゴザイマスルガ、之ニ對シマシテハ當局ト致シマシテハ裁判ノコトニ關係ヲ致シテ、之ヲ如何ニ取扱フ致スカト云フヤウナコトヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌノデアリマス、唯裁判官ト致シマシテモ出來得ル限り事態ヲ公平嚴正ニ審理イタシマシタル結果、甚シキ不都合ナル裁判ヲ爲サルヤウナ筈ハナカラウト唯像想イタスニ過ギマセヌノデアリマス、要スルニ裁判ノコトニ付テ彼此レ當局トシテハ御答申上ゲル限りデハゴザイマセヌ、長尾サンノ御心配ニ相成ル程度ノ結果ヲ見ルモノトハ當局ハ考ヘテ居リマセヌノデアリマスカラ、御安心ヲ願ヒタイノデゴザイマス、第二ノ實施設計計畫ハ何時頃確定スルカト云フ御話デゴザイマスルガ、是ハ出來得ル限り急速ニ取運ビマシテ、年度内ニ確定ヲ致サセタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、但シ之ガ施行ヲ圓滿ニスル上ニ於キマシテ、實施設計計畫ヲ、年度内ニ定メマシタカラト申シテ、直ニ之ヲ世間ニ發

表スル譯ニ參ルカドウカ、此點ハ十分考慮イタサナケレバナラズト考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ再ビ斯ノ如キ事態ノ發生ヲ當局トシテハ深ク恐レテ居ルノデアリマスカラ、實施設計計畫ノ確定シタル後ニ於テ之ガ圓滿ナル施行ヲ見ルガ爲ニ最善ノ考慮ヲ加ヘナケレバナラズト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、知事ガ出兵ヲ要求イタシタ所ノヤリ口ガ甚ダ宜シクナカッタト云フコトニ付キマシテハ、是ハ要スルニ御意見ノ相違デゴザイマシテ何トモ致シ方ハゴザイマセヌガ、當局ト致シマシテハ治安維持ノ責任ヲ持ッテ居ル縣知事ト致シテ、アノ場合アノ舉動ヲ執リマシタルコトハ、深ク咎ムルニ足ラザルコトト考ヘテ居リマス次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○長尾元太郎君 簡單ニモウ一應……宜シウゴザイマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○長尾元太郎君 只今ノ御答辯ニ年度内ニ決定スルト申サレタノハ、此三月三十一日迄ニ御決定ニナルモノト私ハ承ッタノデアリマス、左様ニ私ハ了解スルノデアリマス、又軍隊ノ出動ニ對シテ願出タコトハ已ムヲ得ザルコトデアルト御答辯ニナリマシタガ、一般ノ農民等ニ於キマシテハ、總テガ事實デナカッタ、又何等願出ル必要ハナカッタト云フコトヲ、關係方面ノ農民ハ述ベテ居ルノデアリマスルカラ、是レ以上述ベマスルコトハ、矢張り今御述ベニナッタ通り意見ノ相違ニナリマスルカラ、私ノ質問ハ此程度デ止メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 休憩ヲ致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會イタシマス

午後零時十四分休憩

午後一時五十五分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

昨二十四日可決シタル議員正四位勲二等杉田定一君ニ對スル弔辭ハ本日之ヲ贈レリ

本日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案修正案(發議者佐竹三吾君、贊成者公爵一條實孝君外二十一名)

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提案ハ同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

鐵業營業法中改正法律案

○議長 公爵徳川家達君 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ添田君ニ質疑ノ發言ヲ許ス前ニ、添田君ニ議長ハ伺ッテ見タイコトガゴザイマス、ソレハ添田君ノ質疑ハ三土大藏大臣ノ出席ノ上デ質疑ヲセラル、御希望デアルト考ヘマスガ、大藏大臣ハ、只今本院ノ特別委員會ニ出席中デ、本議場ヘハ出席ガ不可能ノ趣デゴザイマス、大口政務次官ガ大臣ニ代ッテ添田君ノ質疑ヲ伺ハレタ上デ答辯ヲナサルト云フ豫告ヲ得マシタガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ、或ハ大藏大臣ノ是非出席ヲ要求イタシマセウカ

○添田壽一君 會期切迫ノ場合デゴザイマスカラ、大口政務次官カラ大臣ニ御傳ヘ下サッテ、政府ヲ代表シテ御聴キ下サレバソレデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ添田君ノ登壇ヲ願ヒマセウ

—添田壽一君演壇ニ登ル—

○添田壽一君 過日此議場ニ於キマシテ豫算ト法律トノ可分不可分ノ問題ガ皆様ノ御聴キノ通り生ジタノデアリマスガ、此忙シイ際ニ私ハ同一事ヲ繰返シマセヌ、唯其節ハ僅ニ競馬法關係カラ致シマシテ豫算ト法律ノ喰ヒ合ヒマセヌ金高ガ二十有餘万圓ニ過ギナカタノデアリマス、然ルニ兩稅委讓問題ガ御承知ノ如キ經路ヲ踏ムヤウニナリマシタ以上ハ、歳入ニ於キマシテ數千萬圓トハ行カヌニシテモ、少クトモ千有餘万圓ノ茲ニ豫算ト法律ノ喰ヒ合ハナイ高ガ生ジタノデアリマス、過日ハ僅ニ金高ガ二十万圓位デアラカト云フヤウナコトデ、問題ガハッキリシナイ中ニ經過シタノデアリマスガ、今ヤ千万圓以上ノ問題トナッタノデアリマス、又飜ッテ歳出ノ方ヲ假定イタシマシテ考ヘマス時ニハ、市町村ノ交付金ト云フモノガ兩稅委讓ノ計畫ノ止ミマス爲ニ、更ニ其處ニ生ジテ參リマス高ハ、或ハ四百万圓位カモ知レマセヌケレドモ、若シ今尙ホ殘ッテ居リマス所ノ政府ノ重大ナル法案ガ、或ハ鐵道關係ニ於テハ五千万圓、或ハ米穀法ニ關係シマシテハ七千万圓、自作農ニ對シマシテハ三千万圓、肥料ニ關係イタシマシテハ二千万圓、之ヲ合計イタシマスト一億七千万圓ト云フモノガ、豫算ト法律ト喰ヒ合ハナイト云フ結果ヲ生ズルノデアリマス、即チ計畫ノ上デ實際ソレダケ國庫ニ餘裕ヲ生ズルト云フ結果ヲ産ミ出スノデアリマス、是ハ實ニ重大ナ問題デアリマス、是ハ財政監督上決シテ輕クニ看過スベキ問題デナイト思ヒマス、併シ今更此豫算ト法律トノ關係ニ付

キマシテ彼此レ論議ハ致シマセヌ、其解釋ハ更ニ他日改メラレル時機モアラウト思ヒマスルガ、唯憲法ノ第六十四條ノ規定ニ照シ、ドウシテモ此問題ニ付キマシテ政府ノ意見ヲ確メテ置カナケレバ御互ガ財政監督上ノ責任ヲ空シクシタト云フ嫌ヲ免レナイト思フノデアリマス、故ニ政府ヲ代表サレマシテ大口次官カラデモ宜シウゴザイマス、政府ヲ代表シテ仰セラレルナラバ……、歳入歳入ニ分ケマシテ、愈々何千万圓豫算ト法律トノ間ニ喰ヒ合ハナイ高ガ、只今ノ所デ法案ノ運命ヲ推定ナサレバ生ズル見込デアリマスカト云フコトガ伺ヒタイノデアリマス、大體ノ數ヲ出來レバ只今伺ヒタイノデアリマス、ケレドモ是ハ調査ヲ要スルト云フコトデアリマスレバ、追ッテ正確ナル數字ハ書面ヲ以テ此議場ニ、即チ貴族院ニ御報告アリタイト思フノデアリマス、是ハ今述ベラレルト否トニ拘ラズ重大ナル事柄デアリマシテ他日ノ證左ニナルコトデアリマスカラ、明カニ公文ヲ以テ此貴族院ニ、報告セラレムコトヲ要求イタシマス、更ニ今一ツ伺ッテ置キタイノハ或ハ是ハ廟議ヲ經ナケレバナリマセヌカモ知レマセヌカラ今日デナクトモ宜シウゴザイマス、斯ノ如キ巨額ナ餘裕ガ意外ニモ生ジマシタ以上ハ、ドウシテモ是ノ處分ヲドウナサルカト云フコトハ、凡ソ議會トシテハ承ッテ置カナケレバナラヌ點デアラウト思ヒマス、殊ニ希望ト致シマシテハ斯ノ如キ豫期セザリシ所ノ餘裕ハ、須ラク公債ノ償還ニ、我國ノ内外ノ信用ヲ維持スル上ニ於キマシテ向ケラルベキデアラウト信ジマスルガ故ニ、サウ云フ考ヘハ政府ニ於テ有リナリマセヌカト云フコトヲ我々ハ伺ハナケレバナラヌノデアリマス、其他是等ノ餘裕ノ處分ニ付キマシテ政府ハ考ヘテ居ラレルコトガアリマスレバ、念ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、是ハ兩稅委讓ト關係シマスカラ豫算其モノニハ直接關係ヲ持チマセヌケレドモ、幸ヒ内務大臣閣下ガ御出席デアリマスカラ、附加ヘテト申シテハ恐入リマスガ伺ッテ置キタイノハ、兩稅委讓委員會ニ於キマシテハ此所謂地方ノ自治權ヲ擴充スルト云フ爲ニ兩稅ノ委讓ヲ政府ニ於テ計畫セラレタノデアリマス、而シテソレニ依ッテ出マシタ所ノ即チ府縣制並市町村制ト云フモノノ改正ガ不可分ナモノトシテ御提出ニナッテ居リマス、又不可分ト云フ御話ヲ伺ッテ居ルノデアリマス、既ニ兩稅委讓ノ運命ガ御承知ノ通ノ有様ニナリマシタ以上ハ、私ハ其不可分ノ言葉ニ誤リナクンバ、僞リナクンバ是ハ須ラク撤回ヲナサルベキデアラウト思ヒマス、之ニ對スル御考ヲ伺ヒタイト云フコトヲ、併セテ質問申上ゲル次第デアリマス

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 只今ノ御質問ニ對シマシテ大體デハアリマスルガ、出來マス限リノ御答辯ヲ申上ゲタイト存ジマス、地租、營業收益稅兩稅ノ俗ニ申シマス委讓案ガ、兩院ヲ通過イタサナイコトニ相成ルモノト假定イタシマスレバ、昭和四年度ニ於キマシテハ、一千一百八十餘萬圓ノ金額ガ、……歳入ガ殖エル譯ニナラウト思ヒマス、ソレダケ減ルベキモノガ減ラナイノデアリマスカラ、歳入ニ於キマシテ增收ニナル結果ニナラウト思ヒマス、又之ヲ財政計畫ニ依リマスレバ、昭和六年度ニ於キマシテ約六千四百萬圓バカリ、昭和七年度ニ於キマシテ七千七百萬圓バカリノ餘裕ガ出ル勘定ニナルノデアリマス、併シハ後ノ年度ノコトデアリマシテ、昭和四年度ニ響キマスルノハ只今申上ゲマシタ通りデアリマス、ソレカラ出ル方ニ於キマシテ市町村ノ交付金ガ三四百萬圓豫算ト喰ヒ違フヤウニ仰セラレマスガ、是ハ後ノ年度ノコトデアリマシテ、差當リマシテ昭和四年度ニ於キマシテ響キマスルノハ、僅ニ三十五萬圓ニ過ギナイノデアリマスカラ、萬々一是ガ足りマセネバ、第一豫備金カラ支出イタシマシテ差支ナキモノデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ又此自作農、米穀需給等ノコトニ付テ御言及ニナリマシタヤウデアリマスルガ、是ハマダ當院ニ於カレマシテ、委員會デ御審査中デアリマスカラ、私共ハ必ズヤ御協賛ガ得ラレルモノト確信シテ居ルノデアリマスガ、若シ是ガ目的通り參ラナイニ致シマシタ所ガ、御承知ノ通り借入金ヲ以テ是ハ致スモノデアリマスカラ、法律ガ行ハレナイコトニナリマスレバ仕事ヲ致シマセヌ、仕事ヲ致サナケレバ借入金ヲ致サナイコトニナリマスカラ、之ニハ異動ヲ生ジナイ結果ニナル、唯之ニ對シマシテ要スル經費ダケニ相違ヲ生ジマスガ、御承知ノ通り此經費ハ自作農ニ關シマスル經費モ、昭和四年度ノ追加トシテ出シテアリマスノハ澤山ノ金デハナイノデアリマスカラ、其影響ト云フモノハ極メテ少ナイモノデアルト考ヘマス、併シハ必ズヤ御協賛ヲ得ラレルモノデアルト私共ハ確信ヲ致シテ、豫算通り參ルモノト信ジテ居リマス次第デアリマス、尙ホ此兩稅ノ問題ナドガ殘リマスルコトニナリマス、只今申上ゲマシタ所ノ餘裕ノ出來マス所ノ金、之ヲ如何ニ致スカ、或ハ公債ヲ償還イタス等ノ考ハナイカト云フ御問デアリマスガ、是ハマダ政府ノ議ハ決定イタシテ居リマセヌノデアリマス、愈、此議會ガ閉會ニナリマシテ結末ガ付キマスレバ、之ニ對シマシテハ政府ハ十分ニ研究ヲ致サナク

テハナラスト思ヒマス、今日マデ自ラ信ジテ參リマシタコトヲ何處マデモ遂行スルコトガ宜シイカ、或ハ貴衆兩院ニ於テノ御意見ニ或ハ鑑ミル所ガアツテ、多少ノ之ニ修正ヲ行フモノデアルカ、或ハ又四圍ノ事情ニ鑑ミマシテ、如何ニ之ニ對シテ方策ヲ立テマスカ、是ハ十分ニ研究ヲ致シマシタ上ニ、政府ハ最善ト考ヘマスルコトニ對シテ處置ヲ致スベキモノデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、是ダケ、私ガ御答ノ出來マス程度ニ於キマシテ御答辯ヲ申シタ次第デアリマス

〔國務大臣望月圭介君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(望月圭介君) 添田博士ノ御尋ニ御答ヲ申上ゲマスルガ、兩稅委讓案ト地方制度ノ改正案ハ、是ハ關聯ヲ持ッテ居ル案デアルト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、故ニ兩案ノ御審議ヲ御進メ願フト云フコトハ、政府トシテハ極メテ希望シテ居ル次第デアリマスルガ、併シ法律的ニ是ハ不可分ト申ス譯ノモノデハナイノデアリマシテ、今日マデ御尋ニ對スル答辯トシテハ、兩法案ハ關聯ハ致シテ居リマスルケレドモ、法律的ニ是ハ不可分ノモノデアルトハ思ヒマセヌト云フコトヲ御答ヘ申シテアル筈デアリマス、故ニ切離シテ御審議ヲ願フト云フコトモ、是モ出來ナイ譯デハナイノデゴザイマスルカラ、政府ハ此場合ニ此地方制度ノ改正案ヲ撤回スルノ意思ハ持ッテ居リマセヌ

○添田壽一君 此場合私ハ所謂討論ニ屬スルヤウナコトニナリマシテハ相成ラスト思ヒマスカラ、是レ以上ハモウ申シマセヌ、唯吳々モ政府ノ計畫ガ非常ナ狂ヒヲ生ジマシタル以上ハ、又非常ナル餘裕ガ茲ニ生ジマシタル以上ハ、所謂憲法ノ精神ニ依リ、又會計法ノ規定ニ依リマシテ、ソレガ濫用ニ流レナイヤウニ御注意ヲ願ヒタイト云フコトヲ切ニ繰返シテ申上ゲテ置キマス、又內務大臣閣下ノ御答辯ハ、是亦私ハ色々論ジタイコトハアリマス、詰リ此兩稅委讓案ヲ提出セラレマスル時ニ、政府ヲ代表シテ內務大臣閣下並ニ總理大臣閣下ガ縷々御話ニナリマシタ精神カラ言ヒマスレバ、即チ地方ノ自治ノ充實ヲ圖ル爲ニハ財源ヲ與ヘナケレバナラヌ、而シテ其財源ヲ與ヘルノニ營業稅ハ府縣ニ與ヘ、地租ハ市町村ニ與ヘルト云フ仕組カラ、此兩自治制、即チ府縣制並ニ市町村制ノ改正ガ主トシテ必要ヲ生ジタ譯デアラウト、是ハ私ハ事實ヲ曲ゲズニ解釋ヲ致スノデアリマス、ケレドモ只今ノ御言葉モゴザイマスカラ、是レ以上ハ議論ニナリマスル故ニ、私ハ是デ甚ダ遺憾ナガラ沈黙ヲ致

シマス

○男爵阪谷芳郎君 簡單デゴザイマスカラ此處デ……議長ニ御尋ヲ致シマスノハ、米穀調節法ノ特別委員ノ審査報告ガ御手許ニ出マシテゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員長カラノ報告ニハ未ダ接シマセス

○男爵阪谷芳郎君 大藏省ノ政府委員ニ伺ヒマスガ、日程第四、昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、此中ニハ米穀調節法ト關係ノアル條項ガアルト思ヒマスガ、其御示シテ願ヒタイト思ヒマス、ドレトドレガ關係シテ居ルカト云フコトヲ……

〔政府委員河田烈君演壇ニ登ル〕

○政府委員(河田烈君) 阪谷男爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、日程第四、第三號、昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、此中ノ只今御質問ノ米穀需給調節特別會計法中改正案ニ伴フ箇所ヲ申上ゲマス、大藏省所管、國債整理基金、其處ニ第一款、國債整理基金收入トゴザイマス、其八項ガ影響イタシマス、同額ガ歳出ノ第一款、國債整理基金支出、第一項、國債整理基金支出、此項ノ中ニ同額ガ矢張り影響イタシマス、次ニ九頁ノ所ノ農林省所管ノ米穀需給調節此歳入出何レモ、歳入第一款ト歳出第一款、何レモ只今ノ法律案ト關聯イタシテ居ルノデゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 大藏省ノ政府委員ニ御伺ヒ致シマスガ、米穀調節法ノ改正ノ委員會ガ通過イタシマスレバ結構デアリマスガ、若シソレガ審議未了ニデモ終リマシタ場合ハ、此豫算ヲ若シ此儘通過シタナラバ、官報ニドウ云フ形式ニナツテ出マスカ、又九デ必要ノナイ款項ト云フモノガ官報ニ現レルト云フコトハ極メテ不體裁ノコトニナリマス、又上奏御裁可ヲ經ルノモ極メテ不體裁ト思ヒマスガ、政府ハ是ハドウ御考ニナリマスカ

〔政府委員河田烈君演壇ニ登ル〕

○政府委員(河田烈君) 只今重ネテノ男爵ノ御尋ニ御答ヘ致シマス、法律案ノ御審議ト豫算ノ關係ニ付キマシテハ先般色々御議論ガゴザイマシタ、政府ノ見ル所如何ニ拘ラズ、既ニ本議場ニ於キマシテ御見解ガ定マツテ居ルト思ヒマス、即チ其關係ハ可分デアルト云フ御見解ト承知シテ居リマス、可分デアルト云フコトハ、勿論申上ゲマス迄モナク、一致ニナラナクテハナラヌト云フコトデナク、必シモ一致シナクテモ宜イト云フコトニ承知シテ居リマス、ソレデ只今モ問題ニナツテ居リマスノハ、此追加豫算ガ成立イタシタ場合

ニハ、法律案ト關聯シテ居ルガ故ニ、此處置ヲ如何ニスルカト云フ御質問デゴザイマスガ、其點ニ付キマシテハ今御質問ニ直接當ツテハ居リマセスカ知リマセスガ、少シ場合ヲ分ケテ考ヘテ見ル必要ガアリハシナイカト思ヒマス、茲ニ全ク法律案ガ成立イタシマセスケレバ、其會計ナリ豫算ナリガ全然没却セラレテ、茲ニ生ジ得ザルモノト、唯單ニ既ニ總豫算ニ伴フ所ノ、俗ニ申シマス本豫算ハ成立イタシテ居リマシテ、ソレニ後カラ追加スル場合トハ、自ラ趣ヲ異ニシテ居リハセスカト思フノデアリマス、此農林省所管ノ追加豫算ニ付キマシテハ、既ニ本豫算ニ於テ或程度ノ運用ハ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ茲ニ更ニ其證券並ニ借入金ノ限度ヲ七千万圓増加スル、七千万圓増加スル其作用、運用ノ必要上カラ、茲ニ歳出ニ豫算ヲ要求シテ居ルノデアリマス、是ハ見込デゴザイマスカラシテ、此範圍内ニ於テ政府ハ執行出來ルノデアリマシテ、此豫算通り一錢一厘モ違ヒナク、政府ガ執行スルト云フ譯デハナイノデアリマスカラ、此場合ニ於キマシテ、政府ハ豫算トシテ成立イタシマスレバ、之ヲ公布シテモ差支ナイコトデヤナイカト思ヒマス、今ノ計畫カラ申シマス、二億ノ限度トシテ居ル所ノ米穀證券並ニ借入金、即チ同特別會計ノ借入金及證券發行額ノ限度二億、二億程度ノ作用ヲ……運用ヲ致シマスナラバ、本豫算ダケデモ宜イコトニナツテ居リマス、ソレハ計畫ナンデゴザイマシテ、茲ニ掲ゲラレテゴザイマスルガ、歳出ノ事務費、事業費等ハ或ハ米穀、即チ米ノ相場等ニ依リマシテハ、矢張り此歳出豫算ガ要ルコトガ有ルカモ知レナイ、有リ得ルノデアリマス、無論只今ノ政府ノ計畫デハ要ラス積リデゴザイマスケレドモ、有リ得ルカモ知レナイ、同時ニ既ニ御協賛ヲ經マシタ所ノ、特別會計ノ本豫算ニ於キマシテモ、ソレダケハ要ラナイカモ知レナイ、其關係ニ於キマシテモ、此本豫算ニ對シテ追加スルト云フ豫算ガ成立イタシマスレバ……、米穀需給調節特別會計法中改正法律案ガ成立シタル場合、其米穀ノ證券ノ發行、即チ米穀ノ買入高ノ見込増加ニ依リマシテ、茲ニ歳出ガ不足ヲ生ズル計算ニナルノデ、追加豫算ヲ要求イタシマスノハ、是ハ全ク見込デアリマシテ、増加シテ支出スルコトハ無論出來マセスケレドモ、必要ニ應ジマシテ此運用ハ出來ルノデアリマシテ、此豫算ニ對シテ御協賛ヲ經マスレバ……追加豫算ガ通過イタシマスレバ、裁可ヲ經マシテ公布シテモ差支ナキヤニ私共ハ考ヘルノデアリマス、併ナガラ前申上ゲマシタ通り、本豫算ニ於キマシテ、現在ノ二億圓程度ノ計畫ハ執行出來ルヤウニ既

ニナツテ居ルノデアリマス、今日はハソレダケノ必要ガナイコトニナルカモ知

レマセヌノデ、政府ト致シマシテハ、米穀需給調節特別會計法ノ改正案モ、必ズ御協賛ヲ經ルコトト存ジマスルシ、從ヒマシテ此豫算ノ協賛ヲ經マシ

テ、運用シ得ルコトヲ希望イタシマス、萬一不一致ヲ生ジマシタナラバ、尙ホ更ニ十分考究イタシマシテ、其處置ヲ致シタイト考ヘマス、ケレドモ繰返

シテ申上ゲマス通り、全ク茲ニ會計ガ新生レルト云フヤウナ場合ト、既ニ本豫算ガ成立イタシマシテ、運用出來ル仕事ニ對シテ、更ニ追加スル場合ト

ハ、聊カ趣ヲ異ニ致シテ居リマスノデ、此場合ニ於キマシテハ、萬一不一致ノ場合ニ於キマシテモ裁可公布シテ差支ナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ理窟ヲ尋ネタノヂヤナイノデアリマス、唯單純ニ若シ是ガ官報ニ出レバ、全國ノ農民ハ此通りニ政府ガ行フモノト信ズル、ソ

レハ主計局長ノ如キ御方デアレバ、能ク解剖シテ考ヘルケレドモ、全國民ト云フモノハ、御裁可ニナツテ官報ニ出レバ、其通りニ行ハレルト信ズルノガ當

然デアリマス、若シソレガ政府委員ノ答辯ノ如クニ、法律案ガ成立タナカッタ場合ニハ、行ハレヌモノトスルナラバ、九デ國民ヲ欺クヤウナコトニナル

ノデアリマス、ソレ故ニ法律ノ特別委員會ノ方ガ審査未了デアルナラバ、是ハ修正スルヨリ外仕方ガナイ、國民ヲ欺クヤウナコトヲ上奏シテ、之ヲ官報

ニ出スト云フヤウナ、サウ云フ不體裁ト云フモノハ、マア理窟ハドウデモ宜イ、細カイ理窟ハドウデモ宜イケレドモ、サウ云フヤウナ……政治ト云フモ

ノハ、理窟デ行ケルモノヂヤアリマセヌ、是ハ相當ナ修正ヲ加ヘテ、衆議院ニ送ルヨリ仕方ガナイ、衆議院ハ必ズ同意スルノハ極マツテ居ル、故ニマダ今

日ハ法律ノ特別委員會ノ報告ガ濟マヌナラ、此際此討議ヲ……、第四ノ日程ダケハ討議ヲ延期シテ御置キニナル方ガ相當デアラウト思ヒマス、私ハ其動

議ヲ提出イタシマス、尙ホ日程第五ニ付テハ、本員ハモウ一ツ質問ガゴザイマス

○議長(公卿徳川家達君) 豫算案ニ付テ段々御質疑、御意見モアルヤウデゴザイマスカラ、日程第三ノ總豫算追加案第三號ニハ何等御意見ガナイト考ヘ

マスノデ、豫算委員長ノ報告ハ三案トモ一括サレマシタガ、此際先ヅ採決ヲ致シマスノハ、日程第三ノ總豫算追加案第三號ノミト御承知ヲ請ヒマス、而シテ日程第四ニハ只今阪谷男爵ノ御申出モゴザイマスカラ、日程第四ニ移リマス所デ更ニ御發議ヲ請ヒタイト考ヘマス、其方ガハッキリシテ宜カラウカ

ト考ヘマス

○男爵阪谷芳郎君 第五ノ質問ヲ今致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公卿徳川家達君) 第五ノ質問ヲ今願ヒマセウ

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ此豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、此滿鐵ノ配當ヲ二分ダケ増スト云フ、此案ニ付テ總理大臣ニ今一應

伺ツテ置キタイノデアリマス、是ハ豫算委員會ニ於テ、本員ト總理大臣トノ間ニ大分長イ問答ガアリマシタノデ、本員ハソレヲ以テ満足イタシテ居ルノデ

アリマス、然ル所ガ其問答ニハ、事ガ外交ニ關係イタシマスノデ、是ハ速記ヲ止メタ方ガ宜カラウト云フコトデ、速記ガ中止ニナリマシタ、從テ委員長

ノ報告ハ極メテ簡略ニ出來テ居リマスノデ、本員ガ聊カ遺憾ニ感ジマス點ガゴザイマス、外交ニモ何ニモ關係シナイ點ニ付テノ質問デゴザイマス、御承

知ノ通りニ、日露戰爭後滿鐵會社ノ創立ト云フコトガ出來マシタ、其當時ノ政府ノ政策ト云フモノハ、滿蒙ノ經營ト云フモノハ、其處ヘ日本人ガ行ツテ、

總テノ利益ヲ搾リ取ツテ歸ルト云フ、サウ云フヤウナ主義デハナイ、詰リ滿蒙ト云フモノハ支那ノ萬里ノ長城以外トシテ殆ド支那デハ拋棄セラレテ居

テ、馬賊ガ横行シテ居ルト云フヤウナ場所デアアル、而モ其處ニハ少カラヌ富源ガ埋藏セラレテ居ルカラニ、之ヲ適當ニ開發スルコトハ、日支共存共榮

ノ上ニ於テ極メテ必要ナコトデアアル、又折角露國ガ敷設シタ所ノ東清鐵道ト云フモノモ、極東ノ西歐羅巴トノ交通ノ要路ニ當ツテ居ル、此交通ノ要路ヲ完

全ニ發達サシテ行クト云フコトモ、亦社會文明ノ上ニ尠カラヌ關係ヲ有スルト云フヤウナ見地デ、滿蒙經營ノ政策ガ進メラレマシテ、ソコデ滿鐵會社ト

云フモノハ、名ハ滿鐵會社デアアルケレドモ、純然タル營利會社デハナイ、何處マデモ地方ノ民利民福ト云フモノヲ眼目トシテ株主ト云フモノノ配當ハ餘

リ多キヲ要求シテハナラヌ、斯ウ云フ所カラ初メハ八朱ノ配當ニ制限シタカト覺エテ居リマス、然ルニ其後段々政府ニ於テモ議ガ變ツテ、一割マデノ配當

ハ宜カラウト云フコトニ變更ニナリマシタノデ、又今度ハ一割二分ニシヤウ、一割二分ニスルト云フノガ此案ノ趣旨デアリマス、ソコデ本員ト總理大臣ト

ノ間ニ問答ノ起リマシタノハ、政府ハ滿蒙經營ノ方針ヲ變更シタノデアアルカ、セヌノデアアルカト云フタ所ガ、決シテ方針ヲ變更シタノデハナイ、ソレナラバ結構デアアルガ、一割二分ノ配當ト云フコトハ餘程斯ウ云フ獨占會社ニシテ

ハ多ウ過ギル、詰リ此南滿鐵道ト云フモノハ政府ノ非常ナ厚イ保護ノ下ニ、政府ハ自分ノ株ニハ極メテ低イ配當ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトヲシテ、十分ナル保護ヲ株主ニ與ヘテアルノデアリマシテ、極メテ獨占的ノ會社デア、其獨占的ノ會社トシテ一割二分モ配當スルト云フコトハ多ウ過ギル、況ヤ政府ノ滿蒙開發ト云フコトハ日本人ガ行ッテ其利益ヲ壟斷シヤウト云フノデハナイ、滿蒙開發ノ精神ニ依リ、又殊ニ支那國民ノ利益ヲ開發スルト云フノガ目的デアルカラ、滿鐵ニハ純然タル營業ノ外ニ、學校ヲ起スナリ、道路ヲ造ルナリ、病院ヲ作ルナリ、又或ハ工業ノ試驗所ヲ作ルナリ、有ラユル政府トシテ爲スベキ仕事ノヤウナモノヲ澤山ニサシテアルガ、尙ホ餘タ利益ガアレバ、之ヲ支那ノ奉天ニ在ル支那ノ政府ナリ、或ハ其他ノ支那關係者ニ利益ヲ分ツト云フコトノ方法ヲ追々ハ考ヘテモ宜イ理窟ノモノデアラウ、若シ唯單ニ利益ガアレバ之ヲ株主ニ分ツ、一割二分ニシ更ニ一割四分ニスル、一割五分ニスルト云フコトニナレバ、支那ノ方ノ人カラ見ルト、日本ハ滿蒙ヲ壟斷シテ利益ヲ搾ッテ、株主ガ唯好イコトヲスルト云フヤウナコトニナッテハ滿蒙經營ノ當初ノ方針ニ悖ルノミナラズ、日支兩國ノ共存共榮ト云フコトノ大體ノ主義ニモ或ハ反スルヤノ疑ヲ支那人竝ニ世界ニ起サセテハ甚ダ遺憾デア、ソレデ政府ニ於テハ十分ニ配當ヲ今後増スト云フコトニ付テハ制限ヲ置カレタイト云フコトヲ御尋シテ、略同感デアルト云フ御答ヲ得タノデアリマスルガ、尙ホ今日ハ更ニ一割二分ヲ又増スト云フヤウナコトノ今後無イヤウニ、又サウ云フヤウナ場合ニハ其利益ヲ奉天政府ト申シマスカ、即チ滿蒙ノ局ニ當ッテ居ル政府ニ矢張り其利益ヲ分ツヤウニ、若クハ支那人ガ株ヲ持タナイナラ、其株ヲ持ッテ利益ノ分配ヲ受ケルヤウニ、要スルニ滿鐵會社ノ事業ハ段々滿蒙ニ擴ガッテ行クノデアリマスカラ、滿蒙鐵道ノ段々ト其線路ノ擴ガレバ擴ガル程支那人ハ喜ンデ歡迎スル、支那ノ政府竝ニ支那人ノ持ッテ居ル鐵道ハ一向配當モ何モ無イ、例ヘバ蘆漢鐵道ニ致シマシテモ、津浦鐵道ニ致シマシテモ甚ダ不十分デア、日本ノ人ノ鐵道ノ株ヲ持ッテ居リ、日本ノ人ト利害ヲ共ニシテ置ケバ、自分達モ大變ニ利益ヲ受ケラレルト云フヤウナ方針ニシテ戴キタイ、又是ガ所謂日本ガ屢々聲明シテ居ル門戶開放ノ精神ニ則ルモノデアルト云フコトノ意味ヲ更ニ此際確メテ置キタイノデアリマス、恐ラクハ是ガ帝國政府ノ精神デアリマスガ、併ナガラ此精神ハ屢々支那人ニ依ッテモ、亦支那以外ノ人ニ依ッテモ疑ハレルコトノ少クナイト云フコ

トヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、今大切ナ滿鐵會社ニ對スル所ノ命令書ヲ變更セラレルニ當リマシテハ、重ネテ茲ニ同ジ質問ヲ致シテ、帝國政府ノ公明正大ナル誠意ヲ明カニシテ置キタイト云フノガ私ノ希望デゴザイマス

〔國務大臣男爵田中義一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵田中義一君) 只今阪谷男爵カラノ御質問デアリマス、此御尋ハ豫算委員總會デモアリマシタノデアリマス、此處デ重ネテ御答ヲ致シテ置キマス、今回ノ滿鐵ノ配當制限ヲ一割二分マデニ制限ヲ置キマシタノデアリマスケレドモ、實際ハ之ヲ一分ノ増配ニ止メテ置クモノデゴザイマス、制限ヲ二分ニ高メテ置イタノデアリマス、併ナガラ只今阪谷男爵ノ仰セニナッタ如ク、抑、此滿鐵會社ノ使命ト云フモノガ、實ニ此南北滿洲ノ殊ニ蒙古方面ニ當ッテノ此經濟的發展ヲ促進スルト云フコトガ主ナル目的デアリマス、從テ唯株主ノ配當ヲ、利益ガアルカラトシテ其度毎ニ之ヲ増加スベキモノデ私ハナイト考ヘルノデアリマス、其點ニ於テハ全然阪谷男爵ト感ヲ同ジウスル者デアリマス、凡ソ此南北滿洲ニ於ケル經濟的開發ヲヤルト云フノニハ、單リ日本人ガ利益ヲ得ルバカリデナク、少クモソレト同等ノ利益ハ支那人モ亦受ケナケレバナラヌノデアリマス、支那人ノ人ニ少クモソレト同等、或ハ幾ラカデモ其地方ノ人ニ多ク利益ヲ與ヘルヤウニシテ、初メテ此經濟的開發ガ完全ニ行ハレテ行クモノダト存ズルノデアリマス、兎角、從來ハ滿洲トハ申シマセヌガ、此支那ニ於テハ唯日本人ノミガ利益ヲ得テ、是ト共ニスル支那人ノ人ガソレ程利益ヲ得スト云フコトガ、多ク日支兩國人ノ間ニ於ケル一ツノ苦情ノ種ニナッテ居ル、又日本人トシテ之ヲ反省セナクチャナラヌ箇條ニナッテ居ルノデアリマス、私ハ其點ニ付キマシテハ阪谷男爵ノ仰セニナッタ如ク此滿洲ノ經濟的開發ヲナシ、所謂機會均等ニ、アノ方面ヲシテ大ナル發達ヲ遂ゲシメルト云フコトニ付キマシテハ、ソレダケノ標度ヲ以テ開發セナクチャナラヌモノデアリ、ソレガ又滿鐵ニ對スル一ツノ使命デアルト、其意義ニ於テ、今後又容易ク此配當ヲ増加スルコトハナイカト云フコトノ御尋ニ對シテハ、其意義ニ於テ、輕シク配當ノ制限ヲ増加スルコトハ避ケナクテハナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 阪谷男爵ハモウ質疑ハゴザイマセヌカ

○男爵阪谷芳郎君 ゴザイマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、昭和四年度歳入歳出總豫算追加案、第

三號、此豫算案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際日程第四ノ豫算追加案特第三號ヲ問題ト致シマシテ、採決ヲ致サウト存ジマスガ、之ニハ阪谷男爵ノ御意見ガゴザイマスガ、阪谷男爵ノ御意見ニ聊カ不明瞭ナ點ガゴザイマスカラ、明瞭ニ御述ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ只今問題ニナツテ居リマス案ハ此儘決議ヲ致シマスト云フト、甚ダ官報ナドニ發表イタシマシテ、世ノ誤解ヲ來ス虞レガアル、ソレ故ニ法律案ノ委員會ノ模様ガモウ少シハッキリスルマデ、御延シテ願ヒタイ、サウシテソレハ議長ニ於テ適當ト認メラレル時期マデ討議ヲ延バスト……簡單ニ申セバ……云フ趣意デゴザイマス、ドウカ皆サンノ御賛成ヲ願ヒマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ニ確メテ置キタイト存ジマスガ、阪谷男爵ノ御意見ハ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ特別委員會ノ特別委員長ノ議長ヘ報告セラレルマデ、此日程第四ノ豫算追加案ノ議事ヲ延バセト云フ一ツノ動議ト看做シテ宜シウゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 委員長ノ報告ガ餘リ遅クナリマスレバ本員ハ修正ヲシテ他ノ部分ヲ決定イタシタイノデアリマスガ、委員長ノ報告ガ數時間ノ中ニ出ルヤウナ模様デアレバ、今議長ノ仰シヤッタ通りデアリマス、デスカラ議長ガ適當ト認メラレル時期マデ延バシテ、其時マデニ委員長ノ報告ガゴザイマセナカタナラバ、已ムヲ得ズ此豫算ヲ修正ノ動議ヲ提出イタシタイト思ヒマス

○阪本鈺之助君 阪谷君ノ最後ニ御述ベニナリマシタ意味ニ於テ賛成ヲ致シマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ動議ニハ阪本鈺之助君ノ賛成ガゴザイマシタカラ成立イタシマシタ、故ニ阪谷男爵ノ動議ニ對シテ採決イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者……〕

○議長(公爵徳川家達君) モウ少シ御起立ヲ願ヒマス、モウ少シト云フ意味ハ御復席ナク……分リマセヌカラ一應御著席ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ動議ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 反對ノ方ガ多數ト認メマス

○男爵阪谷芳郎君 サウスルト茲デ修正説ヲ出シテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ノ修正ハ詰リ米穀需給調節特別會計法ノ特別委員長ガマダ報告セヌモノデアリマスルデ、已ムヲ得ズ此豫算ヲ削ッテ置カウト云フコトナンデス、併シ本員ハ削リタクナイノデス、元來此法律ノ特別委員長ガ報告シテ、其報告ガ成立テバ、豫算ハ此儘宜シイノデアリマス……

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵、其趣旨ダケヲ御述ベテ願ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 ソレデ本員ノ修正論ハ、第一款、國債整理基金收入、第八項、竝ニ第一款、國債整理基金支出、第一項、ソレカラ農林省所管米穀需給調節歳入歳出全部、是ダケニ付テ修正ノ動議ヲ提出イタシタイ、今ノ所ヲ削除シ修正ヲ加ヘル、斯ウ云フコトデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 念ノ爲ニ諸君ニ申上ゲマス、諸君ハ御承知ノコトト存ジマスガ、豫算案ノ修正ノ動議ニハ三十人以上ノ賛成ヲ要シマス、然ラザレバ修正説ハ成立ヲ致シマセヌ

○阪本鈺之助君 賛成ヲ致スノデゴザイマス、誠ニ遺憾ナコトデ……

○議長(公爵徳川家達君) 意見ノ御陳述ハ出來マセヌ、賛成ノ意味ヲ御表示ヲ……

○阪本鈺之助君 デハ賛成イタシマス

○土方寧君 阪谷君ノ修正ノ意見ニ付テ私ハ了解シ兼ヘル點ガアリマスカラソレヲ伺ヒタイノデスガ……

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○土方寧君 米穀調節法ニ關係ノ所ダケヲ削除シテ置クト云フ修正案デアリマスガ、削除スルト云フコトハ、若シ通ッタ時ニ、後カラ米穀調節案ガ出マシテ通過イタシタラドウナリマスカ、サウナレバ修正説ハ矢張り假定的ノモノデアリマセウ

○議長(公爵徳川家達君) 土方君ニ申上ゲマスガ、其説明モ時機ヲ失シテ居
リマス、動議ガ成立イタシテカラ御尋ヲ願ヒタイ

○土方寧君 デハサウ……

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ動議ニハ阪本君ノミガ賛成セラレマシ
タカラ成立イタシマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四ノ豫算追加案特第三號全部ヲ問題ニ供シ
マス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ、日程第五、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契
約ヲ爲スヲ要スル件、追第二號、是亦全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御
異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六ヨリ第十マデ、政府提出、衆議院送付、
第一讀會ノ續、委員長報告

府縣制中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

伯爵 松 木 宗 隆

貴族院議長公爵徳川家達殿

第四條ニ左ノ二項ヲ加フ

府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選
舉區ヲ分チテ數選舉區ト爲スコトヲ得

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ印刷
シ其ノ他ハ之ヲ略ス——ハ修正ナリ)

前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ於テ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之

ヲ定ム

第十五條第一項ニ左ノ但書ヲ加ヘ同條第四項中「市町村ノ區域」ヲ「第一項
ノ規定ニ依ル投票區ノ區域」ニ改ム

但シ第四條第三項ノ規定ノ適用ニ依リ市ノ區域内ニ數選舉區アルトキハ
其ノ選舉區ニ依ル

第四十一條第三號中「夫役現品ノ賦課徵收」ノ下ニ「竝ニ府縣費ノ分賦」ヲ加
ヘ同條第一號ヲ第二號トシ以下順次繰下ゲ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

一 府縣條例及府縣規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

第七十八條第二項第六號中「賦課徵收スル事」ヲ「賦課徵收シ竝ニ府縣費ヲ
分賦スルコト」ニ改ム

第三百三條 府縣稅トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 直接國稅ノ附加稅

二 營業稅

三 雜種稅

府縣ハ法律ノ定ムル所ニ依リ其ノ費用ヲ市町村ニ分賦スルコトヲ得
府縣稅ノ賦課徵收及府縣費分賦額ノ徵收ニ關シテハ本法其ノ他ノ法律ニ
規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第一百八條第一項中「營業稅附加稅」ヲ削ル

第一百十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ規定ハ府縣費ノ分賦ニ之ヲ準用ス

第三百三十八條ノ二 本法ニ於ケル直接國稅ノ種類ハ内務大臣及大藏大臣之
ヲ定ム

附 則

本法中第四十一條ノ府縣費分賦ニ關スル改正規定、第七十八條、第三百三條、
第三百八條及第三百十一條ノ改正規定竝ニ第三百三十八條ノ二ノ規定ハ昭和六年
度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

市制中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

伯爵 松 木 宗 隆

貴族院議長公爵德川家達殿

二 地租、家屋税及戸數割
三 特別税

第百三條中「町村税及其ノ賦課徴收」ヲ「町村税ノ賦課徴收」ニ改ム

附 則

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字及ハ修正ナリ)

第百十七條第一項ヲ左ノ如ク、同條第二項中「直接府縣税」ヲ「府縣税」ニ改ム

市税トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 直接國税及府縣税ノ附加税

二 地租、家屋税及戸數割

三 特別税

第百二十三條中「市税及其ノ賦課徴收」ヲ「市税ノ賦課徴收」ニ改ム

附 則

本法中第百十七條ノ改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

町村制中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

伯爵 松 木 宗 隆

貴族院議長公爵德川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字及ハ修正ナリ)

第百十七條第一項ヲ左ノ如ク、同條第二項中「直接府縣税」ヲ「府縣税」ニ改ム

町村税トシテ賦課スルコトヲ得ベキモノ左ノ如シ

一 直接國税及府縣税ノ附加税

二 地租、家屋税及戸數割

三 特別税

附 則

本法中第百十七條ノ改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道會法中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

伯爵 松 木 宗 隆

貴族院議長公爵德川家達殿

(ハ特別委員修正)

北海道會法中左ノ通改正ス

第一條第二項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

北海道廳長官ハ北海道會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選舉區ヲ分チテ數選舉區ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選舉區ヲ分ツ場合ニ於テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條第三號中「夫役現品ノ賦課徴收」ノ下ニ「竝ニ北海道地方費ノ分賦」ヲ加ヘ同條第一號ヲ第二號トシ以下順次繰下ゲ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

一 北海道條例及北海道規則ヲ設ケ又ハ改廢スルコト

第十條第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 北海道會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、府縣制第五十四條ノ規定ノ準用ニ依ル除斥ノ爲會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ北海道廳長官ニ於テ北海道會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ北海道會ノ權限ニ屬スル事件ヲ北海道會ニ代ハリテ議決スルコト

附 則

本法中第八條ノ北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

北海道地方費法中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

伯爵 松 木 宗 隆

貴族院議長公爵德川家達殿

(ハ特別委員修正)

北海道地方費法中左ノ通改正ス

第三條中「地租ヲ賦課セサル」ヲ削ル

第八條ノ三中「第七十五條」ノ上ニ「第三條ノ二」ヲ加ヘ「第百三條第二項、

ヲ「第百三條第二項第三項、第百十一條第二項、」ニ「第百三十條」ヲ「第

百二十九條」ニ改ム

附 則

本法中第三條ノ改正規定及第八條ノ三ノ北海道地方費ノ分賦ニ關スル改正規定ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔川崎卓吉君演壇ニ登ル〕

○川崎卓吉君 只今議題トナッテ居リマス政府ノ提出ニ係リマス府縣制、市制、町村制、北海道會法及北海道地方費法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、以上各案ハ何レモ地方自治制度ニ對シ、相當重要ナル改正ヲ加ヘムトスルモノデアリマシテ、委員會ヲ開會イタシマスコトガ前後六回ニ及ビ、慎重審議ヲ重ネタノデアリマス、其質疑應答ノ内容ハ極メテ廣汎ニ互ッテ居リマスノデ茲ニ其總テニ付テ御報告申上ゲルコトハ到底困難デアリマスカラ、其主要ナル點ニ付キマシテ、大要ノ御報告ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、即チ其第一ハ積極的ニ自治權ノ擴充トモ云フベキ條

項ニ關スルモノデアリマシテ、其中府縣會議員、市町村會議員等ニ、議案ノ發案權ヲ與ヘムトスル改正條項ハ、今回ノ改正案中ニ於キマシテ最重要ナル事項デアリマシテ、其自治行政上ニ影響スル所モ亦極メテ廣汎デアリマスノデ、各委員ニ於キマシテ、最モ熱心ニ研究ヲ盡サレテ、政府トノ間ニ慎重ナル質疑應答ヲ重ネラレタノデアリマス、而シテ其質問ノ要點ヲ要約イタシマスルト、本改正案ハ歲入出豫算ダケハ發案スルコトハ出來ナイガ、其歲入出豫算ヲ除クノ外議案ノ發案權ヲ認メルト云フノデアリマス、所デ其內容範圍ハ如何ナルモノデアアルカ、又發案權ヲ認メル結果地方財政ノ膨脹ヲ招來スルヤウナコトハナイカト云フ二點ニ存シタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、發案權ノ範圍ニ付キマシテハ、之ヲ總括的ニ申シマスルト云フト、歲入出豫算其モノハ全然除外シテ發案スルコトガ出來ナイコトニナッテ居ルガ、其他ノ點ニ付テハ、各地方議會ニ於テ議決スベキ事項ニ付テハ、總テ發案スルコトヲ得ルノデアアル、尤モ此點ニ付テハ、所謂收支豫算ヲ附シタル事件決議……收支豫算ヲ附セザル事件決議、例ヘバ學校ヲ設置スベシトカ、或ハ道路ヲ造ルベシト云フガ如キ發案ハ出來ルカドウカト云フコトニ付キマシテ、相當疑義ガ存スルデアラウト云フノデ、委員側カラ斯ウ云フ問題ニ付テ提出セラレマシタ各種ノ實例ヲ基礎トシマシテ詳細ナル答辯ガアッタノデアリマス、又發案權ト地方財政トノ關係、即チ議員ニ發案權ヲ與ヘタルガ爲ニ、地方費ガ膨脹スル虞ハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、今回ノ發案權ハ歲入出豫算ニ及ボサナイノデアアルノミナラズ、發案權ノ範圍ニ屬スル問題ニ付キマシテモ、其決議ノ内容ガ、地方財政ノ經理執行上許容スベカラザルモノデアアルナラバ、之ニ對シテ各法律ニ相當匡正ノ手段ガ認メラレテアル、加之地方財政ニ付キマシテハ、政府ニ於テ將來色々ノ機關ヲ設置シテ、調査監督ノ方法ヲ講ジテ、其合理的統制ヲ致ス方針デアアルカラ、斯カル憂ヒハアルマイト云フ答辯デアッタノデアリマス、第二ニハ、消極的ニ自治權ノ保障トモ云フベキ諸種ノ案件ニ對シテ質疑應答ガアッタノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、改正案ニ於キマシテ、所謂原案執行ヲ認メル範圍ヲ制限シテ居ルノデアリマスガ、此改正規定ノ如クニシテ、果シテ其實效ヲ收メ得ルト思フノデアアルカ、又改正案ハ府縣知事ノ府縣會停會權ヲ廢止セントスルコトニナッテ居ルノデアアルガ、停會ハ府縣會ノ反省ヲ求ムル適當ナル方法デハナイカ、又改正案ハ府縣會解散ニ對シテ勅裁ヲ經ルコトヲ要セザルコトニ改正シ

テ居ルノデアルガ、是ハ却テ自治權保障ノ趣意ニ反スルノデナイカト云フヤ
ウナ質問ガアッタノデアリマス、之ニ對シマシテ政府ノ答辯ハ、地方自治
體ノ收入支出ニ關スル原案執行ノ制限ニ付キマシテハ、改正案ハ其議決ノ内
容ガ收支ニ關シテ執行出來ナイ場合デアルトカ、又ハ法令上ノ義務ニ屬スル
費用乃至ハ應急的負擔ニ關スル費用ニ係ル場合ノミニ限定シタノデアアル、又
議決ガ公益ヲ害スル場合ニ於ケル原案執行ノ制限ニ關シマシテハ、改正案ハ
明カニ公益ヲ害スルト認メル時、即チ社會一般ノ公益ヲ害スト認メラレル場
合ニ限定セントスルノデアリマスカラ、改正案實施ノ曉ニハ從來ニ比シテ十
分其制限ノ效果ヲ實施シ得ルデアラウ、又府縣會ノ停會權ニ付キマシテハ、
府縣ノ執行機關ニ對シテ、議決機關ニ對スル如キ強キ監督的權限ヲ與ヘ
ルヨリモ、各機關ノ自省ニ依ッテ議事ノ適正ヲ期スルト云フコトガ、自治ノ本
旨ニ合致スルモノデアアル、又府縣會ノ解散ハ專ラ行政監督ノ問題デアルカラ、
監督官廳ノ責任ニ於テ之ヲ行フコトガ適當デアッテ、勅裁ヲ經ルコトヲ要スル
コトトスルノハ適當デナイト云フ答辯ガアッタノデアリマス、第三番目ニハ自
治機關ノ構成及事務處理方法ノ改正ニ關スル事項ニ付テノ質疑應答デアリマ
ス、此點ニ付キマシテハ、改正案ハ市長モ亦名譽職トナシ得ル規定トナッテ
居ルノデアリマス、從來市長ハ有給職トシテアッテ名譽職トハナッテ居ラナカ
タノデアリマスガ今回ノ改正案ニハ、市長モ名譽職トナシ得ル規定トナッテ居
ルノデアリマス、元來現行法ガ市長ヲ有給吏員ニ限ッテ居リマスルノハ、市ノ
事務ガ複雑繁多デアッテ、到底名譽職ヲ以テ自己ノ事業ノ傍ラヤルト云フコト
ハ……此名譽職ヲ以テ處理シ難イト認メタルニ依ルト思フノデアアルガ、今新
ニ名譽職市長ヲ認メトスルノハ、實際上不適當デハナイカ、又改正案ハ府
縣會市町村會等ガ直ニ其議決スベキ事項ヲ、府縣知事市町村長等ノ執行機關
ニ專決セシメ得ルコトトシテアルノデアリマスカ、是ハ地方制度ガ議決機關
ト執行機關トヲ併立セシメテ居ル趣旨カラ見テ不適當デハナイカ、是ハ現在
ノ如クニ參事會ヨリ復委任ヲナシ得ルコトトスル程度ヲ以テ適當トスルノデ
ナイカト云フヤウナ質問ガアッタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ答辯ハ、市
ノ事務ハ複雑繁多デアルト云フコトハ言フ迄モナイノデアアルガ、ソレガ爲ニ
市長ハ名譽職デアッテハナラヌト云フコトハナイ、改正案ハ市長ハ有給吏員ヲ
原則トスルケレドモガ、土地ノ事情ニ依ッテ之ヲ名譽職トスルコトガ出來ル
ト云フ途ヲ開イテ、市長ニ其人ヲ得ルニ便ナラシメトスルニ過ギナイノデ

アル、又府縣會市町村會ヨリ府縣知事市町村長等ニ議決事件ノ專決ヲ委任セ
シムル途ヲ開クノハ、全ク各議會ノ意思ニ基イテ便宜ノ措置ニ出デシメムト
スルノデアリマス、且現在ニ於テモ相當參事會カラシテ復委任ヲナシテ居ル
事情デアルカラ、此法律ヲ以テ此便法ヲ認ムルト云フコトガ適切デアルト思
フト云フコトデアッタノデアリマス、以下諸問題ノ外ニ地方自治體ノ權限ヲ擴
張スルト云フコトモ固ヨリ適當デアルケレドモガ、一面之ニ對シテ社會一般
ノ自治的觀念ノ程度ヲ見ルト未ダ十分徹底シテ居ナイヤウデアアル、從テ此狀
態ニ於テ今回ノ新シキ制度ヲ施行シテ、果シテソレガ適正ニ運行セラル、ヤ
否ヤ、又婦人ニ公民權ヲ付與スルコトニ付テハ、政府ハ如何ナル所見ヲ持ッテ
居ルノデアアルカ、又町村合併ニ付テハ政府ハ如何ナル方針ヲ執ッテ居ルカト云
フヤウナ諸問題ニ付キマシテ、各委員ト政府トノ間ニ質疑應答ヲ重ネタノデ
アリマス、大要以上ノ如キ質疑應答ガ各法律案ノ内容ニ關シテ交換サレタノ
デアリマスガ、更ニ本改正案ニ付キマシテ議事進行ニ關シテ重要ナル一ツノ
問題ガ横ハッタノデアリマス、ソレハ即チ本改正案中ニ規定サレテ居リマス
所ノ地租及營業收益稅委讓ニ關聯スル地方稅制改正ニ關係アル條項ト、兩稅
委讓ニ關スル委員會ノ經過トノ關係デアリマス、而シテ本改正案ニ付キマシ
テハ、兩稅委讓ニ關スル法文ガアリマスノデ、兩稅委讓案ガ特別委員會ニ於テ
何等カノ決定ヲ見ルマデ本改正案モ其關係ニ於テ決定ヲナシ難キ事情ニ在
タノデアリマス、所ガ兩稅委讓ニ關スル委員會ハ昨日午前ニ至リマシテ其審
議ヲ休止スルコトニナリ、尙ホ望月國務大臣ガ委員會ニ出席セラレマシテ、
一委員ノ當議會會期延長ニ關スル質問ニ對シテ、左ノ如キ言明ガアッタノデ
アリマス、「國務大臣望月圭介君、兩稅委員會ニ於キマシテ其進行ヲ休止致
サレマシタ事柄ニ付キマシテハ御承知ノ通りデアリマス、政府ニ於キマシテ
ハ此場合ニ於キマシテ、本案ニ對シマシテハ、明日ヲ以テ會期ノ盡キルモノ
ト思召シノ上デ、御審議ヲ進メラレテ、本案ノ成立ヲ懇請致ス次第デアリマ
ス」斯ウ云フ言明ガアッタノデアリマス、ソコデ議事進行ニ關シマシテ二ツノ
意見ニ別レタノデアリマス、其一ツハ斯ノ如ク兩稅委讓ガ事實上審議未了ニ
終ルト云フ情勢ガ明カナナッテ參リマシタノデ、本委員會ニ於テハ、此事實上
ノ狀態ニ鑑ミテ、兩稅委讓ニ關係アル條項ヲ削除シテ改正案ヲ可決スベシト
云フ意見ト、是ニ對シテ理論上ハ兩稅委員會ガ單ニ其審議ヲ休止シタルニ止
テ、何時再開スルヤモ測リ難ナイ、決シテ兩稅委員會ノ方ハ結了シタルハ言

ヘナイノデアアルカラ、審議未了ニ終ルデアラウト云フ單ナル豫想ヲ以テ、豫想ヲ基礎トシテ、兩稅委讓ニ關係アル條項ヲ本委員會ニ於テ削除スルト云フコトハ出來ナイ、サレバト云フテ他ノ理由、例ヘバ兩稅委讓ニ反對デアアルカラト云フ理由デ削除スルト云フ事柄ハ兩稅委讓ノ特別委員會ガアル以上ハ不適當デアアルカラ、兩稅委讓特別委員會ノ決定ヲ待ツベキモノデアアル、斯ウ云フ反對ノ意見ガ出テ來タノデアリマス、ソコデ懇談會ヲ開キマスル等色々方方法ヲ講ジタノデアリマスルガ、更ニ意見ノ一致ヲ見ルコトガ出來ナイノデ、之ヲ採決致シマシタ所、兩稅委讓ノ委員會ハ審議未了ニ終ルモノデアアルトシテ、地方制度中ノ兩稅委讓ニ關係アル條項ヲ修正スルモ差支ナカラウト思フト云フ意見ノ人ガ四名、兩稅委讓ノ委員會ノ決定ヲ待ツテ決定スベシト云フ意見ノ人ガ三名デアアツテ、此後トノ方ガ少數デ否決トナッタノデアリマス、依テ案ノ内容ニ付テ採決致シマシタ所、政府提出ノ府縣制、市制、町村制、北海道會法及北海道地方費法ノ各改正法律案ニ付キマシテハ、其中兩稅委讓ニ關係ノアル條項ヲ削除致スコト及其他ノ條項ニ付テハ、政府原案ヲ認ムルコトニ滿場一致デ可決セラレタノデアリマス、尙ホ以上諸案件ノ中、府縣制、市制、町村制及北海道會法ニ對シマシテハ、衆議院ニ於テ修正案ガ可決セラレマシテ、本院ニ送付セラレテ居ルノデアリマス、此修正案ハ二點ニ及ンデ居ルノデアリマシテ其一ハ、府縣會議員及北海道會議員選舉ニ付テ、所謂選舉區分區制度ヲ認メトスルコトデアリマス、又其二ハ市町村會議員ノ補闕選舉ノ執行ニ關スル規定ヲ改正セムトスルモノデアリマス、本委員會ニ於キマシテハ慎重考究ノ結果、市町村會議員ノ補闕選舉執行ニ關スル衆議院ノ修正規定ハ、之ヲ適當ナリト認メテ滿場一致同意シタノデアリリマスケレドモガ、所謂選舉區分區制度ヲ認メトスル規定ハ少數代表ノ趣旨ニモ反シ、又從來弊害ヲ生ジタル事例モ少クナカッタノデアリマスルノデ、此選舉區分區ニ關スル衆議院ノ修正ニ對シテハ滿場一致反對スルコトニ決定イタシタ次第デアリマス、本委員會ニ附託セラレマシタ府縣制外四件ニ關スル委員會ノ審査ノ結果ハ大要以上ノ通りデアリマスルカラ、御審議ノ上、以上ノ決定ニ對シテ、御賛成アラムコトヲ希望イタス次第デアリマス

〔阪本鈺之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪本サンノ御發言ハ……

○阪本鈺之助君 委員長ニ御尋ネ致シタイノデアリマス、只今御述べニナリ

マシタ中ニ、府縣會自ラ發案權ヲ有ツト云フコトニ付テハ、大イニ議論ガアタト云フ御報告デゴザイマシタ、是ハ自分モ豫テ疑ヲ有ツテ居ッタコトデアリマスルガ、然ルニ但書ニ依リマスル「歲入出豫算ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ」歲入出豫算ノ外ニ府縣會ガ發案權ヲ有ツト云フコトニナリマシテ、ドノ位ノモノガゴザイマセウカ、帝國議會ノヤウニ法律案ト云フヤウナモノハ府縣會ハ固ヨリ出スコトハナイノデアリマス、サウシテ見マスト府縣會ガ議スルコトハ先ヅ以テ歲入出豫算ニ關係シナイコトト云フモノハ殆ド無イ、例ヘバ發案權ヲ有チマシタ所ガ、府縣ノ條例トカ府縣ノ規則ト云フヤウナモノノ發案ガ自ラ出來ルカモ知レマセヌガ、是トテモ多クハ矢張り使用料ヲ取ルトカ何トカ云フ、即チ歲入出豫算ニ影響スルコトガ多イノデアリマス、其他チヨット自分ガ考ヘマシタ所デ、ドウ云フコトガ發案ガ出來ルノデアアルカト云フコトニ疑ヲ有ツノデアリマシテ、此情況如何ニ依ッテハ贊否ヲ決スル上ニ於テ大ニ影響ガアルノデアリマスカラ、御面倒ナガラ特別委員會ニ於テ細密ニ御審議ニナッタト云フコトデアリマスルカラ、其例ハドウ云フヤウナ事デアアルト云フコトヲ御示シテ願ヒタイ、モウ一ツハ兩稅委讓ノ事ハ若シ行ハレナイト云フコトニナリマシテモ、百三條ノ府縣稅ノ分賦ト云フコトニ付テハ何等影響ガナイノデアリマセウカ、從來トテモ府縣稅ノ臨時ニ不足イタシタ時ニハ市町村ニ分賦スルト云フコトガ出來タノデアリマスルケレドモ、今度此兩稅委讓ト云フコトヲ政府ガ目論マレタニ付テ、市町村ニ付テ分賦スルト云フコトガ非常ニ必要ヲ生ズルコトニナッタノデアリマス、同ジ分賦デモ現在ノ分賦ト云フコトト、若シ兩稅委讓ガ行ハレマシタ後ノ分賦ト云フコトハ、餘程輕重ガアルノデアリマスガ、此百三條ノ即チ稅目ヲ掲ゲ、又ハ分賦ト云フコトヲ示サレテ居ル條文ニ付テ、是ハ兩稅委讓ニハ影響ナイト云フコトヲ御認メニナッテ居リマスルカ、如何デアアルカ、此兩點ヲ一應伺ヒタイノデアリマス

○川崎卓吉君 府縣會ノ府縣會議員ニ發案權ヲ與ヘタケレドモガ、歲入出豫算ダケハ與ヘナイ、サウスレバソレ以外ニハ何ガアルカト云フ第一ノ御質問デアッタヤウデアリマスガ、府縣制ノ四十一條ノ「府縣會ノ議決スベキ事件左ノ如シ」ト云フ中ニ第一號カラ八號マデ府縣會ノ議決スベキ事件ガアルノデアリマス、此八號、今度ハ九號ニナリマスガ、此事件ニ付キマシテハ總テ發案權ガアルト云フコトニナッタノデアリマス、唯、歲入トカ、歲出トカ云フモノハ性質上議員ニ與ヘナイ、斯ウ云フ趣旨デアアルト云フ政府ノ説明デアリマ

シタ、ソレカラ第二ノ御尋ノ百三條ニ分賦ノ規定ガアルカト云フコトデアリマシタガ、總テ今回ノ兩稅委讓ニ關係シテ改正セムトスル所ノ條項ハ總テ修正ラシマシタノデアリマス、從テ百三條モ修正イタシマス、此改正案ノ附則ニアリマスル……「本法中ノ」以下ノ條文ガ掲ゲテアリマスルガ、此條文ハ總テ修正ヲ致シタコトニナツテ居ルノデアリマス

〔阪本鈺之助君「分リマシタ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御質疑ハ無イト存ジマスカラ討論ニ移リ、マス通告ニ依リマシテ湯淺倉平君ノ發言ヲ許シマス

〔湯淺倉平君演壇ニ登ル〕

○湯淺倉平君 只今上程ニナリマシタ府縣制中改正法律案外四件ノ特別委員會ニ於ケル結果ヲ委員長ノ御報告ヲ承リマシテ、私ハ之ニ贊成ヲ致ス者デアリマスルガ、此贊成ヲ致ス理由ニ付キマシテ、一二申述ベテ置キタイト存ジマス、尙ホ之ニ續キマシテ一言政府ニ對シテ希望ヲ申述ベタイト存ズルノデアリマス、有體ニ私一己ノ考ヲ申シマスレバ、今回ノ地方制度ノ改正ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、私ハ幾多ノ心配懸念ヲ有ツテ居ルノデアリマス、其主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、第一ハ地方團體ニ對スル監督ノ緩和サレタト云フ點デアリマス、又第二ハ議員ニ對シテ發案權ヲ與ヘタト云フ點デアリマス、尙ホ更ニ原案ニ於キマシテハ地方團體ニ於キマシテ、國稅ヲ委讓シテ新タニ財源ヲ與ヘルト云フ點ノアツタコトデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ私ハ少カラズ心配ヲ致シテ居リマシタ上ニ、更ニ衆議院ニ於テ府縣制ニ對シテ修正ヲ加ヘラレタ點ニ付キマシテ、更ニ懸念ヲ加ヘタ次第デアリマシタガ、只今委員長ノ報告ヲ承リマスレバ、其中ノ國稅ノ委讓ニ關スル規定ハ削除ニ相成リマシタノデ、私ノ懸念ヲ致シテ居リマスル第一點ハ除カレタ次第デアリマス更ニ又衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘラレマシタル府縣會議員等ノ選舉ニ關シテ小選舉區制ヲ採ラムトシタ修正ノ條項ヲ削除サレタコトニ依リマシテ、私ノ第二ノ懸念ガ取拂ハレタノデアリマス、併ナガラ更ニ茲ニ一ツノ懸念ヲ持ツテ居リマスル點ハ、地方議員ニ對シテ發案權ヲ與ヘ、其他幾多ノ監督條項ヲ緩和サレタ點ハ、尙ホ私ハ之ニ對シテハ杞憂ヲ懷クモノデアリマス、併ナガラ此第三ノ點ニ付キマシテハ、或ハ私共ノ憂フル所ガ當ヲ得テ居ナイノデアアルカモ知レマセヌガ故ニ、之ニ對シテ反對ヲ致スモノデアリマセヌ、唯政府ニ對シテ深イ注意ヲ希望イタシテ置キタイト存ズルノデアリマス、之ヲ要スル

ニ私ハ本案ノ特別委員會ノ修正ニ付キマシテハ實ハ非常ニ喜ブモノデアリマス、ト同時ニ尙ホ十分ニ私ノ懸念ヲ拂ヒ去ルコトノ出來ナイ點ヲ遺憾トハ致シマスルケレドモ、之ニ對シテ只今反對ヲ致サムトスルモノデアリマセヌ、何故ニ私ガ此特別委員會ノ決定ニ對シテ非常ニ感謝ヲ致シ、ソレニ贊成ヲ致サムトスルカト申シマスレバ、此府縣會議員ノ選舉等ニ當リマシテ從來選舉區ヲ細分イタシマシテ所謂小選舉區ノ制度ヲ採ツテ、サウシテ地方ニ於ケル民意ヲ其團體ノ議決機關ニ反映セシムル上ニ於テ、非常ナ寧ロ偏頗ノ行ハレタ事實ガ過去ニ於テ少クナカッタノデアリマスルガ、之ヲ衆議院ニ於テ再ビ繰返サムト致シマシタコトヲ、貴族院ニ於テ特別委員會ガ之ヲ是正シ、公正ナル決定ヲ致サレタト云フ點デアリマス、此點ニ付キマシテハ、私ハ衆議院ヨリ先日送付セラレマシタル衆議院議員選舉法トノ關係ニ付テ、一應考ヘテ見タイト存ズルノデアリマス、ソレハ何故カト申シマスルト、政府ノ態度ガ甚ダ矛盾ヲ極メテ居ルノデアリマス、即チ茲ニ上程セラレテ居リマスル所ノ府縣制ノ改正案ニ於キマシテハ、政府ノ提出セラレタル所ノ原案ハ大選舉區制ヲ認メテ居ルノデアリマス、而シテ衆議院ニ於テハ之ヲ修正イタシマシテ小選舉區制トナシ得ル規定ヲ插入シタノデアリマス、此點ニ付テ第三分科ニ於テ松村君ヨリ政府ノ意向ヲ質サレタノデアリマス、其松村君ノ問ニ對シマシテ、政府ハ原案ヲ是ナリトシテ衆議院ノ修正ヲ否ナリト云フコトヲ答ヘテ居ラル、ノデアリマス、即チ地方團體ニ於テハ政府ハ大選舉區制ヲ是ナリトセラレテ居ルノデアリマス、小選舉區制ヲ否認イタサレタノデアリマス、其事實ハ第三分科ノ內務省所管ノ分ニ於テ明カニ記載セラレテ居ルノデアリマスルカラ、此事實ヲ能ク御考慮ヲ願ヒタイト存ジマス、然ルニ間モナク一方ニ於テハ、衆議院議員ノ選舉法ノ改正案ヲ衆議院ノ與黨ヨリ提出イタサレ、之ニ對シテ政府ハ極力之ガ通過ニ努メラレ、衆議院ニ議席ヲ有セラル、所ノ閣僚並ニ政務官ノ諸君ハ、此衆議院議員ノ選舉法ノ小選舉區制ニ贊成ヲ致サレテ居ルノデアリマス、即チ政府ハ國政ヲ議スル爲メ衆議院ノ構成ハ小選舉區デナクテハナラヌ、地方團體タル府縣會ノ如キ或ハ北海道會ノ如キモノハ、其議員ハ大選舉區ニ依ツテ選出セラレナケレバナラスト云フ態度ヲ執ラレテ居ルノデアリマス、同ジ内閣ノ下、同ジ議會ニ於テ、斯ノ如キ矛盾シタル態度ヲ執ラレテ居ルノデアリマス、而モ衆議院ニ於テハ、地方團體ノ議員ノ選舉區ヲモ小選舉區トナシ得ル規定ヲ插入シタルニ拘ラズ、政府ハ之ニハ反對デア

態度ヲ示サレテ居ルノデアリマス、斯様ナ態度ノ下ニ、我ガ貴族院ノ特別委員會ニ於テハ只今委員長ノ御報告ニ依リマスルト、委員諸君ハ滿場一致ヲ以テ此衆議院ノ修正ヲ否認イタサレマシテ、府縣會、北海道會ニ於テハ、大選舉區制デナクテハナラヌト云フコトニ御修正ニ相成ッタデアリマス、而シテ政府モ之ニ同意ヲ致サレタト云フコトデアリマス、同意ヲ致サレタカ、致サレナイカハ速記録ノ配付ヲ受ケマセヌカラ、其點ハハッキリ致シマセヌケレドモ、第三分科ニ於テハ明カニ原案ヲ是ナリト申サレテ居ルデアリマス、而シテ貴族院ノ特別委員會ノ修正ハ政府提出ノ原案ニ立戻ッタ次第デアリマスルカラ、政府ハ必ズ之ニ御同意ニナルコトハ疑フベキ餘地ガナイデアリマス、從テ此貴族院ノ修正ガ衆議院ニ回付ニナリマシタ場合ニ於テハ、政府ハ其與黨ヲシテ貴族院ノ修正ヲ認メシメルダケノ努力ヲ致サレルコトト確信イタス次第デアリマス、此點ニ於キマシシテ、私ハ此貴族院ノ特別委員會ニ於ケル御決定ニ對シテ感謝ヲ致ス次第デアリマス、更ニ又國稅委讓ト本案トノ關係ヲ考ヘマスルト、曩ニ委員長ノ報告ニアリマシタ通り、一方兩稅ノ委讓案ニ關スル審議ガ或ハ未了ニ終ルデアラウト云フコトデ、本案ヲ修正セラレタト云フコトデアリマス、之ヲ斯ノ如ク修正サレルコトガ適當デアルカ、或ハ兩稅委讓案ノ特別委員會ノ決定ヲ待ツベキモノデアルカト云フコトニ付テ御議論ガアッタト云フコトデアリマスガ、其點ハ何レニモ理窟ハアルデアラウト思ヒマス、兎ニ角委員會ニ於テ多數ヲ以テ其關係ノ條項ヲ削除セラレテ、茲ニ修正案ガ決定イタサレタト云フコトデアリマス、デ此委員會ノ決定ハ必ズヤ本院ノ決議ト相成ルコトデアラウト存ジマスルガ、之ニ依ッテ考ヘマスルト、其結果ハ兩稅委讓案ハ、此法案ノ決定ト同時ニ貴族院ニ於テハ否決サレナケレバナラス結果ヲ生ズルモノト考ヘルノデアリマス、或ハ委員會ニ於テ或ハ本會ニ於テ免モ角モ兩稅ヲ委讓スルト云フ國ノ方ノ關係カラノ規定ハ、只今審議未了ニナッテ居リマスケレドモ、之ヲ受ケル方ノ地方團體ノ關係ニ於キマシテノ關係ノ各條項ハ削ラレルト云フコトデアリマスレバ、如何ニ委讓ヲセムトシテモ委讓スルコトガ出來ナイカラ、此修正ノ結果ハ必然兩稅案ヲ否決シ去ラザルベカラザル關係ヲ生ズルモノト考ヘルノデアリマス、斯ノ如クニシテ此問題ノ歸結ヲ見ルト云フコトハ、蓋シ適當ナコトデアラウト考ヘルノデアリマス、更ニ私ハ此政府提出ノ原案デ、委員會ニ於テモ認メラレテ、殘リマシタ地方團體ニ對スル監督方法ノ緩和及議員ノ發案權ニ對スル點ニ付キマシテ

ハ、私ハ深ク政府ニ對シテ御考ヲ願ハナケレバナラヌト思フデアリマス、例ヘバ先程阪本君カラ御尋ニナリマシタ點ニ付テ、川崎君ノ御答辯ガアリマシタガ、府縣會議員ガ不動産處分ニ關スル發案權ヲ持ツト云フヤウナコトハ可ナリ重大ナ事柄デアルト思フデアリマス、殊ニ地方團體ニ於キマシテハ、豫算ノ審議ニ當リマシテ豫算ヲ増額修正スルコトガ認メラレテ居ルデアリマス、我ガ帝國議會ニ於テハ政府ノ提出シタル豫算ニ對シテハ減額修正ヲ致スダケノ權限ハアリマスケレドモ、之ヲ増額スル途ハナイデアリマス、然ルニ地方ノ議決機關ニ於キマシテハ豫算ノ増額修正ヲ致シ得ルデアリマス、一方ニ於テハ發案權ヲ與ヘテ重大ナル不動産ノ處分等ヲ爲シ得ルノ途ヲ開キ、各種ノ點ニ於テ地方議決機關ノ權限ヲ増サレテ居ルデアリマスガ、是ガ如何ナル影響ヲ來スベキカト云フコトニ付テハ、私共懸念イタサザルヲ得ナイデアリマス、デ何ガ故ニ斯ノ如キコトヲ申スカト言ヒマスルト、國稅ヲ地方團體ニ委讓スルト云フ途ハ、只今ノ所貴族院ニ依ッテ否認ヲ致サレルコトニナリマシタケレドモ、地方團體ノ近年ノ財政ノ膨脹實ニ驚クベキモノガアルデアリマス、昨日豫算委員會ニ於テ大橋新太郎君ヨリ極メテ剴切ナル質問ヲ致サレタデアリマス、即チ大正八年頃ノ地方團體ノ歲入歲出ト云フモノハ五億何ガシト云フ位ナモノデアッタノガ、只今デハ既ニ十七億幾ラト云フ額ニ上ボッテ居ル、我々ハ國ノ豫算ヲ審議スルニ當ッテ、十七億何千萬圓ト云フ豫算ヲ見テ居ルガ、一方地方團體ノ豫算ヲ併セテ考ヘナケレバ、國民ノ負擔ガドウ云フ狀態デアルカト云フコトヲ知ルコトガ出來ナイデアアル、然ルニ國費ノ増額ヨリモ地方團體ノ經費ノ増額ト云フモノハ、頗ル急激デアルト云フコトノ事實ヲ指摘セラレマシテ、政府ニ注意ヲ促サレタデアリマス、之ニ對シテ大藏大臣ハソレハ近年地方團體ニ於テ公營事業ガ多クナッタ關係ガ多イデアアル、例ヘテ見ルト電氣ヲ公營ニシ、瓦斯ヲ公營ニスル、或ハ水道ヲ起スト云フヤウナコトノ爲ニ、地方團體ノ歲入歲出ガ増シテ居ルデアアルガ、斯様ナ事業ハ一面ニ於テハ歲入ヲ生ミ出スモノデアアルカラ、サマデ驚ク必要ハナイ、地方團體ノ歲入歲出ノ増加ニ付テハ公營事業ヲ差引イテ考ヘナケレバナラト云フコトヲ申サレマシタノニ對シテ、大橋君ハ更ニ地方團體ノ公營事業ニ關スル經費ト云フモノハ、其中ノ極メテ一小部分ニ過ギナイト云フ事實ヲ數字ニ付テ指摘イタサレマシテ、大藏大臣ノ所說ノ當ヲ得ナイト云フコ

トヲ明カニ致サレタノデアリマス、大橋君ハ地方團體ノ歳入歳出ノ急激ナル増加ヲ指摘イタサレタノデアリマス、更ニ私ハ政府ノ注意ヲ喚起シタイト存ジマスルコトハ、地方債ノ激増デアリマス、國政ヲ審議スルニ當テ常ニ申サレル所ハ、政府ノ國庫ノ負債、即チ國債ノ額ガ五十八億ニ達シテ居ル、更ニ政府ハ募債及交付公債等ニ於テ昭和四年度ニ於テハ四億圓以上ノ公債ヲ起シナガラ、一方ニ於テハ償還スル所ハ八千萬圓程度ノモノデアルト云フコトデ、頗ニ論議サレテ居ルノデアリマス、一面地方債ノ狀況ヲ見マス、試ニ地方債增加ノ模様ヲ數字ニ付テ一應申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、大正元年度ニ於テハ地方債ノ總額ガ三億デアッタモノガ、ソレガ大正八年度ニ至リマシテモ四億二千四百萬圓ニ過ギナカッタノデアリマス、昭和元年度ニナリマスルト、十五億三千三百萬圓ト云フ額ニ達シテ居ルノデアリマス、即チ大正八年度ニ比ベマスルト云フト殆ド四倍ニ近イ程ノ増加ヲ見テ居ルノデアリマス、是ハ昭和元年度ノ數字デアリマス、更ニ現内閣ガ成立サレテ以後、昭和二年度ニハドレダケノ地方債ガ増シテ居ルカト云フコトヲ見マス、實ニ三億三千萬圓ノ激増ヲ見テ居ルノデアリマス、此統計ノ數字ヲ見マスレバ、大正元年度ヨリ昭和元年度マデ比年増加一方デアリマスルケレドモ、或一年度ニ於テ三億三千萬圓ノ公債ガ増シテ居ルト云フガ如キコトハ曾テ無イ事例デアリノデアリマス、想フニ昭和三年度ニ於テモ恐ラク巨億ノ増加ヲ見テ居ルモノト考ヘルノデアリマス、此地方債ノ激増、地方ノ財政ノ膨脹ト云フコトガ何ニ因ッテ起ルカト申シマスルト、是ハ色々ノ理由ガアリマスルケレドモ、ドウシテモ之ニ對シテ我々ガ見落シテナラヌコトハ、黨爭ノ產物デアルト云フコトモ、重キヲ爲シテ居ルノデアリマス、地方ニ於ケル黨勢擴張、不急ノ土木工事ヲ起ス、或ハ教育機關ノ濫設ヲ致スト云フヤウナコトガ、此増加ヲ生ズルノデアリマス、デ之ニ付テ私想ヒ起シマスルコトハ、故ノ政友會ノ總裁タリシ原サンガ、内務大臣トナラレテ非常ニ努力ヲ致シマシタコトハ、地方財政ノ膨脹ヲ抑壓スルト云フコトデアッタノデアリマス、當時私共内務省ニ居リマシテ、大臣ノ命ヲ受ケテ地方ノ事務ヲ簡捷ニシ、且ツ地方費ノ制限ヲ致スト云フコトニ付テ命令ヲ受ケテ研究調査ヲ致シタコトガアリマス、其結果ハ當時有名ナル三大臣ノ訓令ト云フモノトナッテ現レタノデアリマス、即チ内務、大藏、文部三大臣ノ名ニ於テ、地方財政ノ膨脹ヲ抑制スルト云フ

コトデアッタノデアリマス、更ニ又加藤サンガ内閣ヲ組織イタサレマシテ、第一ニ努メラレマシタコトハ、中央財政ノ緊縮ト同時ニ地方費ノ緊縮ト云フコトニ向ッテ非常ニ努力ヲ致サレタノデアリマス、一ハ政友會ノ總裁デアリ、一ハ憲政會ノ總裁デアリ、一ハ積極主義ヲ絶エズ唱ヘラレル所ノ政黨ノ首領デアリ、一ハ世間カラハ消極的ト謂ハレル緊縮主義ノ方針ヲ執ラレル憲政會ノ總裁デアッタ人デアリマス、何レモ國民ノ負擔ト云フコトニ付テハ深ク注意イタサレマシタノデアリマシテ、偶然ニモ其爲サル所ハ同ジコトデアッタノデアリマス、然ルニ現内閣トナリマシテカラ、地方費ノ急激ナル膨脹、地方債ノ急激ナル増加、是等ニ付テ何ヲ監督ナサレタカ、何ヲ抑制ナサレタカ、私ハ兩稅ノ委讓ト云フコトニ付キマシテモ、實ハ深キ憂ヲ茲ニ持ッテ居タノデアリマス、無制限ニ地方ノ財政ノ膨脹ヲ致シテ參ルト云フコトニ付テハ、是ハ容易ナラヌコトデアルト考ヘテ居タノデアリマス、之ニ對シテハ三土藏相ハ絶エズ斯様ナコトヲ申サレテ居タノデアアル、地方ニ獨立ノ財源ヲ與ヘルケレドモ之ニ對シテハ、之ニ依ッテ課稅ヲシタダケノモノハ、他ノ戶數割、家屋稅、雜種稅等ニ於テ輕減ヲ致スノデアアル、斯様ナコトヲ申サレテ居タノデアリマスルケレドモ、是ハ全ク机ノ上ノ議論デアッテ、事實ハ現行法ノ下ニ於テモ地方稅制限ニ關スル規定ハアルノデアリマス、併ナガラ其制限アルニ拘ラズ制限外ノ超過ト云フモノ少クナイノデアリマス、一方ニ獨立ノ財源ヲ與ヘ、一方ニ他ノ稅ヲ輕減スルト申サレマスルケレドモ、比年何トシテモ、抑ヘテモ抑ヘテモ膨脹ノ趨勢ヲ迪ッテ居ル所ノ地方費ノ財源ト云フモノガ、ソレニ依ッテ抑ヘラルベキモノデアリマセヌ、事實ハ現内閣成立以後ノ地方財政ノ狀況ヲ見マスルト、誠ニ寬大ニナッテ居ルノデアリマス、有ラユル點ニ於テ寬大ニナッテ居ルノデアリマス、私共事務官トシテ内務系統ノ官吏ヲ致シテ居リマシタ時代ニ於テ、何時モ甚ダ不便ヲ感ジ不愉快ニ思ヒマシタコトハ、是ダケノ必要ナ事業デアアルノニ拘ラズ、絶エズ大藏省ガ非常ニヤカマシクテ、地方團體ノ生産的ノ事業ヲモ抑制セラレルト云フコトデ、甚シク不滿ヲ感ジタコトガ多クッタノデアリマス、然ルニ其時代ニ於キマシテモ、地方費ノ増大ハ決シテ止マラナカッタノデアリマス、又地方債ノ増加モ決シテ止マナカッタノデアリマス、唯其進ミ方ガ漸進的デアッタノデアリマス、原サンノ力ヲ以テシテモ、加藤サンノ力ヲ以テシテモ、地方財政ノ膨脹ハ進ンデ止マナカッタノデアリマスルケレドモ、其步調ハ漸進的デアッタノデアリマス、現内閣ノ下

ニ於テハ底止スル所ヲ知ラズ、其膨脹ノ勢ヒト云フモノハ益々急激デアアル、此事實ハ内務省ノ統計ニ依ッテ明カデアリマス、數字ハ何モノヨリモ雄辯ニ之ヲ物語ッテ居ルモノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマスル故ニ、豫算ニ對シテ増加修正ヲ爲シ得ル地方團體ノ議員、又之ニ對シテ發案權ヲ與ヘルト、斯様ナコトガ今後地方財政ト云フモノヲ、更ニ一層急激ニ膨脹セシメル憂ヒハナйкаト云フコトヲ私ハ深く心配ヲ致スノデアリマス、デ有體ニ申シマスレバ此點ハ私一人ト致シマシテハ、モウ少シ嚴重ニ修正ヲ致シテ戴キタイ氣分ガ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ既ニ特別委員會ニ於テ之ヲ認メラレ、多數ノ諸君ガ之ヲ是認イタサレマシタノデアリマスルカラ、私ノ憂フル所ハ或ハ杞人ノ憂ニナルカモ知レマセヌノデ、是アルガ故ニ反對ヲ致ス迄ノ積リハアリマセヌ、即チ特別委員會ノ修正ニ對シテ贊成ヲ致スノデハアリマスルガ、同時ニ政府ニ對シテハ地方財政ノ膨脹、地方債ノ膨脹ト云フコトニ付テハ、其監督ニ付テ深く思ヒヲ致サレムコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發言モナイト存ジマスカラ採決ヲ致シマス御異議ガナケレバ日程第六ヨリ第十迄、一括シテ採決イタシマス、各案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳岡隆督君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 各案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳岡隆督君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 總テ第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十一、北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

律案

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

右特別委員長

公爵 一條 實 孝

貴族院議長公爵德川家達殿

(ハ特別委員修正)

政府ハ左ノ鐵道及兼業ニ屬スル索道買收ノ爲之ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

一 北海道鐵道株式會社所屬鐵道

一 岩手輕便鐵道株式會社所屬鐵道及同會社ノ兼業ニ屬スル索道

一 釜石鑛山株式會社所屬鐵道

一 信濃鐵道株式會社所屬鐵道

一 池田鐵道株式會社所屬鐵道

一 新潟臨港株式會社所屬鐵道

一 長岡鐵道株式會社所屬鐵道中來迎寺寺泊間

一 中國鐵道株式會社所屬鐵道

一 兩備鐵道株式會社所屬鐵道中兩備福山府中町間

一 藝備鐵道株式會社所屬鐵道中備後庄原三次間

- 一 釧路鐵道株式會社所屬鐵道
- 一 宇和島鐵道株式會社所屬鐵道
- 一 阿南鐵道株式會社所屬鐵道
- 一 博多灣鐵道汽船株式會社所屬鐵道中西戸崎宇美間及酒殿旅石間

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ内容ハ交付公債約五千萬圓ヲ以テマシテ、北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道ヲ買收セムトスルノデアリマス、各鐵道ニ付テ一般的ニ政府ノ御説明ガアリマシタガ、買收必要ノ理由トシテハ、省線ノ建設工事を進行ニ伴フテ、工事實行上買收ヲ必要トスルモノ、斯様ナモノガアリマス、又運輸系統ノ聯絡ヲ全クスルガ爲ニ買收ヲ必要トスルモノモアリマス、又地方産業開發上買收ヲ必要トスルモノガアリマシテ、是等十四鐵道ノ一々ニ付キマシテ、委員會ハ慎重ニ審議ヲ致シタノデアリマス、委員會ハ去ル十三日以来昨二十四日迄、殆ド連日ニ互ッテ、或ハ祕密會ヲ開キ或ハ懇談會等ヲ開イタノデアリマス、併ナガラ遺憾ニシテ政府原案ヲ悉ク可決スルコト云フコトニ至ラズ、次ニ申上ゲマスル如ク、六鐵道ヲ削除スベシト云フ修正案ヲ可決イタスヤウナコトニナッタノデアリマス、今其名前ヲ舉ゲマスルト、北海道鐵道株式會社所屬鐵道、池田鐵道株式會社所屬鐵道、長岡鐵道株式會社所屬鐵道、中國鐵道株式會社所屬鐵道、藝備鐵道株式會社所屬鐵道、阿南鐵道株式會社所屬鐵道ノ六ツデアリマス、委員ト政府トノ間ニ只今申上ゲマシタウナ連日ニ互リマシテ、數多ノ質疑應答ガアリマシタガ、只今ハ此六鐵道ニ付キマシテ少シク委員會ノ質疑應答ノ模様ヲ申上ゲマス、其他ノ分ハ極ク概要ヲ後ニ申上ゲタイト存ジマス、第一ニ北海道鐵道ニ付テハ、政府ハ買收ノ理由トシテ大部分ガ將來ノ敷設豫定線ニ相當シテ居ルモノモアリ、且ツ膽振、日高地方ノ山林開發上必要ナル線路デアアルカラ之ヲ買ヒタイ、此鐵道ハ所謂地方産業ノ開發發展上必要デアアル、斯様ナ意味ノ御説明ガアリマシタ、幾度カ質疑應答中ニ斯様ナ意味ヲ繰返サレテ居ルノデアリマス、デ委員ノ質疑中ニハ此會社ニ元來免許ヲ與ヘタ重モナル理由ハ、室蘭方面ト網走方面ト聯絡ヲ宜クスル爲デアッタノデアアル、且ツ此會社ノ線ガ出來レバタ張ノ石炭ヲ出スニ都合ガ好ク、炭坑ノ開發、

斯様ナコトガ此鐵道ノ私設鐵道トシテ許サレタ重モナルモノデアッタノニ、會社ハ仕事ノ樂ナ所ダケ工事ヲヤッテ、肝腎ナル工事ハマダ其儘ニナッテ居ルノデアアル、會社ガ當初許可セラレタ所ノ目的ヲ達シタ上ニ買收ヲスル必要ガ起ルノデアアル、今ハ買フ必要ガナイノデアアル、斯様ナ、質疑應答中ニ話ガアリマシタ、尙ホ序ナガラ北海道鐵道ノ近年ノ營業成績ヲ摘ンデ申上ゲマスルト、建設費ニ對スル益金ノ割合ハ〇・〇〇六四、斯様ナ次第デアリマシテ、國家カラ多額ノ補助ヲ受ケツ、アル狀態デアリマス、次ニ池田鐵道ニ關スル買收理由ト致シマシテ、政府ハ是ハ信濃鐵道ト一體ト見ルベキモノデアアルカラ併セテ買フノデアアル、斯様ナ御説明中ニ御言葉ガアリマシタ、其他獨立シテハ經營ガ立行クマイト云フヤウナ御話モアリマシタガ、矢張り是モ委員ノ質疑應答中ニ此鐵道ノ如キハ全然國有ノ必要ガ無いノデアアル、一會社ノ救済ノ意味ノ如キハ全ク理由ニナラナイ、斯様ナ御話ガアッタノデアリマス、尙ホ此會社ノ狀態ヲ申シマスルト、建設費ニ對スル益金割合ト云フモノハ零ナノデアリマス、又此會社モ國家カラ補助ヲ受ケツ、アリマス、次ニ長岡鐵道、之ニ關シマスル政府ノ買收理由ト致シマシテハ、當局ハ運輸系統ノ整理上必要ナ線デアアル、將來長野ト新潟地方ノ交通聯絡上ニモ必要ニナルモノデアアル、斯様ナ御説明ニナッテ居リマス、之ニ對シテ委員ノ質疑應答中ニハ、此鐵道ノ買收ノ理由ハ了解ニ苦シムノデアアル、全ク會社ノ救済ヲ致スト云フヤウナモノノ外考ヘラレナイ、尙ホ此鐵道ノ營業成績ハ建設費ニ對スル益金割合ハ〇・〇三七六、斯様ナモノニナッテ居リマス、次ニ中國鐵道、此買收理由ト致シマシテハ、是ハ鐵道ノ系統聯絡上、公益上買收シタ方ガ宜イ、又此鐵道ハ成績ガ好イノデアアッテ次第ニ成績ガ上ルヤウナ模様デアアルカラ、今買フタ方ガ安ク買ヘル、斯様ナ御説明ガアリマシタ、所ガ矢張り委員ノ質疑應答中ニ最近ノ六箇年ノ成績ヲ見ルニ、前ノ三箇年ノ方ハ後ノ三箇年ノ方ヨリ利益ガ多イノデアアル、近年段々ト殖エテ居ルト云フ所ハ自分ニハ見當ラナイ、尙ホ此附近ノ省線ノ工事が段々ト進ンデ津山方面カラ出ル荷物ガ阪神地方ノ方ヘ行クヤウナ線ガ出來ルナラバ、寧ろ津山方面ノ荷物ハ阪神地方ノ方ヘ行クノデ、此中國鐵道ノ利益ト云フモノハ、或ハ下ッテ來ルカモ知レマセヌ、先ニ延バシテ買ッタ方ガ國家ノ爲ニ利益デアラウ、又他ノ委員ヨリハ今日多數ノ建設ヲチビチビト方々デヤッテ居ルノハ誠ニ不經濟デアアル、此中國鐵道ヲ一千万圓以上モ出シテ今買フト云フヨリハ、寧ろ公債ヲ出シテ新線ヲ造ル方ニ努力ヲサレタ

ラ宜カラウ、斯様ナ御話モ出マシタ、之ニ對シテ鐵道大臣ハ後者ノ御話ニ對シテ、至極御趣意ハ御尤デアルケレドモ、建設ハ公債ニ依ラナケレバナラスシ、買收ハ交付公債ニ依ラナケレバナラスノデアッタ、各、別個ノモノデアルカラ、左様ナ譯ニハ行カヌコトヲ遺憾トスル、尙ホ此鐵道ハ建設費ニ對シテノ益金割合ハ〇・一二二二ト云フヤウナ大層好イ狀態ニナッテ居リマス、次ニ藝備鐵道、此藝備鐵道ノ買收ノ理由ト致シマシテハ、此鐵道ハ省線ヲ拵ヘル上ニ於テ利用シヤウト云フ鐵道ナノデアアル、ソレデアアルカラ今買フノデアアル、斯様ナ御話デアリマシタガ、委員ノ質疑應答中ニハ、寧ろ藝備鐵道ハ廣島カラ此三次間ヲソックリ買ッテシマフナラバ、ソレハ相當ニ意味アルモノデアル、營業ノ成績ノ極メテ惡イ、而モ省ノ線トシテ全ク離レ島ニナルヤウナ所ニボッチリシタ鐵道ヲ今買フト云フコトハ、ドウ見テモ理由ガ分ラナイ、是ハ豫テ運轉系統聯絡上私設鐵道ヲ買フト云フ省ノ御説ト矛盾シテ居ルデヤナイカ、斯様ナ御話モアリマシタ、尙ホ此買收セムトスル部分ノ營業成績ハ、建設費ニ對スル益金割合ガ〇・二五四、斯様ナ狀態ニナッテ居リマス、次ニ阿南鐵道、之ニ付テノ買收ノ理由ト致シマシテハ、政府ハ大正五年カラ此鐵道ハ鐵道省ト此會社ト契約ヲシテ、會社ノ列車ガ德島マデ這入ッテ居ル、殆ド省線同様ノ働キヲ今日シテ居ルノデアアル、尙ホ昭和五年カラ此線ノ先ノ方ニ建設線ガ出來ルコトニナッテ居ル、旁、買收ヲ必要トスルノデアアル、斯様ナ説明デアリマシタガ、委員ヨリ敷設豫定線ヲ其先ノ方ニ建設シテ結ブコトニナルナラバ、橋ガ出來ナケレバナナイ地勢ニナッテ居ル、其橋ハ一體何年ニ架カルノカ、斯様ナコトデアリマシタガ、政府ノ答ハ昭和七年カラ掛カッテ橋ノ工事ヲヤッテ、八年ニハ出來ルデアラウ、斯様ナ御話デアリマシタ、今日急ニ買フ必要ハナイデハナイカ、斯様ナ御話ガアリマシタ、尙ホ此鐵道ノ建設費ニ對スル益金割合ハ〇・〇五三四、斯様ナモノデゴザイマス、尙ホ各線ニ互リマシテ色ト質疑應答ガアリマシタノデアリマスルガ、ソレハ速記録ノ方ヲ御覽ヲ願ヒマシテ御承知ヲ願フコトニ致シマシテ、茲ニ之ヲ省略イタシタイト存ジマス、唯一點一般ノモノトシテ申上ゲタイノハ、委員ト政府當局トノ質疑應答中、鐵道國有法ノ第一條ノ條文ニ付テ可ナリ質疑應答ガ繰返サレマシテ、ソレニ付テ鐵道大臣ハ國有法ノ第一條ハ、鐵道ハ總テ國有トスルノデアアル、地方鐵道ハ此限ニ在ラズトアルノデアアルカラ、是ハ取除ケニナルノデ、此國有法ノ第一條ハ鐵道ノ國有主義、斯様ナコトヲ表ハシテ居ルノデアアル、

斯様ナ言明ガアッタノデアリマス、以上ヲ以チマシテ、大體質疑應答ノ狀態ヲ御了承ヲ願ヒマス、委員會ハ一昨二十三日ニ大體ノ質疑ヲ終リマシテ、昨二十四日ニハ主トシテ委員ノ懇談ヲヤリマシテ、各自ノ忌憚ナキ意見ヲ申合ッタノデアリマス、討議ニ入りマシテカラ、一委員ヨリシテ修正意見トシテ、此際買收ノ必要ナルモノト然ラザルモノトニ區別ヲシテ、北海道鐵道、池田鐵道、長岡鐵道、中國鐵道、藝備鐵道、阿南鐵道ノ以上六鐵道ハ公債ノ發行額、鐵道經營經濟ノ狀態、此兩點ニ鑑ミテ、之ヲ買收スルモノカラ除キ、其他岩手輕便鐵道、釜石鑛山鐵道、信濃鐵道、新潟臨港鐵道、兩備鐵道、越上鐵道、宇和島鐵道、博多灣鐵道、此八鐵道ヲ買收スルコトニシテ修正シタイ、斯様ナ意見ガ出マシタ、之ニ對シテ全會一致ヲ以テ委員會ハ可決イタシマシタ、尙ホ其際ニ希望條件トシテ、次ノ如ク附シタイ希望ガアリマシタ、希望條件ヲ讀ミマス

希望條件

岩手輕便鐵道株式會社ノ兼營ニ屬スル索道ノ買收價額ハ同會社ノ鐵道買收價額算定ニ用キル率ニ依リ計算シ其範圍内ニ於テ同會社ト協定スルコト此希望條件モ全會一致可決イタシマシタ、更ニ他ノ委員ヨリモ、次ノ如ク附帶決議ヲ發案サレマシテ、是亦全會一致可決サレタノデアリマス

附帶決議

現行ノ鐵道會議官制ハ其組織ニ於テ所期ノ目的ヲ達スル能ハズト認ム、依テ政府ハ鐵道會議ヲ一層公正且ツ權威アラシムル爲メ其組織ヲ改メ交通ニ關スル學識經驗アルモノヲ議員トナシ鐵道敷設法ニ定ムルモノノ外自動車道路網ノ計畫並ニ地方鐵道ノ買收等ヲ之ニ諮詢セラレムコトヲ望ム

是等ニ對シマシテ、鐵道大臣ハ希望條件、附帶決議ノ何レモノ御趣意ニ對シテ、出來ルダケ努力イタシマセウト斯様ニ答ヘラレタノデアリマス、斯クテ北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ特別委員會ハ、只今申上ゲマシタヤウナ修正並ニ希望條件、附帶決議ヲ附ケマシテ、修正可決相成ッタ次第デゴザイマス、以上御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵榑笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クト云フ西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ念ノ爲メ御諮リヲ致シタイト存ジマス、委員會ニ於テ修正セラレマシタ……削除セラレマシタ各線ヲ一々採決イタサズトモ、一括シテ特別委員長ノ報告ヲ問題ニシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○佐竹三吾君 私ハ議長ノ御手許ニ修正案ヲ提出イタシテゴザイマスカラ、第二讀會ニ於キマシテ、修正案ニ付テ……

○議長(公爵德川家達君) 只今西大路子爵ノ發議ハ少シ御急ギガ過ギタヤウニ考ヘマス、今議長ガ申上ゲヤウト思ッテ居ル所デゴザイマシタ、本案ノ題號ニ付キ、佐竹三吾君ヨリ一條公爵初メ、定規ノ賛成ヲ得テ修正案ガ出テ居リマス、一應説明ヲ煩シタイト考ヘマス

○佐竹三吾君 極メテ簡單デアリマスカラ、此席カラ説明スルコトノ御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○佐竹三吾君 此修正案ノ趣旨ハ議案ノ題名ヲ變更セムトスルモノデアリマシテ、其理由ハ委員會ニ於キマシテ原案ガ修正サレマシタ、北海道鐵道ハ……北海道鐵道竝ニ其他五鐵道ガ削除サレマシタ結果、殘リマシタ鐵道ノ中ニハ北海道鐵道ハアリマセヌシ、又殘リマシタモノガ十三鐵道ノ中八鐵道ニナリマシタカラ、此議案ノ題名ヲ改メマシテ、「岩手輕便鐵道株式會社所屬鐵道及同會社ノ兼業ニ屬スル索道外七鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案」ト

改メムトスルモノデアリマシテ、是ハ委員會ニ於テ當然修正ヲ致スベキモノヲ落シタノデアリマスカラシテ、此際本會議ニ於キマシテ、此修正案ノ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 佐竹三吾君提出ノ修正案ニハ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、西大路子爵ノ御發議ヲ請ヒマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 動議ニハ賛成者ヲ要シマス……西大路子爵ハ二讀會ト御申述ニナッタ趣デアリマス

○子爵西大路吉光君 只今ノハ誤リマシタ、直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榑笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十二、大正十四年法律第五十一號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

子爵 八條 隆 正

貴族院議長公爵德川家達殿

【子爵八條隆正君演壇ニ登ル】

○子爵八條隆正君 只今議題ニ上ボリマシタル大正十四年法律第五十一號中改正法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此法律ノ趣旨ハ、關東州ノ生産ニ係リマス所ノ生活必需品又ハ工業原料品ニ對シマシテハ、其輸入税ヲ免除又ハ輕減イタシマシテ、關東州ニ於ケル産業開發ニ資スルト共ニ、一面本邦ニ於ケル物資ノ補給ヲ圓滑ニセムトスル趣旨デアリノデアリマシテ、現ニ數十ノ品目ヲ指定サレテ居ルノデゴザイマスガ、今回更ニ之ニ對シマシテ綿織絲、或ハ「ガンニー」囊、其外數種ノ品目ヲ免税イタシマシタ、又牛肉ニ對スル輸入税ヲ半減スルト云フ法律案デアリノデアリマス、委員會ニ於キマシテ、政府委員ヨリ各品目ニ付テソレソレノ説明ガゴザイマシタ、又委員ヨリソレソレノ質疑ガゴザイマシタノデアリマスガ、中ニ就キマシテ最も反復丁寧ニ質疑サレタモノハ綿織絲ニ付テデゴザイマス、段々ト質問ガゴザイマシタガ、其質問サレマシタルノハ、要スルニ此綿織絲ヲ免税スルニ依ッテ内地ノ紡績業ニ對シテドウ云フ影響ヲ及ボスデアラウカ、假ニ又關東州ノ綿織絲ヲ免税スル爲ニ、延イテ支那各地ニ於ケル綿織絲モ免税シナケレバナラヌ結果ヲ來シハセヌカ、若シサウ云フコトニナレバ、我國ノ紡績業ノ受クル影響ハ極メテ大ナルモノデアッテ、從テ是ガ爲ニ内地ノ紡績業者ガ非常ニ心配ヲ致シテ居ルト云フ點ニ付テ質問サレタノデゴザイマス、政府委員ハ或ハ大藏省、商工省、又ハ關東廳ノ政府委員ガ交立ッテ説明ヲセラレタノデアリマスガ、此關東州ノ綿織絲ヲ免税イタシマシタ所デ、大體關東州ノ綿織絲ノ生産額ト云フモノハ、一年ニ一萬七八千捆ニ過ギナイノデアリマシテ、是ガ全部内地ニ入ル譯ノモノデモナシ、又假ニ全部入ッタ所デ、我國ノ綿織絲ノ生産ニ對シテハ九牛ノ一毛ニ過ギナイノデアリカラシテ大シタ影響ハナカラウ、又假ニ一時ニ此關東州ノ綿織絲ガ多額ニ我ガ内地ニ入ルヤウナコトガアレバ、或ハ多少影響アルカモ知レヌガ、ソレ等ノ場合ニ於テハ、輸入數量ニ對シテ相當制限ヲ加ヘルトカ何トカ云フコトニ付テ考ヘヌケレバナラヌト云フコトハ、商工省ト關東廳トノ間ニ於テ話合ヲシテ居ルノデアリト云フヤウナ説明デゴザイマシタ、又元來綿織絲ノ輸入税ヲ無税ニシタラバ宜イト云フコトニ付キマシテハ、從來嘗テ衆議院ニ於テ建議案トナッテ現レタコトモアリ、又法律案トナッテ衆議院ダケハ通過シタコトモアルサウデアリマス、是等ガ質疑

者ノ心配セラル、所デアリマシテ、關東州ノ綿織絲ヲ免税シタル結果、同ジク支那ニ於テ、上海或ハ山東方面ニ於テ生産サレル所ノ綿織絲ガ同様ノ理由ヲ以テ此特典ニ浴シタイト云フヤウナ議論ガ現レテ來ル、サウナレバ支那ニ於ケル綿織絲ハ詰リ我國ニ於ケル輸入綿織絲ノ殆ド全部ヲ占メテ居ルモノデアリカラシテ、綿織絲ノ無税ト云フコトガ實現スルコトニナルト、斯ウ云フ心配ガアルノデアリマスガ、之ニ付テハ衆議院ニ於テ只今申上ゲタヤウナ從來ノ歷史モアルノデアリマシテ、且又前回ニ於ケル一般關稅定率ノ改正ニ際シテモ、衆議院ニ於テ希望決議ガ出テ居ルノデアリマスルガ、政府ニ於テハ此際綿織絲ヲ無税ニスルト云フコトハ、大體ニ於テ大シタ我ガ紡績業ニ影響モナカラウトモ思ハレル節モアルケレドモ、事極メテ關稅政策上ノ大問題デアラカラシテ慎重ニ考究セヌケレバナラヌ、目下政府ニ於テハ綿織絲ヲ直ニ無税トスルト云フ考ヘモナイシ、慎重ニ目下考慮中ノ事柄デアリノデ、今議會ニ提出シタ所ノ關稅定率法ノ改正ニモ、綿織絲ノ無税ト云フコトハ企テナカタノデアルト、斯ウ云フ説明デゴザイマシタ、討議ニ入りマシテ、只今ノ質疑者ハ希望トシテ意見ヲ申述べラレマシタ、即チ今回關東州ノ綿織絲ヲ無税ニスルト云フコトニ付テハ大シタ影響ガナイト思フカラシテ賛成ヲスルケレドモ、之ガ端緒ヲ開イテ支那各地ニ於ケル綿織絲ガ無税ニナルト云フヤウナコトニナルト甚ダ憂フベキ事柄デアラカラシテ、左様ノコトハ實現シナイヤウニシテ貰ヒタイト云フ御希望デアリマシタ、尙且ツ綿織絲以外ノ品目ニ付テモ御希望ガゴザイマシタ、ソレハドウモ他ノ品目ニ付テモ見ル所ニ依ルト、南滿鐵道會社ガ此他ノ品目ニ付テノ事業ニ若干關係ガアリサウニ思ハレ、滿鐵ガ今日苦境ニ立ッテ居ルト云フヤウナ狀態デアラナラバ、是等ノ品物ヲ輕減シ或ハ免除スルト云フコトハ同情ニ値スルケレドモ、社運隆々タル滿鐵ノ事業ニ關聯シタモノデアル以上ハ、左程ニ同情ヲ持ツ必要モ無カラウ、今回ノ改正案ニ追加サレル所ノ品目ニ付キマシテハ敢テ差支ガ無カラウ、瑣々タルモノデアアルカラ構ハナイ、今後斯ノ如キコトノ範圍ヲ擴ゲナイヤウニシテ貰ヒタイト云フ御希望デアッタノデアリマス、之ニ對シマシテハ賛成ヲセラレタ委員モアリマシタ、政府ニ於テモ是等ノ點ニ付テハ相當考慮ヲスルト云フコトヲ話サレマシタノデ、委員會ノ決議、希望決議ト云フコトニナラズ、單ニ委員ノ希望トシテ委員長ガ本議場ニ報告スル際ニ紹介シテ置イテ貰ヒタイ、其程度デ宜カラウト云フヤウナコトデアリマシタノデアリマス、採決イタシ

マシタ所ガ全會異議ナク原案通り可決サレマシタ次第ゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ發言ノ通告モゴザイマセヌカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開タコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榑笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ御動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榑笥隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クト云フ西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十三、一讀會ノ續、委員長報告

昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

伯爵 松平 賴壽

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵松平賴壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平賴壽君 只今議題ニ相成リマシタ委員會ノ御報告及經過ヲ申上ゲマス、委員會ハ昨日開會イタシマシテ、一回ニ於キマシテ是ハ終了イタシマシタノデアリマス、此委員會ハ、全會ヲ以チマシテ可決ヲサレマシタノデアリマス、併シ可決ヲサレマシタ中ニ希望ヲ述べラレタ御方ガゴザイマス、前ニ戻リマシテ此法案ハ昭和二年及三年ニ於キマスル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲ニ政府ガ發行スル公債額面五百四十萬圓ヲ限リ五分利公債ヲ以テ發行スルト云フ議案デゴザイマス、是ハ昭和二年度三年度ニ於キマシテ支那事件ニ付キマシテ陸海軍ノ軍人及判任文官、傭雇員、職工等ニ付キマシテ行賞ヲスル爲ノ賜金デゴザイマス、此法案ニ付キマシテ重モナル質問ヲ二三申上ゲテ置キタイト存ジマス、此法案ノ出マシテ後ニ一委員ヨリ支那出兵ニ付キマシテノコトニ付テハ、種々疑惑等モアリマシテ、直接間接日本ニ利益ノアツタコトモ明カデナイ、ソレ故ニ此賜金ヲ賜ハルト云フコトニ付テハ異議ハナイガ、主義ニ於テ出兵ト云フコトガイケナイト云フヤウナ御意味ノ御質問ガゴザリマシタ、又此事件ニ付キマシテ、支那ノ事件ニ付テ、日本人ノ普通ノ人、及ビ商店ノ者ニ於テ損害ヲ被ッテ居リマスルノニ、未ダ其賠償モ出來ズシテ居ルニ拘ラズ、軍人ニ對シテ行賞ヲスルト云フコトハ如何ナモノデアラウカト云フコトノ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ政府ト致シマシテハ只今普通ノ人ニ付テノ損害ハ支那トノ交渉中デアル故ニ、只今直グ茲ニ於テ如何トモスルコトガ出來ナイノデアルト云フ答辯デゴザイマシタ、又遡リマシテ此事件ノミナラズ、前ノ事件ニ於キマシテノ損害モ十分ニナッテ居ラナイガ、サウ云フコトハ成ルベク早く出來ナイモノデアラウト云フヤウナ質問モゴザイマシタ、政府ニ於キマシテハ此質問ニ對シマシテハ成ルベク其賠償等ニ付キマシテハ、出來得ル限り速ニ之ヲ救済スル方法ヲ執ルト云フ答辯ガゴザイマシタ、大凡御質問ハ略、此位デアリマシテ、他ニ幾分ゴザイマシタガソレハ省略イタシマス、最終ニ至リマシテ一委員ヨリ此度ノ濟南出兵ハ誠ニ遺

憾ナルコトデアッテ、此度ノ出兵ハ國民トシテハ大ナル損害ヲ受ケ、今日マデニ何モ得ル所ガ明カデナイ、又日支貿易其他直接間接ニ付キ損失ヲシテ居ルト思フ、此出兵ニ付テハ國民トシテ誠ニ堪ヘラレナイ、併ナガラ命令ヲ以テ戰地ニ行ッテ、外國ニ行ッテ行動シタ此軍人、兵ニ對シテハ、十分ニ論功スベキノガ當リ前デアル、ソレ故ニ此論功ト云フコトニハ御同意ヲスル、併シ此出兵ノ意味ニ於テハ自分トシテハ誠ニ遺憾デアルト云フ御意見ガゴザイマシタ、此條件ガ附キマシテ、此委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以チマシテ可決イタシマシタ次第ゴザイマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榊岡隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵榊岡隆督君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

地方鐵道法中改正法律案修正報告書

軌道法中改正法律案可決報告書

非訟事件手續法中改正法律案可決報告書

米穀需給調節特別會計法中改正法律案可決報告書

○議長(公爵德川家達君) 議事ノ都合上暫時休憩イタシマス

午後四時四十一分休憩

午後七時二十三分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和四年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和四年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

昭和四年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第三號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

昭和二年及三年ニ於ケル支那事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セリ

府縣制中改正法律案

市制中改正法律案

町村制中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

本日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

建築士法案

工場法中改正法律案

司法代書人法中改正法律案

國定教科書官給法案

東京府及神奈川縣ニ於ケル震災ノ爲土地區劃整理ヲ施行セル地區内ノ假

建築著手期限變更ニ關スル法律案

本日豫算委員副委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)修正報告書

昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)否決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)議決報告書(自作農創設維持補助金ノ件可決肥料管理ノ件否決)

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ニ付同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意セサルコ

トニ決議シタル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又同時ニ同院ヨリ

協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法

律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、只今書記官ヲシテ報告セ

シメマシタ通り、衆議院ヨリ兩院協議會ヲ開クノ請求ニ接シマシタ、故ニ議

事日程ヲ變更シテ、此際協議委員ノ選舉ヲ行ヒタイト存ジマス、御異議ハゴ

ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵堀田正恒君 兩院協議會ノ委員ノ指名ハ議長ニ於テセラレムコトヲ希

望イタシマス

○子爵數篤麿君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 堀田伯爵ハ協議委員ノ選舉ハ議長ニ一任スルト云

フ動議ヲ提出セラレマシタ、動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、協議委員ノ氏名ヲ書記官ヲシ

テ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法

律案兩院協議委員

公爵一條 實孝君 伯爵松平 賴壽君 子爵秋田 重季君

子爵瀧脇 宏光君 男爵辻 太郎君 藤田 四郎君

山之内 一次君 松本 丞治君 湯淺 倉平君

佐竹 三吾君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ御諮リヲ致スコトガゴザイマス、此際議事

日程ヲ變更イタシマシテ、昭和四年度歳入歳出總豫算追加案、第二號、昭和

四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第二號、豫算外國庫ノ負擔トナル

ベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、會議、委員長報告、地方鐵道法中改

正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、軌道法中改

正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、非訴訟事件手

續法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、米穀需給調節特別會計法中改正

法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、只今議長ノ讀

ミマシタ諸案ノ議事ヲ開キタイト考ヘマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔土方寧君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 土方君ハドウ云フ事デスカ

○土方寧君 議事進行ニ付テチヨット一言シタイ、國務大臣ハ誰モ御出デニナ

ラヌデスカ

○議長(公爵德川家達君) 土方君ノ御要求ハ誠ニ御尤ニ存ジマス、早速要求

イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 昭和四年度歳入歳出總豫算追加案、第二號、昭和

四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第二號、豫算外國庫ノ負擔トナル

ベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、會議、委員長報告

一 昭和四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)
右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十五日

豫算委員副委員長

男爵 大井 成 元

貴族院議長公爵德川家達殿

(小字及——ハ豫算委員修正)

(第二號)

昭和四年度歳入歳出總豫算追加

豫算

昭和四年度歳入歳出追加額ヲ各六拾萬八千五百圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

歳入臨時部

第九款 前年度剩餘金繰入

第一項 前年度剩餘金繰入

歳出經常部

農林省所管

第八款 補助費

第三項 自作農創設維持費補助

第十款 自作農創設維持助成費

第二項 俸給

第二項 事務費

第三項 道府縣經費補助

農林省所管合計

一 昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十五日

豫算委員副委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

男爵 大井 成 元

一 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

右案中一般會計農林省自作農創設維持補助金ノ件ヲ可決シ特別會計農林省所管肥料管理ノ件ヲ否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十五日

豫算委員副委員長

男爵 大井 成 元

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 豫算副委員長大井男爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔男爵大井成元君演壇ニ登ル〕

○男爵大井成元君 只今上程サレマシタ三案ニ付キマシテ、豫算委員會ノ經過及結果ヲ玆ニ報告イタシマス、豫算委員會ニ於キマシテハ、本日午後五時過キ開會ヲ致シマシテ、此三案ヲ審議イタシマシタ所、別ニ申上ゲル程ノ質疑應答モゴザイマセズシテ、直ニ次ノ如ク修正可決並ニ否決サレマシタ、即チ昭和四年度歳入歳出總豫算追加案第二號ヲ次ノ如ク修正サレマシタ、昭和四年度歳入歳出追加額ヲ各六拾萬八千五百圓トアリマスノヲ九萬七千五百圓ト修正ニナリマシタ、第九款歳入臨時部ニ於キマシテ前年度剩餘金繰入六拾萬八千五百圓ヲ九萬七千五百圓、第一項前年度剩餘金繰入六拾萬八千五百圓ヲ同ジク九萬七千五百圓、歳出經常部ニ於キマシテ補助費ハ元ノ通りデアリマス、第三項ノ自作農創設維持費補助是モ元ノ通りデアリマス、第十款ノ自作農創設維持助成費五十一萬五千五百圓ハ削除即チ否決ニナリマシタ、農林省所管合計ト云フ所ニ於キマシテ、六十萬八千五百圓ヲ九萬七千五百圓ニ修正ニナリマシタ、何レモ大多數ヲ以テ修正ニ議決サレマシタ、次ニ昭和四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第二號、是ハ肥料管理並自作農創設維持助成資金ニ關係スルモノデアリマス、之ニ關係スル法律案ノ目下ノ狀況ニ鑑ミマシテ、是ハ全部否決ト云フコトニ大多數ヲ以テ議決サレマシタ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關係スル件追第一號、一般會計農林省所管自作農創設維持補助金、是ハ全部原案ノ通り可決サレマシタ、特別會計農林省

所管ニ於キマシテ、肥料管理、是ハ全部削除、否決ニナリマシタ、右御報告
イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際御諮リヲ致シマス、只今大井副委員長ノ報告
セラレマシタ豫算案、三案共束ネテ議題ト致シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 小林嘉平治君ヨリ質疑ノ通告ガゴザイマスカラ、
御登壇ヲ願ヒマス

○小林嘉平治君 私ハ質疑ハナインデアリマス、尙ホ如何デスカ、私ガ時間
ヲ費スコトガ議事ノ取廻シ上差支ヘルト云フコトデアレバ、遠慮イタシタイ
ト思ヒマス、併シ差支ナケレバ此機會ニ自分ハ賛成……原案維持ノ討論ヲ致
シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ小林君ハ質疑ノ通告ヲセラレタト云フコト
ヲ聞キマシタカラ申述べタ次第ゴザイマス、然ラバ小林君ハ、ドノ案ニ付
テ討論……意見ヲ述べラレタイノデスカ

○小林嘉平治君 肥料管理案及自作農創定ニ關スル總テノ原案ニ付テ發言ヲ
致シタイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ三案ニ付テ討論ヲナサルト云フ意味ゴザ
イマスカ

○小林嘉平治君 左様デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 而シテ今會期切迫ニ付テ御邪魔デアラウトカ何ト
カ言ハレマシタガ、其程度ハ全ク小林君ニ御一任イタシマス、其長短ヲ議長
ガ彼此レ言フ權能ガナイト考ヘマス、御登壇ヲ願ヒマス

〔小林嘉平治君演壇ニ登ル〕

○小林嘉平治君 私ハ只今議題ニナツテ居リマスル三案ニ付キマシテ、原案ニ
賛成ヲ致ス者デアリマス、此農業ニ關スル重大ナル三案ガ衆議院カラ廻ッテ參
リマシタノハ、大變會期切迫ノ折柄デアリマスニモ拘リマセズ、委員諸公ニ
於カレマシテハ、如何ニモ此農業關係ノ問題ガ今日ノ日本ニ於キマシテ重大
ナル

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

問題デアルカト云フコトヲ能ク御理解ヲ下サレマシテ、米穀法ニ付キマシテ

ハ既ニ全會一致ヲ以テ御賛成下サレテアルト云フ御報告ニ接シマシテ、大變
私ハ喜ンデ居ルノデアリマス、併ナガラ尙ホ先刻ノ委員長ノ御報告ニ依リマ
シテモ、我々ノ最重要法案ト見テ居ル所ノ肥料管理案及自作農創定ノ案
ガ、或ハ審議未了ニ終リハセマイカト云フ懸念ガアルコトヲ承リマシテ、
誠ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、米穀法ハ所謂一時的ノ對症療法デアリマ
シテ、一ツノ解熱劑ニ過ギナイノデアリマス、我々ノ見ル所ニ依レバ肥料管
理案及自作農維持創定案ナルモノハ、所謂營養療法デアリマシテ、此二案
ガ完全ニ貴族院ニ於キマシテ、可決サレテコソ初メテ米穀法ナルモノモ意味
ヲ成スト考ヘテ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ私ハ自作農創定及肥料管
理案ニ關スル此豫算ノ削除サレタコトハ、非常ニ遺憾ニ存ズル者デアリマス、
大勢斯ノ如ク決シタ以上ハ、恐ラクハ私ノ言論ガ皆様ヲ動かシテ此僅カナル
時間ニ可決サレ、運命ヲ回復スルト云フコトハ豫期イタシテ居リマセヌ、併
ナガラ肥料管理案及自作農創定案ハ永久ニ互ル問題デアリマス、少クトモ
次ノ議會ニ於キマシテハ、必ズ形ヲ改メテ提案サレネバナラス、現内閣ガ持
續スレバ勿論ノコト近キ將來ニ現レル所ノ内閣ニ於テ必ズ提案サレナケレ
バナラヌ問題デアアルノデアリマス、現ニ衆議院ノ議論ヲ聞キマシテモ、所謂
之ニ反對スル所ノ案ナルモノモ要スルニ絶對的ノ反對デハナイノデアリマシ
テ、見方ニ依リマシテハ賛成論者以上ニ大ナル希望ヲ以テ反對ヲ爲シテ居ラ
シヤルノデアリマス、從テ私ガ茲ニ自分ノ所感ヲ述べルト云フコトモ、殊ニ私
ガ常ニ農村ニ在住イタシマシテ、サウシテ如何ニ此問題ヲ見テ居ルカト云フ
コトヲバ茲ニ述べて置クト云フコトモ決シテ無意味デナカラウト思ヒマス、
第一ニ自作農創定維持案ナルモノハ、私共ハ單ニ之ヲ以テ所謂耕地及ビ人ノ
能率ヲ増進スル爲デアアル、若クハ一時的ノ小作爭議ヲ解決スル所ノ一ツノ途
デアアル、私ハ單純ニ斯ク見テ居ラスノデアリマス、他ニ大ナル期待ヲ持ッテ居
ルノデアリマス、今日ノ農村ノ狀態ハ如何デアリマスカ、物質的ニ精神的ニ
實ニ不安定デ緊張ヲ缺イテ居リマス、斯ノ如キ狀態ニシテ農村ガ救ハレルコ
トガ出來ナカタツナラバ、日本ノ將來ハ實ニ惧ルベキモノガアルト思フノデア
リマス、私共ハ此自作農ヲ創設維持スルコトニ依ッテ、所謂落付キノアル實
勤勉ナル恆産恆心ノアル中堅國民ヲ茲ニ作り上ゲタイ、斯ウ云フ期待ヲ持ッテ
居ルノデアリマス、現ニ過去ニ於テ此自作農創設法ナルモノハ試驗濟デアリ
マス、既ニ大正十年ノ頃カラ餘リ政府ノ方針ノ立タヌ時カラ、自發的ニ既ニ

之ヲ行ナツタ所ノ縣ガ地方ニ於テ十數縣ニ互ツテ居ルノデアリマス、其結果ニ鑑ミマシテ、前ノ内閣ノ時デアリマシタ早速農商務大臣ノ時デアリマシタ、國策トシテ之ヲ實行スルコトニ相成リマシテ、國家ガ之ニ對シテ相當ノ補助ヲナスコトニ相成ツテ、今デハ全國中デ僅ニ東京府ガ之ヲ實施シテ居ナイノミデ、他ハ全部之ヲ實施イタシテ居ルノデアリマス、而モ其成績ヲ見マスルト云フト、多クノ此問題ニ付テ餘リ多クノ經驗ヲ有セラヌ人ガ色々ニ心配サレルヤウナ點ハ皆杞憂ニ屬スルコトガ明カナリマシテ、其成績ハ實ニ見ルベキモノガアルノデアリマス、既ニ是ガ日本ノ國策トシテ行ハレテ居ルノミナラズ、世界ニ於テ、或ハ英吉利ニ於テ、或ハ佛蘭西ニ於テ、或ハ獨逸ニ於テ、或ハ伊太利ニ於テ、殆ド十數箇國ニ於テ既ニ國是トシテ之ヲ實行シツ、アル、モウ既ニ議論ノ時代ハ過ギマシテ實行ノ期ニ移ツテ居ルノデアリマス、而モ斯ウ云フ問題ガ私ハ單ニ時日切迫ノ理由デ審議未了ニ終ルト云フコトハ實ニ遺憾ニ存ズルノデアリマシテ、此意味ニ於テ私ハ此處ニ登壇ヲ致シタ者デアリマス、併ナガラ今回ノ提案ナルモノガ私ハ決シテ理想デアルトハ考ヘテ居リマセヌ、現ニ衆議院ニ於テ此問題ガ取扱ハレタ時分ニ、與黨ニ於テ、又新黨俱樂部ニ於テ希望條件ガ附イテ居リマス、其希望條件ヲ見マスと云フト、其重モナル點ハ現在行ハレテ居ル所ノ簡易保險ニ依ルモノハ其利子三朱五厘デアリ、今回行フモノハ五朱デアアル、斯カル不公平ナルコトヲスルノハイカナイ、之ヲ何トカ均一ニシナケレバナラヌト云フ所ノ希望條件ガ附イテ居リマス、又之ニ撤回ヲ迫ツタ民政黨ナルモノニ於テモ、矢張り同様ノ希望……デハナイ、理由ヲ附シテ撤回ヲ迫ツテ居ルノデアリマス、確カニ私ハ此處ニ大イナル缺陷ヲ見出スノデアリマス、殊ニ今度ノ三千万圓案ナルモノハ現在行ヒツ、アル所ノ簡易保險ノ案ト同ジヤウナ程度ノ補給ヲ致シマシテ、ドレダケ金ガ要ルカト申シマス、初年度ニ於テハ僅ニ三十九万圓ヲ要スルノミデアリマス、一番澤山利子補給ヲ要スル時ニ於キマシテ六百万圓ニ過ギナイノデアリマス、政府ハ何ガ故ニ是ダケノ金ヲ出スコトヲ躊躇サレタカト云フコトヲ私モ非常ニ怪シデ居ル一人デアリマス、併ナガラ私見方ニ依リマシテハデス、斯ウ云フ見方モ出來ルト思フ、今ノ政府ハ決シテ三千万圓デ満足ヲ致シテ居ルモノデハアリマセヌ、屢、質問應答ニ依ツテ其御意見ノ窺ハル、通り、又議會ニ提案セラレル前ニ世間ニ發表サレタル所ニ依リマシテモ是非八千万圓ヲ支出シナケレバナラヌト云フコトデアリマシタ、詰リ澤山、マダヨリ

多クノ計畫ヲ立テヤウト云フノニハ、澤山ノ經費ガ要ルト云フ意味デ此際假ニ政府ガ餘リ餘クノ補給ヲセズシテ一ツ步ンデ見タイ、或ハ試驗的ニ此提案ヲサレタノデハナイカト見テ居リマス、又見方ニ依リマシテハ所謂自給自足ノ方針ニ依リマシテ……總テノ事業ヲ補助デ以テ仕事ヲサセルト云フコトハ、一ツノ日本ノ通弊ト見テ宜シイ、今四分八厘ヲ預金部カラ借り入レテ、二步ノ鞘ヲ取ツテ、ソレデ以テ不可抗力ニ依ツテ損害ヲ來シタ時ノ補充ニ當テルト云フ計畫マデ含メル、サウシテ五朱デ貸付ケルト云フコトハ、或ル意味カラ言フト、日本ノ今日マデノ總テノ補助政策ヲ打破ツテ一ツ茲ニ自給自足ノ政治的ノ政策ヲ御立テニナツタトモ見得ルノデアリマス、斯ク考ヘ來リマスと云フト、マンザラ此五朱ノ政策ト云フモノモサウ一概ニ私共ハ排斥スベキモノデナイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、斯カル意味ニ於テ私ハ此提案ニ贊成ヲ致シタイノデアリマス、又次ニハ此三千万圓ノ計畫ナルモノハ小サイ、ヨリ大キクセナケレバナラヌト云フ聲ガ高イノデアリマス、私モ其感ヲ一ニ致スノデアアル、此三千万圓ノ計畫ニ依ツテ、出來上ルモノハ何デアルカ、結果ハ何デアルカト申シマス、三十五箇年掛カリマシテ僅ニ四十万町步デアリマス、今全國ニ於ケル所ノ小作地ノ總計ハ二百七十七万町步デアリマス、即チ一割六分ニ過ギナイノデアリマス、斯カル小規模ノ計畫ガ苟モ國策トシテ行フノニ、而モ國費ノ補助ヲ爲スコトナクシテ行フ所ノ計畫トシテハ、餘リニ小サイコトニ驚クノデアリマス、私ハヨリ大イナル計畫ヲ立ツテ貫ヒタイト云フコトヲ切ニ望ム一人デアリマス、併ナガラ茲ニ一ツ問題ニナルノハ、是ハ特ニ私ハ此點ニ向ツテ、私共ノ考ヘテ居ルコトヲ諸君ニ御話ヲ申上ゲテ教ヲ請ヒタイノデアリマス、衆議院ニ於ケル議論ヲ見マスと云フト如何ニモ此計畫ハ小サイ、ヨリ大イナル計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、而モ私ハ矛盾シテ居ル點ヲ見出ス、何デアルカ、此財源ハ預金部カラ出スコトニセナケレバナラヌ、公債ニ依ツテハナラナイ、斯ウ云フ條件ヲ附ケテ居ルノデアリマス、預金部ノ力ニハ限ガアリマス、是ハ少シ無理ナ注文デアリハスマイカト思フ、私ハ此財源ヲ見出スコトハ至ツテ容易デアル、所謂最初農林省デ御立テニナツタ所ノ農地金庫制度ヲ何ガ故ニ御採リニナラヌカ、農地債券ヲ發行ニナル所ノ制度ヲ御採リニナラナカッタカ、今回モ御立テニナツテハ居リマスルガ、是ハ唯恆久性ヲ持タス意味デ書イテ置イタノデ、事實ハ預金部カラ運用スルノデ、此債券ハ發行シナイト云フコトニシ

テ居ルノデアルト斯ウ言フテ居ルノデアリマス、何ガ故ニ斯ク御遠慮ナサルノデアルカ、此債券ヲ發行スルコトサハ認メレバ財源ハ幾ラデモアルノデアリマス、如何ニスルカト云ヘバ所謂地主ニ債券ヲ交付シタラ宜イノデアリマス、必シモ現金ヲ渡サナクテモ宜イノデアリマス、唯茲ニ於テ起ル所ノ問題ハ餘リニ公債類似ノモノヲ發行スルト云フト、金融界ヲ壓迫シヤスマイカト云フ問題ガ茲ニ起ルノデアリマス、地主ニ此債券ヲ發行スルノデアリマスカラ、其募集ト云フコトニ付テ市場ヲ壓迫スルコトノナイト云フコトハ明カデアリマス、唯問題ハ餘リニ公債類似ノモノガ殖エルト云フト現在アル所ノ公債ノ價值ヲ落シハセスカ、問題ハ唯是ダケガ殘ルノデアリマス、今度ノ案ニモ所謂假ニ發行ハセヌガ發行シ得ルコトニナッテ居リマス、此債券ニ對シテハ矢張り公債同様ノ優遇ヲ與ヘルコトニナッテ居リマス、例ヘバ公債ハ總テノ政府ニ對スル保證金ノ代用ニ使フコトガ出來マス、サウ云フコトガ明カニ出來ルヤウニナッテ居ルノデアリマス、私ハ必シモサウ云フ優遇ヲ與ヘル必要ハナイ、所謂現在不動産ガ金融界ニ於テ使ハレテ居ル狀態、モウ少シ分リ宜ク言ヘバ此債券ナルモノハ會テアッタ所ノ地券ト同ジヤウナ程度ノモノニ制限ヲシテ置イテ宜イト私ハ思フノデス、又斯ノ如ク制限サレタル債券ヲ受取ルコトハ困ルト云フ地主ニハ強制的ニ土地ヲ賣却サセル必要ハナイノデアリマス、斯ク考ヘ來リマシタナラバ此債券ヲ募集スルコトニ於テ、又ソレヲ市場ニ澤山出スコトニ於テ、決シテ市場ヲ壓迫スルト云フコトハ少シモナイノデアリマス、殊ニ私ハ此前兩稅委議案ノ時ニ大藏大臣ニ向ッテ公債政策ニ付テ質問ヲ致シマシタ、實ハ私ハ此自作農創定ノ時ニソレヲ應用シヤウト云フ考デ質問ヲ致シテ置イタノデアリマス、ソレハ何デアルカ、頻リニ三土藏相ハ生産的ノ公債ナレバ宜イ、此所信ノ下ニ或ハ電話ニ對スル所ノ公債又ハ復興ニ對スル所ノ公債又鐵道公債ノ如キハ、之ヲ募集スルコトヲ決シテ構ハナイト斷言ヲシテ居ラシヤッタノデアリマス、併シ私ハアノ時ニ御尋ラシテ置イタ、三土藏相ハ恐ラク生産的ノ公債ト云フコトト、償還財源ノ確實ナル公債ト云フコトトヲ混同シテ居ラシヤリハシナイカ、此點ヲ御尋シテ置イタノデアリマス、如何ニモ生産的ノ公債ト申シマス、名前ハ宜シイ、一時人ヲ迷ハスニ足リマス、併ナガラ生産的ノ公債必シモ償還ノ確實ナルモノデハナイノデアリマス、私共ノ見ル所ニ依ルト公債ハ生産ト不生産ト拘ラズ、要スルニ償還財源ガ確實デアッテ單ニ豫想デハイケマセヌ、十年、二十年、或一定ノ年限ヲ付

シテ必ず是ガ返ヘセルト云フ所ノ豫定、確定的ナ豫定ガ立ッナラバ、之ヲ募集シテモ宜イデハナイカト云フコトヲ私ハ御尋ラ致シタノデアリマス、然ルニ三土藏相ハ私ノ問ニ對シテ、然リ、斯ク我々モ考ヘテ居ルト云フコトヲ明答ヲ與ヘラレタノデアリマス、而シテ此意味ニ於テモ、先刻來申上ゲル通り過去ニ於テナシタ所ノ自作農創定ニ貸付ケタ所ノ金ハ、殆ド一文ノ滯納モ無イノデアリマス、農林省ノ調べニ依リマスト多少出テ居リマス、私共ノ縣ナシカデハ、私モ實ハ其方ノ委員ヲ致シテ居リマスルノデ實情ニ能ク通ジテ居リマスルガ、決シテサウ云フモノハナイ、各府縣ニ於テモ大體ナイ、併シ一二アリマス、總テ貸付ヲナスニハ漫然ト貸付ケルノデアリマセヌ、其土地ヲ擔保ニ取ッテ居ルノデアリマス、ソレヲ處分スル迄ノ腹ガ極マレバ勿論今日マデ一厘一毛不納ノナイ筈デアリマス、併ナガラ成ルベクナラバ、サウ云フ手段ヲ取ラズシテト云フコトデ、帳尻ニホソノ二三ノ縣ガ殘ッテ居ルト思ヒマス、外ハ總テ我ガ三重縣同様ノ成績ヲ收メテ居ルノデアリマス、確カニ償還デアッテ殊ニ此年賦償還ト云フコトニハ皆サンガ御考ニナル以上ノ良イ結果ヲ收メテ居リマス、毎年々々自分ノ借リタ元金ガ減ッテ行クノデアリマスカラ、ソコニ一種ノ樂ヲ見出シテ至極良イ結果ヲ見ルモノデアリマス、此點ハ茲ニ勸銀ノ馬場總裁モ居ラシヤイマスガ、私モ實ハ農工銀行ヲ經營シテ居リマシテ經驗ノアル者デアリマス、アノ財界ノ恐慌ノ時ニ勸銀又ハ全國ニ於ケル所ノ三十近クノ農工銀行ガ一行モ普通銀行ノ如ク打撃ヲ受ケナカッタト云フコトハ、此年賦償還ト云フコトニ基礎ヲ置イテ居ルカラノコトデアリマス、又アノ震災手形ノ償還ニ付テ十年ノ年賦償還ト云フコトヲ考ヘ出シタノモ、其當時ノ大藏當局ガ此經驗ニ基イテ、頻リニ此勸銀ナリ、農工ノ成績ヲ御調ニナッテ、サウシテアノ案ヲ御立テニナッタノデアリマス、殊ニ借リ入レタ土地ヲ抵當ニ入レテ年賦償還ヲサセルト云フコトニハ中ニハ之ヲ返スト云フコトニ不安ヲ懷イテ居ラシヤル方モアリマス、是ハ要スルニ試驗濟ミデアリマス、此點ニ付テハ御安心ヲ願ヒタイノデアリマス、斯ク考ヘ來マスト云フト、私ハ何ヲ苦ンデカ此財源ニ苦シムコトガアルカ、私ハ小作人ト地主ノ内閣ノ立テ、居ル案ノ如クニ利子ノ補給モシナイト云フコトデアレバ、唯僅ニ事務費ヲ要求シタラ宜イノデアリマス、私共今ノ程度ノ仕事ナラバ、今度ノ案ニハ各府縣ニ高等官ヲ一名ヅ、新規ニ置クト云フコトニナッテ居リマ

昭和四年三月二十五日

右特別委員長

公爵 一條 實 孝

貴族院議長公爵德川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミチ印刷シ其ノ他ハ之ヲ略ス小字ハ修正ニハ同割除ノ符號ナリ)

第三十二條 政府ハ買收鐵道ノ營業ノ狀況ニ基キ前條第一項第一號若ハ第二號又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル買收價額ニ其ノ百分ノ五以内ノ金額ヲ加算スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ金額ヲ加算スヘキ場合及其ノ割合ハ命令ヲ以テ定ム

第三十三條 第三十一條ノ規定ニ於テ益金トハ營業收入ヨリ營業費及賞與金ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合トハ三年間ニ於ケル每營業年度末ノ開業線建設費ノ合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノニ一年間ニ於ケル營業年度ノ數ヲ乘シタルモノヲ謂フ

建設費、營業收入及營業費ハ命令ノ定ムル所ニ依リテ算出シタル金額ニ依ル

第三十三條ノ二 政府ノ買收スル鐵道又ハ其ノ附屬物件ニ付買收ノ日ニ於テ補修ヲ要スルモノアルトキハ之ニ要スル金額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ控除ス

最近ノ營業年度末迄ニ爲スヘキ補修ヲ其ノ營業年度末迄ニ爲ササリシトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外之ニ要スル金額ヲ買收價額計算上ノ營業費ニ加算ス

第三十六條ノ二 第三十六條ノ三トシ同條第三項中「第三十一條第三項ノ規定ハ前二項ノ益金」ヲ「第三十三條ノ規定ハ前二項ノ益金、建設費」ニ改ム

第三十六條ノ二 前二條ノ補償金額ハ第三十一條乃至第三十三條ノ二ノ規定ニ準シテ算出シタル金額ヨリ殘存物件ノ價額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額ヲ控除シタル殘額以内ニ於テ政府之ヲ定ム

未タ工事ニ著手セサル線路ニ對スル補償金額ハ測量其ノ他ノ費用ヨリ殘存物件ノ價額ヲ控除シタル殘額ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル

スガ、必シモソシナ必要ハナイ、今ノ程度ナラバ……ヨリ仕事ノ分量ガ殖エレバ別デスケレドモ、或意味カラ云フト各府縣ニ於ケル所ノ農務課長ナドガ其仕事ヲ兼ネ、小作官ナドガ之ヲ助ケテ行ッタ方ガ色々ノ方面ニ聯絡ガアッテ、實際ノ成績ガ舉ガルノデアリマス、是ハ現ニ私ガ地方ニ於テ此問題ニ關係ヲシテ居ル立場カラ明カニ實驗ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ク論ジ來タリマス云フト、或ハ三千万圓ニ付テ反對ノ意見ヲ述ベタヤウニ御取リニナルカ知ラスガ、併シ私ハ斯ク考ヘテ居リマス、政治ノ要諦ト云フモノハ、必シモ理想ハ實現シナクトモ、現狀ヨリハ一步デモ進ンダナラバヨリ宜イ狀態デアッタナラバ、私ハ贊成ヲシテ宜イト考ヘテ居ルノデアリマス、現在ハ各地方ニ於テハ凡ソ三億圓ノ要求ガアルノニ、各町村ニ於テ之ヲ半分位ニ切下ゲ、ソレカラ各府縣更ニ選擇ヲシテ中央ヘ要求シタモノハ三千万圓カラアリマス、然ルニ僅ニ一千二百万圓程度ノ貸付ヨリシテ居ナイト云フヤウナ狀態デアリマス、然ルニ今茲ニ三千万圓ヲ増スコトガ出來マシタナラバ、其成績實ニ見ルベキモノガアルノデアリマス、私ハ此意味ニ於テ原案ニ贊成スル者デアリマス、先刻申上ゲタ事柄ハ此財界ノ事情ニ御經驗モアリ、又學問上ノ知識モ備ヘテ居ラシヤル方ノ前デ甚ダ失禮ノヤウデハアリマスケレドモ、私ハ自分ノ體驗上、又斯ク自信ヲ致シテ居ルノデアリマス、或意味ニ於テハ皆サンノ教ヲ乞ヒタイ、今茲ニ私ノ考ヘノアル所ヲ發表イタシテ置イタ次第デアリマス、又政府ニ於カレマシテハ幸ニシテ私共ノ申上ゲルコトニ見ルベキ點ガアリトシタナラバ、次ノ議會ニ於テハヨリ大ナル形ニ、ヨリ完全ナル形ニナッテ現レムコトヲ、切ニ御願申上ゲル次第デアリマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 三案ヲ一括シテ採決イタシマス、三案共委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 次ハ地方鐵道法中改正法律案、軌道法中改正法律案、非訟事件手續法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

地方鐵道法中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

ル金額以内ニ於テ政府之ヲ定ム
第三十五條及第三十五條ノ二ノ規定ハ前二項ノ補償金ノ支拂ニ付之ヲ準
用ス

第三十六條ノ五 第三十一條、第三十三條ノ二及第三十六條ノ二ノ國債時
價ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

軌道法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ報告候也

昭和四年三月二十五日

右特別委員長

公爵 一條 實 孝

貴族院議長公爵德川家達殿

非訟事件手續法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十五日

右特別委員長

公爵 一條 實 孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵酒井忠克君演壇ニ登ル〕

○伯爵酒井忠克君 只今提案ニナリマシタル三案ニ付キマシテ、時間モ切迫
シテ居ル際デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報
告イタシマス、地方鐵道法ノ改正セラレタル重モナル點ハ、此買收セラルベ
キ鐵道ノ營業狀態ガ、現在竝ニ將來ニ向ッテモ、尙ホ益、利益ノ増加スルヤウ
ナ傾向ノアル鐵道ニ向ヒマシテ、此度買收價格ノ百分ノ五ヲ増加シテ與ヘル
ヤウニ改正セラレタ所ガ一點デゴザイマス、尙ホ買收ニ當リマシテ、國債券
面ノ金額ヲ時價ニ換算シテ之ヲ買收スルト云フノガ、第二點デゴザイマス、
尙ホ地方鐵道ガ自己ノ鐵道ヲ更ニ延長シテ建設セムト致シマスル場合ニ、今
マデハ新線ハ利益ガ少ウゴザイマスカラ、別ノ會社ニ致シマシテ之ヲ建設シ
タノデアリマス、併シハ要ラザル費用モ掛ルノデアリマシテ、非常ニ建設

上不利ナル所ガアルノデゴザイマス、ソレ故ニ此度ハ此新線ニ對シマシテハ、
後配株ヲ認ムルコトト相成ッタノデアリマス、此三點ガ重モナル改正ノ要點デ
ゴザイマシテ、他ニモ五六點ノ改正ガアリマスルガ、ソレハ別段大シテ重要
ナモノデゴザイマセヌ、軌道法ノ改正モ地方鐵道法ノ改正ノ要點ト同様ナモ
ノデアリマスカラ別ニ申上ゲマセヌ、非訟事件手續法ノ改正ハ此地方鐵道法
ノ改正ニ伴ヒマシテ、一點改正ノ必要ヲ生ジ、之ヲ改正シタ次第デアリマス、
總テハ關聯シテ居リマス、質疑ニ入リマシテ、三回ノ御質問ガゴザイマシ
タガ、其一二ヲ御紹介申上ゲマス、現行法ノ買收ニ關スル規定ハ強制買收デ
アルガ、近頃ハ會社ノ方カラ買收ヲ要求シテ來ルモノガ殆ド總テノヤウナ狀
態ニアル、總テ此地方鐵道法ノ三十條ニ買收規定ガアルノデゴザイマスガ、是
ハ強制買收ノ規定デアルカラ、中ニ會社ニ依ッテ大シテ鐵道省ガ之ヲ買收スル
必要ハナイケレドモ、之ヲ放ッテ置ク場合ニハ、其會社ガ潰レルヤウナ狀態ニ
アル會社モアル、サウ云フ鐵道デアリマシテ、之ヲ省線デ買上ゲマスナラバ、
地方產業ノ開發竝ニ地方ノ交通上非常ニ便利ナモノガアルヤウナ場合ニハ之
ヲ強制買收ノ規定ニ依ッテ買收セズ、協定ニ依ッテ之ヲ買收スルヤウニ地方鐵
道法ノ中ヘ之ヲ一箇條入レタラドウデアラウカト云フヤウナ御質問モゴザイ
マシタ、併ナガラ政府ニ於テハ強制買收法ノ此中ヘ協定買收ニ付テノ法律規
定ヲ入レルト云フコトハ色々今マデ議論モアッタガ、非常ニ是ハ困難ナコト
デアルカラ、是ハチヨット今出來ナイト云フヤウナ御話モゴザイマシタ、尙ホ
之ニ關聯イタシマシテ、一委員カラ一ツノ質問ガアリマシタ、現行ノ強制買收
ノ規定以外ニ此協定買收ノ規定ヲ設ケル必要ハナイト自分ハ認メル、ソレヲ
會社ト鐵道省ガ豫メ協定ヲシテ、假契約ヲ結ンデ、サウシテ其理由ヲ以テ議
會ニ交付公債ノ發行ノ法律案ヲ提出シテ、而シテ兩院通過ノ曉ニ御裁可ヲ經
テ發布セラレタ場合ニ、其後ニ於テ交付公債ヲ與ヘレバ、ソレデ少シモ差支ナ
イデハナイカト云フヤウナ御質問デゴザイマシタ、政府ニ於キマシテハ御同
意ノヤウデゴザイマシタ、尙ホ後配株ノ規定ニ付テ御質問ガゴザイマシタ、此
度ノ地方鐵道法ニ設ケラレタ後配株ノ規定ヲ一般的ニ、何レノ會社ニモ之ヲ
適用シテハ如何ナルモノデアルカト云フ御質問デゴザイマシタ、之ニ對シマ
シテ、是ハ司法當局ノ御答デゴザイマシタガ、後配株ハ一般株トハ餘程違ッテ
居ル性質ノモノデアッテ、非常ニ是ハ不利益ナモノデアルカラ、一般ノ會社ニ
之ヲ適用スルト云フヤウナコトハ考ヘモノデアアル、若シ一般會社ガ此地方鐵

道ノヤウニ延長線ニ向ッテ後配株ヲヤル、發行ヲスル、サウ云フヤウナ特殊ノ状態ニアル所ノ事業ヲナス場合ニ於テナラ差支ナイガ、サウ云ウモノハ一般會社ニハ餘リ認メラレナイ、ソレデアルカラハ一般會社ニ適用スルヤウナ規定ヲ設ケルコトハ少シムヅカシイ、斯ウ云フヤウナ御言葉デ討論ニ入りマシテ、一委員ヨリ附帶決議ガ附ケラレマシタ、其附帶決議ヲ玆ニ朗讀イタシマス、買收價額ガ……モウ一ツ言ヒ落シマシタカラ申上ゲマス、討論ニ入りマシテ、修正ノ意見ガ出マシタ、買收價額ノ百分ノ五以内ノ金額ヲ加算スルト云フコトハ是ハ今日ノ私設鐵道ハ多ク自ラ買收ヲ要求シテ居ルヤウナ状態デア、而シテ鐵道ハ益、利益ヲ増加スルヤウナモノニ向ッテソレ以上ノ多クノモノヲ與ヘル必要ガナイ、現行法ニ依ッテノ加算ノ金ダケデ十分ニ株主モ損ヲスルヤウナコトハ決シテナイノデアルカラ、之ニ對シテ尙ホ百分ノ五以内ナドト云フ餘計ナモノヲヤル必要ハナイ、故ニ改正案ノ第三十二條ノ規定ハ是ハ削除シテ差支ナイト云フ修正說ヲ御出シニナリマシタ、是ニ付テ採決ヲイタシマシタ結果、政府提出ノ原案ノ第三十二條ヲ削除シテ全會一致ヲ以テ可決イタシタ次第デアリマス、尙ホ先程申上ゲマシタ附帶決議ヲ朗讀イタシマス

買收價額カ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ其ノ建設費以内ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トナス現行法ノ規定ヲ履行シ政府ニ於テ今後收益ノ少ナキ鐵道ヲ買收セムトスルトキハ豫メ會社ト協定ヲ遂ケ適切公正ナル價額ヲ定メ議會ノ協賛ヲ經ヘシ

斯ウ云フ希望條件デゴザイマス、尙ホ一委員ヨリ今回地方鐵道ノ買收案ガ議會ニ提出セラレテ既ニ貴族院ヲ修正ヲ以テ可決セラレ、現在兩院協議會ニ付議サレテ居リマス、此鐵道買收、買收鐵道ガ決定イタシマシタ場合ニハ今回買收スル鐵道ニハ現行法ニ依ッテ買收價額ヲ決定セラレタイト云フ、是ハ唯單純ナ御望ミデゴザイマシタ、此附帶決議竝ニ御希望ハ鐵道大臣ハ御同意ニナリマシタ、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 三案束ネテ問題ト致シマス、三案トモ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊岡隆督君 直ニ三案ノ第二讀會ヲ開ク動議ヲ提出イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 榊岡子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 三案トモ委員長ノ報告通りデ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊岡隆督君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 榊岡子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 米穀需給調節特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

右可決スヘキモノトナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十五日

右特別委員長

子爵 渡邊 千冬

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵渡邊千冬君演壇ニ登ル〕

○子爵渡邊千冬君 米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ審議ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ三月十九日以後六日ニ互リマシテ開會ヲ

致シマシテ、他ノ同一委員ニ付託セラレマシタ所ノ法律案ト共ニ質問ヲ繼續
イタシテ居タノデアリマスガ、本日討論ノ結果、附帶決議ト致シマシテ希望
條件ヲ附シテ全會一致ヲ以テ可決ニ相成ッタノデアリマス、本案ノ精神ハ申
上ゲルマデモナク誠ニ簡單ナモノデアリマシテ、米穀需給調節資金ノ借入限
度ヲ二億圓ヨリ二億七千萬圓ニ増加スルト云フ唯是ダケノコトデアリマス、
政府ハ本案ノ改正ノ理由ト致シマシテ、現在ノ資金借入限度ノ餘力ハ餘リ
ニ少ナイノデアルカラ、此際取敢ヘズ借入限度七千万圓ヲ増加イタシマシ
テ、米價ノ需給調節ニ差支ナカラシムルコトニ致シタイ、我國農村ノ現狀ニ
鑑ミマシテ此際是非トモ是ダケノ限度ヲ増加イタシタイ、是ガ提案ノ理由
デアリマス、本案ヲ審議イタシマス際、委員會ニ現レマシタ所ノ質問ノ二
三ヲ要點ダケ搔摘シテ御報告申上ゲマス、第一ハ從來ノ米穀法運用ノ效果ガ
餘リ舉テ居ラナイデハナイカ、斯ウ云フ質問デアアルノデアリマス、委員ハ從
來ノ米穀法ノ效果トシテ米價ノ調節ト云フモノガ餘リ其效ヲ奏シテ居ラナ
イ、今日ノ如キ非常ニ米價ガ低落イタシテ居ルノモ此米穀法ノ效用ト云フモ
ノガ餘リ發揮シテ居ラナイノデハナイカ、斯ウ云フ質問デアッタノデア
リマス、之ニ對シテ政府ハ今迄ノ米穀法ノ運用ニ依ッテ理想通り希望スル通り
ニ米價ノ調節ガ行ハレテ居ルモノトハ思ハナイ、併ナガラ此米穀法ノ運用
ヲ見テ以來米價ト云フモノガ非常ナル暴騰ヲ爲シ、非常ナル低落ヲ急激ニナ
スト云フコトハ無クナツテ、即チ米價ノ値幅ト云フモノガ小サクナッタノハ、確
ニ此米穀法ノ爲デアラウ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ニ米穀需給調節ノ標
準ハドウ云フコトデアアルカ、米ガ何圓以上ニナレバ之ヲ騰貴シタト看做シ、
何圓以下ニ低落スレバ餘リ下リ過ギタト見ルカ、斯ウ云フ質問ガアッタノデア
リマスガ、是ハ數字ヲ以テ何圓以上ヲ餘リニ高イ、何圓以下ヲ餘リニ安イト
極メルコトハ出來ナイ、米ノ生産費ト云フモノヲ計算ヲ致スコトハ甚ダムツ
カシイコトデアアル、又地方ニ依ッテ大變遷ッテ居ルノデアアルカラ之ヲ一概ニ何
圓ヲ以テ米ノ生産費ト見ルト云フコトモ困難デアアルガ、大體三十五六圓位ナ
所ガ先ヅ米ノ生産費ト見テモ大イナル相違ハナイ、併ナガラ其極々數字ヲ超
過スレバ直ニ高過ギル、ソレヲ下ニ潛レバ直ニ安過ギルト云フコトヲ極メ
ル譯ニハイカナイガ、是ハ達觀的ニ見テ若シ世ノ中ニ米ノ値段ガ高過ギテ困
ルト云フ聲ノ多イ時ニハ各種ノ事情ヲ參酌シテ高過ギルト見ルヨリ仕方ガナ
イ、又餘リニ低落ヲ致シテ農村ガ苦痛ヲ告ゲル時ニハ之ヲ安クナリ過ギタノ

デナイカト云フコトニ考ヘルヨリ外ハナイノデアリマスケレドモ、是等ノコ
トハ米穀委員會ニ諮問ヲ致シテ政府ハ出動スルノデアアルカラ、勝手ニ米價ヲ
調節スルト云フヤウナコトハナイノデアアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、七
千万圓ト云フ數字ヲ決定イタシタ其算出ノ根柢ハ何處デアアルカト云フ質問モ
アッタノデアリマス、此七千万圓ト云フ數字ハ、是モ強チ七千万圓アレバ米價
ノ調節ト云フモノハ完全ニ行ハレルト云フヤウニ、決定のニ數字ヲ定メルコ
トハ困難デアリマスケレドモ、現在餘力ガ約三千万圓近クアルノデアリマス
ガ、ソレト合セテ一億圓位アッタナラバ先ヅ大體應急ノ米穀調節ハ出來ルデア
ラウ、米ノ問題ヲ總テ解決イタスノハ、調査委員會ヲ設置スル積リデアアルカ
ラ、其委員會ニ於テ成案ヲ得ルニ非ザレバ、完全ナル調節ガ爲シ得ルモノト
モ思ヘナイゲレドモ、併ナガラ調節ヲ全ク行ハズニ、自然ニ放任シテ置クト
云フ譯ニモ行カナイカラ、先ヅ應急ノ便法ト致シマシテ、委員會ニ於テ成案
ヲ得ル迄、七千万圓ヲ増加シテ現在ノ餘力ト共ニ之ヲ資金ト致シテ調節ヲ
圖リタイ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ米ハ永ク貯藏ヲ致シテ置
キマスと云フト、或ハ蟲害ヲ被リ、或ハ米ガ古クナッタ爲ニ其品質ヲ惡ク致ス
憂ガアル、デ出來ルダケ、其損失ヲ少ク致スノニハ、ドウシテモ政府ハ米ノ
買換ト云フモノヲ適當ニ行ハナケレバナラナイガ、從來政府ハ餘リニ永ク米
ヲ保存シテ置キマス爲ニ、巨額ノ損失ヲ來スノデアアルカラ、此買換ト云フモ
ノヲ事情ノ許ス限リヤッテ見テハドウカト云フ質問ガアリマシタガ、政府モソ
レニハ同感デアアルト云フコトデアリマシタ、又農家ノ米ノ販賣ノ時期ニ付テ
モ色々ナ質問ガ出タノデアリマス、例ヘバ今頃ニナリマスと云フト、モウ米
ノ出盛リノ時カラ大分日子ヲ經過シテ居ルノデアリマシテ、米ト云フモノハ、
多クハ地主ノ手ニ入ル、又ハ米ノ商人ノ手ニ入ッテ居ルカラ、今頃調節ヲ唯安
イカラト云ッテ行ッテモ、全クソレハ農民ヲ救フト云フヤウナコトハ、出來
ナイト云フヤウナ意味ノ質問ガアッタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ近頃ハ
農業倉庫ト云フモノガ大分發達イタシテ居リ、其外農家經濟ガ發達シテ居ル
ノデアリマスカラ、小農ト雖モ相當ノ期間ノ間、販賣スベキ米ヲ貯ヘテ居ル
ト云フ狀態デアアル、斯ウ云フヤウナ答辯ガアッタノデアリマス、ソレカラ討議
ニ移リマシテ、更ニ委員ヨリ致シマシテ、從來米穀法ノ運用ニ付キマシテハ、
世上幾多ノ非難ガアル、又米穀法制定當初ノ目的モ完全ニ達シテ居ルモノト
ハ思ヘナイ、是レ即チ政府ニ於テモ調査委員會ヲ設ケル必要ヲ感ジタ所以デ

アラウト思フ、此調査委員會ヲ設ケテ、根本的ニ米ノ問題ヲ研究シテ、適當ナル成案ヲ得ルコトハ誠ニ結構ナコトデアツテ、自分モ同意デアルケレドモ、此年ノ七千万圓ノ増額ハ其調査會ニ於テ根本的解決案ヲ得ルマデノ便法トシテ、是ハ已ムヲ得ナイト認メル、是ガ最善ノ方法トハ認メナイケレドモ、之ヲ今日ノ儘ニ放任シテ置イテ、イツ急激ナル米價ノ騰落ガアルカモ知レナイ、而シテ特別會計ノ資金ハ今ヤ減少イタシテ僅ニ三千万圓ニ過ギナイノデアリマス、或ハ又飜ッテ農民ノ方ノ状態ヲ見マスト、近年米價ガ低落イタシタ爲ニ、農村ハ甚ダ疲弊ヲ致シテ居ルノデアリマス、此儘ニ放置シテ置キマシタナラバ、農村ハ衰頹スルカモ知レナイ、從テ農村ハ荒廢シ米ノ生産ニモ差支ヲ生ズルヤウナ虞モアルノデアルカラ、此際應急的ノ手段トシテ此七千万圓ノ増額ハ已ムヲ得ナイモノト認メル、唯從來ノ失敗ニ鑑ミ、米ガ今安イカラ直グ買入レヲ爲スト云フヤウナコトヲ致サズニ、資力補充ノ意味デ此案ニ賛成スルノデアルカラ、政府ハ能ク其意味ヲ帶シ急激ナル低落ノ場合ニ使用スルヤウニシテ貰ヒタイ、又從來行ハレタ所ノ米ノ買入賣却ハ米穀委員會ニ諮問ヲシナケレバナライガ、米ノ買換ハ其諮問ヲ致ス必要ガナイカラ、買換ト稱シテ買入レヲ爲スヤウナ場合ガアルヤウニモ思ハレルガ、是ハ甚ダ望マシクナイコトデアルカラ、此資金ヲ使用スルニ當ッテハ十分ニ注意ヲ致シテ貰ヒタイ、以上ノ理由ニ依リマシテ希望條件ヲ附帶決議トシテ提出サレタノデアリマス、而シテ委員會ハ全會一致ヲ以テ其希望條件ヲ附シテ、此原案ニ賛成ヲ致シテ可決ヲ致シタ次第デアリマス、其希望條件ヲ朗讀ヲ致シマス

本資金ノ増加ハ新ニ設ケラルヘキ調査委員會ニ依リテ米穀需給ノ調節ニ關スル根本方針ノ決定ニ至ルマテノ便法トシテ其間ニ於ケル米價ノ急激ナル低落ニ備ヘ其ノ生産ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキ場合ニ限り使用スヘキ用意トシテ止ムヲ得サルモノト認ム

然ルニ過去米穀法資金二億圓中六千餘萬圓ノ損失ヲ招キ更ニ七千万圓ノ増加ヲ要スルニ至リタルハ畢竟本法ノ運用其宜シキ得サルニ因ル、當局者ハ將來其運用上深甚ノ注意ヲ拂ハムコトヲ望ム

是ガ附帶決議デアリマス、右御報告申上ゲマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

〔男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵

○男爵阪谷芳郎君 チョット簡單ナコトヲ……只今御報告ニナリマシタ所ニ依リマス、大分大キナ損害ガアルヤウデアリマスガ、毎年平均ドノ位ノ損失ガアツテ、其償却ハ凡ソ一般會計ガドノ位負擔スルコトニナリマス、委員長ニ御尋ネ致シマス

○子爵渡邊千冬君 委員會ニ於テハ其質問ガ出ナカッタノデアリマス、委員長ハ毎年ドノ位ノ損失ガアルト云フコトハ承知イタシマセス、總額約六千万圓ト云フヤウニ承知イタシテ居リマスガ、政府ノ當局ノ方カラ明瞭ナ御答辯ガアリハシナイカト思ヒマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 從來ノ損失金ニ對スル御尋ネト存ジマスルガ、左様デゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 今委員長ノ報告ニ依ルト少ナカラズ損害ガ積リ積ッテ六千万圓ニナツテ居ルト云フコトデアルガ、凡ソ此法律ヲ實施スルニ付テ一箇年ドノ位損害ガ出ル見込デアルカ、其損害ヲ生ジタ場合ニ於テノ償却ハ無論一般會計ノ負擔トナルダラウガ、其償却方法ハドウナツテ居ルカ、サウ云フコトデアリマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 御答ヘ致シマス、從來ノ損失勘定トナツテ居リマスモノハ、今年ノ三月ノ勘定デハハッキリ致シマスケレドモ、其以前ハ昨年ノ十二月ノ勘定ト思ヒマスルガ、損失勘定ガ五千何百万圓ト云フコトニナツテ居リマス、併シ其損失勘定デ眞ニ米穀ノ買換ヘニ依ル所ノ損失ト云フモノハ、千六百万圓カ七百万圓ト記憶イタシマス、其外ハ倉庫ノ建設、ソレカラ借入金ノ利息、震災ノ損失金ト云フヤウナモノガ五千何百万圓ニ籠ッテ居リマス、眞ニ米穀ノ買換其他ニ依ッテ生ジタ所ノ損失ト云フモノハ千六百万圓カ七百万圓ト記憶イタシマス、詳シクハ今御入用デアリマスレバ調ベテ差上ゲマス、ソレ位ノ程度ト思ヒマス、而シテ是ハ其御承知ノ通り、今迄ハ一般會計カラハ補充スルコトニナツテ居リマセス、ソレ故ニ總テノ損失勘定ハ借入金デ其損失ヲ矢張り填メテ行ク、其利息其他ノコトト云フモノハ總テ借入金ニ依ッテ支辨シテ居ルト云フガ爲ニ此非常ニ大キナコトニナツテ居リマス、之ヲ此儘ニ致シテ、此制度ニ致シテ置キマスレバ借入金ニ依ッテ倉庫ノ建設費モ支辨イタシマスルシ、損失金モ支辨イタシマスルシ、又利息モ支辨イタシマスルシ、ソレガ皆借入金ニ依ッテ支辨イタシテ居リマス、其借入

金ニ對シテ亦更ニ利息ガ附イテ行ク、其利息ニ翌年カラ亦利息ガ附イテ行クト云フヤウナ理窟ニナツテ居リマスカラ、此儘デ行キマシタナラバソレハ大變ナ事ニナルノデス、事實ハサウ云フ勘定ニナツテ居リマスルガ、是ハ何トカ一般會計カラ負擔ヲシテ、一般會計カラ之ヲ償還シテ貰ハナケレバナラスコトニナルダラウト思ヒマスルガ、ソレ等ノ問題ガ即チ是カラシテ特別委員會ヲ設ケマシテ、審議ニ付シテ解決イタシタイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、元來立テ方ガ總テ何モ彼モ此特別會計デ支辨シテ行クト云フコトニナツテ居リマスガタメ、斯様ナコトニ來ナツテ來テ居ルダラウト思フノデアリマスルガ故ニ、何トカ是ハ方法ヲ立テナケレバナラヌト思フテ居リマス、此儘デ行キマシタナラバ、假ニ今迄ノ此溜ッテ居ルモノヲ一般會計カラ支辨シテ貰ヒマシテモ、更ニ亦翌年度カラ此通りノ狀態ニナツテ參リマスルノデ、是ハ年々一般會計カラ左様ナ損失ヤ事務費ト云フモノヲ總テ支辨スルト云フヤウナ方法ニ立直シマスカ、何カ致シマセヌト云フト、今溜ッテ居リマスル缺損金ヲ、之ヲ一時一般會計ニ肩替リヲ致シテ貰ヒマシテモ、將來此通りノ行き途デ行キマスレバ、又何年カシテ此通りニナツテ行クノデアラウト思ヒマスルノデ、ソレガ即チ審査會ヲ設ケテ審査ヲ致シテ貰ヒタイト云フ所デアルト御承知ヲ願ヒタイ

○男爵阪谷芳郎君 一向、甚ダ亂雜極マル會計ノヤウデアリマス、驚キ入ッタ譯デアリマス、既往ノ事ハ致方ナイト致シマシテ、既往ノコトハ致方ナイトシテモ、假ニ今年度ニ於テハドノ位ノ損ガ出ル見込デアリマス、大凡結局ハ一般會計カラ辨償スルヨリ仕方ガナイ、矢張り國民ノ負擔ニナルノデスカラ、一年ニ何千万圓モ損ガ出ルト云フコトデアレバ、地租ヲ取ッテモ、地租ヲマルデ還シテモ足ラヌト云フコトニナツテシマフ、デ只今ノ所ハ既往ノ分ガ籠ッテ居ルカラ金高ガ大キイ、是ハマアサウナルダラウト思フ、既往ノコトハ仕方ガナイトシテ、此四年度ニ於テドノ位ナ損ガ出ルノカ、假ニ五百万圓出ルトカト三百万圓出ルトカト云フヤウナ御見當ガアリサウナモノダト思フノデスカ、ソレニ付テノ御見込ハ如何デスカ

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 御答ヘ致シマス、大體其米ノ賣買ニ依ッテ生ジタ所ノ確カ米穀法設置ハ大正九年ト思ヒマスガ、ソレ以來ノ分ハ千六七百万圓トナツテ居ルヤウデアリマス、今日ニ至ル迄五千何百万圓ノ穴ガ明イテ居ルト

云フヤウナ何ガアリマスガ、ソレニハ色々外ノ勘定ガ這入ッテ居リマス、利息トカ倉庫ノ建設トカ、色々ノコトガ這入ッテ居ル、眞ノ米ノ賣買ニ依ッテ損失ト云フモノハ千數百万圓デアルヤウデアリマス、此大正九年以來、而シテ此内閣ニナツテ損失ト云フモノハマダ分ラヌノデ、是ハ米ヲ賣ッテ見ナケレバ分リマセヌガ、買上ゲテ以來米ガ其後下ッテ居ルヤウデアリマスガ、又上ルカモ知レマセヌガ、是ハ三月末日ニナルト云フト、大體見積決算ト云フモノガ出來マスノデアリマスケレドモ、是ハ六百万圓ノ損失ニナルカ、或ハ五百万圓ノ損失ニ止マリマスカ、或ハソレ以上ニナリマスカト云フコトハ、今三月末日ノ決算ヲ見マセヌト云フト能ク分リマセヌコトデゴザイマスガ、或ハ之ヲ持越シマシテ、今年ノ秋ニ凶作ニナリマシテ米ガ暴騰スレバ、已ムヲ得ズ賣出サナケレバナラヌ、是ハ已ムヲ得ナイ、賣出シマシタナラバ又多少ノ利益ガ出ルカト云フコトモ、必シモナイトハ限リマセヌノデ、今ノ所デハ何トモ申シ兼ネルノデアリマス、今現在持ッテ居ル所ノ米ニ對シマスル損益ト云フモノハ今申上ゲ兼ネマスガ、現下ノ所デアリマス云フト、今申シマシタ通り此千六七百万圓ガ米穀特別會計設置以來ノ米ノ賣買ニ依ッテノ損失ニナツテ居ルヤウデアリマス、併シ此後ドレダケノ損失ガ出ルカト云フコトハチヨット申上ゲ兼ネマス、是カラ假ニ此ナニガ通過イタスト致シマシテ、必シモ米ノ調節ニ出掛ケルカドウカト云フコトモ、是モマダ必シモ決シテ居ル次第デモナイノデアリマシテ、從ヒマシテ此後ドレダケノ損失ガ出ルカ、或ハドレダケノ利益ガ出ルカト云フヤウナコトハ、チヨット今ノ所申上ゲ兼ネルヤウニ思ヒマスノデ、ドウデゴザイマセウカ其ナニハ、損失ガドレダケ出ルカト云フ御尋ノヤウニ承リマシタガ、左様デゴザイマスガ、ソレダト云フトチヨット御答ヘ致シ兼ネマス

○男爵阪谷芳郎君 只今委員長ノ報告ニナリマシタ所ニ、希望條件ノヤウナ嚴シイモノガ附イテ居リマスガ、其希望條件ニハ政府ニ於テモ御同意デアルト云フコトデアル、サウナレバ三千万圓アレバ無論差支ナイヤウニ思フ、是カラ調査會ヲ開カレテ、調査會ガ十分適切ナル制度ヲ設ケテカラ、尙ホ七千万圓ナリ一億圓ナリ入用デアルト云フコトナラバ、ソレハ又考ヘヤウモアリマスケレドモ、只今ノ御答辯ノ如キ亂雜極マルヤリ方デアッテ、三千万圓餘ッテ居ルモノデスラ本員ハ少シ惜シイヤウニ思フ、三千万圓ヲ以テ御調節ヲナサツテ、而シテ緊急止ムベカラザル非常ナ事柄ガ起ッタ場合ニハ又非常ナル場

合ニ處スル法律ナリ、憲法ナリニ依ル規定モアルノデアリマスカラ、何モ此際今農林大臣ノ御答ノヤウニ、チットモ見當ノ付カヌ亂雜ナル制度ノ下ニ七千万圓ヲ御要求ナサル必要ハナイヤウニ思フ、若シ今ノ三千万圓デ以テ儉約ニ使ツテ置カレテ、緊急止ムベカラザル非常ナ事件ノ起ツタ時ニハ、其非常ノ場合ニ處スル臨機ノ處置ヲ御執リニナツタラ何等差支ナイヤウニ思フノデアリマスカ、ソレデハイケナイノデアリマスカ

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 御承知ノ通りニ現在ノ餘カト云フモノハ少クナツテ居リマス、之ヲ今日調節ノ爲ニ抛リ出シタト致シマシテモ、私ハ此效果ハナイト思ツテ居ルノデス、何故ト言ヘバデス、市場ハ是ダケ投出シテシマヘバ後ハ政府ガ餘力ガ無イト見タ時ニハ、政府ノ内兜ヲ所謂見透シテ居ルノデ、是ダケノモノヲ買上ゲラシタ所デ何ノ效力ハアリマセヌ、後ガ續クト思ヘバコソ效力ガアリマスケレドモ、是ダケノモノシカナイ、是ダケヲ投出シテシマヘバ後ハ何モナイト思ヘバ、ソレハ何ニモ相手ニモ何ニモシヤシマセヌ、ソレ故ニ是ダケノモノヲ持ッテ行ッテモ、是ダケノモノヲ使ッテ何ノ效力ガアリハシマセヌ、マダ餘力ガアルト云フコトヲ見セテコソ、初メテ市場ニ效力ガアル、是ハ阪谷サンナドハ御承知デアラウト思ヒマスシ、是ハマア色々人氣モアリマスノデ、ソコノ所ヲマア一ツ御諒解ヲ願ヒタイノデス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發言モナイト認メマスカラ、本案ニ付テ採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 子爵榊岡隆督君 賛成
- 議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 子爵榊岡隆督君 賛成
- 議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

- 伯爵堀田正恒君 此際日程ヲ變更セラレ日程第三十ヨリ第七十マデ會議ニ上程セラレムコトヲ希望イタシマス

- 子爵八條隆正君 賛成

- 議長(公爵德川家達君) 堀田伯爵ノ議事日程ヲ變更シテ、日程第三十ヨリ第七十マデ上程スルト云フ動議ニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

- 議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

- 議長(公爵德川家達君) 日程第三十、議院建築速成ニ關スル建議案、公爵近衛文麿君外七名發議、會議、建議案ノ朗讀ハ省略イタシマス

〔左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

- 議院建築速成ニ關スル建議案
- 右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也

昭和四年三月十九日

發議者

- 公爵 近衛 文麿 公爵 一條 實孝 侯爵 鍋島 直映
 - 伯爵 堀田 正恒 男爵 木越 安綱 和田 彦次郎
 - 添田 壽一 川崎 卓吉
- 賛成者

公爵 鷹司 信輔	侯爵 山内 豐景	侯爵 西郷 從德
侯爵 小村 欣一	侯爵 細川 護立	侯爵 大隈 信常
侯爵 德川 賴貞	伯爵 柳澤 保惠	伯爵 松平 賴壽
伯爵 小笠原 長幹	伯爵 二荒 芳德	子爵 大久保 立
子爵 青木 信光	子爵 牧野 忠篤	子爵 大河内 正敏
子爵 伊集院 兼知	子爵 藪 篤麿	子爵 大河内 輝耕
子爵 伊東 二郎九	子爵 花房 太郎	子爵 渡邊 千冬
子爵 鍋島 直繩	子爵 舟橋 清賢	大島 健一
嘉納 治五郎	犬塚 勝太郎	土方 寧
石塚 英藏	小松 謙次郎	男爵 南部 光臣
男爵 高木 喜寛	藤田 四郎	石渡 敏一
阪本 鈺之助	橋本 圭三郎	南 弘
湯淺 倉平	室田 義文	菅原 通敬
湯地 幸平	森 平兵衛	大川 平三郎
花井 卓藏	山田 惠一	松本 勝太郎
濱口 儀兵衛	小林 嘉平治	

貴族院議長公爵徳川家達殿

議院建築速成ニ關スル建議
政府ハ議院建築工事ノ進捗ヲ圖リ速ニ之カ完成ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔伯爵堀田正恒君演題ニ登ル〕

○伯爵堀田正恒君 只今日程ニ上ボリマシタ案ノ提案ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、新議院ノ建築ハ御承知ノ通りニ大正七年豫算額七百五十万圓、十年ノ繼續事業トシテ著手サレマシタノデアリマス、併ナガラ其後物價騰貴、或ハ時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、設計ノ變更等ニ依リマシテ、豫算額ハ二千九百万圓ニ増額サレマシタ、併ナガラ繼續年限ハ延長セラレマシテ、昭和十年度ニナリマシテ初メテ完成スルコトニナッタノデゴザイマス、即チ十九年間カリマシテ新議事堂ハ出來ルコトニ相成ッタノデゴザイマス、斯ノ如キハ財界緊縮ノ折カラシテ誠ニ已ムヲ得ナイカトモ存ジマスルケレドモ、又翻ッテ考ヘ

マスレバ此永イ十九年ノ間ニ要シマスル事務費、或ハ保存費ハ可ナリ莫大ナモノデ、而シテ誠ニ一面カラ申シマスレバ不經濟ノヤウニ感ゼラレルノデゴザイマス、能ク人カラ申サレマスルガ、永田町ニ峨々トシテ聳エテ居リマスルアノ鐵骨ガ、年々錆止メトシテ要セラル、「ペンキ」其他ノモノハ可ナリノモノデアラウ、又十九年モカカッテ完成セラレルノハ誠ニ御上ノ仕事デアルト言ハレテモ、我々ハ辯解ノ言葉ガナイノデゴザイマス、加之御承知ノ如ク大正十四年ノ秋ニ此議事堂ハ不幸ニシテ火災ニ遭フタノデアリマス、而シテ僅カ八十日ノ間ニ此假建築即チ「バラック」ガ出來上ッタノデゴザイマス、マダ竣功シナイ先カラシテ修繕ヲシナケレバナラナイト云フ始末デゴザイマシテ、年々相當ノ修繕費ヲ要シテ居リマス、尙ホ今後昭和十年マデ年々修繕及維持費ハ相當ニ要ルコト存ジマスルガ、是亦國家經濟上カラ申セバ甚ダ不利益ノヤウニ感ズルノデゴザイマス、尙ホ此「バラック」ハ當時七十六万圓及設備費ガ二十万圓餘デ、合計九十六万餘圓デ完成シタノデゴザイマスルガ、若シモ不幸ニシテ又火災ニ遭フト致シマスレバ、又百万圓近クノ金ヲ要シテ、此「バラック」ミタイモノヲ造ラナケレバナラヌト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、是等ノ點ヲ考ヘマスルト、昭和十年マデ、即チ十九年モカカッテ新議事堂ヲ造ルト云フノハ誠ニ不經濟ノ話デアルト我々ハ感ズルノデゴザイマス、尙ホ此議院ハ明治二十三年ニ議事堂ガ出來マシタ其儘ノ基礎ノ上ニ築キ上ゲラレテ居ルノデゴザイマシテ、我々ト致シマシテ、議政ヲ談ズル上ニ於キマシテモ、又我々ガ控室或ハ人ニ面會スル際ニ於キマシテモ、日々ニ我々ハ不便ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、即チ我々ハ議政ノ運用ノ上カラ致シマシテモ、速ニ新議院ヲ建築シテ戴キタイト存ズルノデゴザイマス、衆議院ニ於キマシテハ既ニ建議案トシテ二回、決議案トシテ今年一回、貴族院ニ於キマシテハ豫算委員會ニ於キマシテ數度此意味ヲ以チマシタ御質問ガゴザイマシテ、先頃モ豫算委員長カラシテ、此意味ノ御質問ノアッタコトヲ御報告ニナリマシタノデゴザイマス、尙ホ從來豫算委員會ニ於キマシテ此意味ノ希望決議ト致シマシテ、第五十回議會並ニ第五十二回議會ニ於キマシテ、希望決議トシテ豫算委員長カラシテ此席デ御報告ニナッテ居ルノデゴザイマス、今回我々ハ多數ノ御賛同ヲ得マシテ、議院建築速成ノ建議案ヲ提出イタシタノデゴザイマスルガ、ドウカ速ニ御審議ノ上御賛成アラムコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言者モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十一、外人來遊ニ關スル建議案、公爵一條實孝君外五名發議、會議

外人來遊ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也

昭和四年三月二十二日

發議者

公爵一條實孝 伯爵堀田正恒 伊澤多喜男
男爵藤村義朗 石渡敏一 松本勝太郎

贊成者

公爵近衛文麿 男爵木越安綱 子爵青木信光
子爵牧野忠篤 子爵秋月種英 子爵片桐貞央
子爵大河内輝耕 子爵白川資長 子爵野村益三
大島健一 眞野文二 男爵坂本俊篤
男爵幣原喜重郎 男爵阪谷芳郎 和田彦次郎
石塚英藏 小松謙次郎 上山滿之進
若槻禮次郎 男爵船越光之丞 男爵千秋季隆
男爵中島久萬吉 男爵黒川幹太郎 男爵長松篤業
男爵上田兵吉 男爵福原俊九 男爵赤松範一
男爵野田龜喜 男爵藤堂高成 男爵東郷安
男爵伊藤文吉 男爵辻太郎 男爵寺島敏三
男爵北島貴孝 男爵高木喜寛 男爵佐藤達次郎
男爵大寺純藏 藤田四郎 鮫島武之助
阪本鈺之助 倉知鐵吉 中村純九郎
南弘 湯淺倉平 竹越與三郎
川上親晴 赤池濃 服部金太郎
稻畑勝太郎 尾崎元次郎 坂田貞

田村新吉 小林嘉平治 野村徳七
山上岩二 貴族院議長公爵徳川家達殿

外人來遊ニ關スル建議

外人來遊ニ關シ適當ノ施設ヲ講ズルハ我國ノ事物ヲ廣ク海外ニ紹介シテ相互ノ諒解親善ニ寄與スル所尠カラズト信ズ依テ政府ハ外人來遊ニ關スル調査及實行ヲ圖ルベキ中心機關ヲ設立シ以テ其ノ目的ノ達成ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔男爵藤村義朗君演壇ニ登ル〕

○男爵藤村義朗君 本建議案提出ノ趣旨ヲ提出者ノ一人ト致シマシテ極ク簡單ニ端折ッテ申上ゲマス、我國ノ如ク歐米ノ諸國ト懸ケ離レマシテ遠ク東洋ノ一隅ニ偏在イタシテ居リ、且ツ彼等トハ全ク其國情風俗等モ異ニシテ居リマス我々國民ニ取リマシテハ、彼我ノ國民間相互ノ理解親交ヲ得マスコトハ、國際親善融和ノ上カラ考ヘマシテ最モ必要ノコトデアラウト思フデアリマス、即チ直接相知リ合フト云フコト、ソレニハ出來ルダケ多數外人ノ本邦來遊ニ依リマシテ、彼我ヲ知り、我ハ彼ヲ知ルト云フコトガ、親善ニ最モ有效ナル手段デアルカノヤウニ存ズルデアリマス、而モ今日ハ日本ハ世界ノ日本ト致シマシテ、彼等外人ハ日本ヲ研究スルト云フ念慮ガ頗ル動イテ來テ居ル、彼等ハ我々日本ヲ知リタガッテ居ル、サウシテ知リカケテ來テ居ル、從ヒマシテ日本ヲ訪問シテ見ヤウト云フヤウナ心持ガ頻ニ湧イテ參ッテ居ルノデアリマス、國際親善ノ楔ト致シマシテ我々ハ如何ニモシテ外人ノ本邦來遊ヲ希望シ、歡迎シナケレバナラスト存ズルデアリマス、一面我々ハ國家經濟ノ振興ノ見地カラ致シマシテ、外國旅客ノ來遊ヲ喜ブベキ理由ガアルト思フテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り我ガ外國貿易ハ特殊ノ場合ノ外ハ、年輸入超過ノ趨勢ヲ辿ッテ居ルノデアリマス、是ハ日本ノ今日ノ狀態ニ顧ミマシテ、誠ニ残念デハアリマスルケレドモ已ムヲ得ナイコトト存ジマス、將來我ガ商工業ガ非常ニ發展ヲ致シマシテ、外國貿易ノミデ輸出超過ヲ見ルニ至ルマデハ、ドウモ此今日ノ輸入超過ノ狀態ハ永續スルモノト覺悟シナケレバ

ナラスト思ヒマス、サレバ我々ト致シマシテハ國際收支ノ均衡ヲ、外國貿易以外ノ收入ニ俟タネバナラスト云フコトハ自明ノ理デアリ、且又我國ノ繁榮ノ上カラ、絶對ニ必要ナル案件デアリマス、此意味ニ於キマシテモ、多數外人ノ來遊ハ決シテ閑却シ能ハザル最モ重要ナル案件デアラウト思フノデアリマス、又我國ガ世界無二ノ觀光國タル資格ヲ持ッテ居リマスコトハ申ス迄モナク、内外共ニ認メテ居ル所デアリマシテ、而モ只今申シタ通りニ國際のニモ又國家のニモ外人歡迎ノ必要ガアルニモ拘ハリマセズ、之ニ要スル設備機關ノ如キハ殆ド今日ニ於キマシテハ何物モナイノデアリマス、外人歡迎ニ關スル一ツノ統制的中心機關モナイ、一ツノ國民の宣傳ノ機關ノ設ケスラナイ、一千人ノ旅客ヲ一時ニ收容スル「ホテル」ノ設ケサヘナイ、又極端ニ申セバ、外國人ニ向ッテ便利ナ「ガイド・ブック」ノ備ヘサヘナイノデアリマシテ、全國到ル所ニアル名勝史蹟ニ於キマシテハ、殆ド何等ノ特別ノ施設モナイ、各種ノ交通機關或ハ「ホテル」等ノ聯絡協調ノ如キコトモ、少シモアリマセヌ、其設備用意ニ至リマシテモ誠ニ不十分デアリマス、加之一般國民ノ外人歡迎ニ關シマスル意思モ誠ニ無感覺、無知識ノヤウニ思ハレルノデアリマス、斯様ナ有様デゴザイマスルト、折角參ラウトシテ居ル外人モ、ツイ他ノ方ニ參ルヤウニナリ、長ク日本ニ滞在シテ居ラウト思フ人々モ、忽ニシテ國外ニ去ッテシマフ、日本ノ自然ノ風景ハ極メテ優秀デゴザイマスケレドモ、施設ノ不十分、或ハ冷淡ナ感情ハ、其自然ノ美ノ大半ヲ不愉快ニシテ反感ヲ起サセルト云フヤウナコトガアリ得ルノデアリマス、ソレ等ノ實例ハ澤山ゴザイマスケレドモ、時間ヲ憚リマシテ詳シクハ申上ゲマセヌ、勿論個々ニ付キマシテハ、色々ノ設備等ニ付テ多少ノ努力ハ、今日デモ致シテ居ルデゴザイマセウケレドモ、ソレ等ハ多クハ物質本位ノ、所謂客引本位、客引主義ノ範圍ヲ出マセヌ、國民全體、大臣デモ、車掌デモ、或ハ小學校ノ先生デモ、交番ノ巡查デモ、野ニ耕ス百姓デモ、道ヲ行ク學生デモ、悉ク國民全體ガ皆能ク此外人ノ歡迎ノ趣旨ヲ諒解イタシマシテ、心持ノ好イヤウニ設備ヲ整ヘ、便利ニ愉快ニ且ツ經濟的ニ心カラナル用意深切ヲ以テ彼等ガ外人ヲ歡迎シテ、初メテ國際親善社會公益ノ實ヲ舉ゲ得ルノデアルト思フノデアリマス、此外客誘引ノ方針ヲ實行イタシマスルガ爲ニハ、茲ニ一個ノ中心機關ヲ設ケマシテ、官民公私ノ共同協力ニ依ッテ、内ハ國民ノ理解ヲ促シ、外ハ有效ナル宣傳紹介ニ努メマシテ、殊ニ必要ナル諸般ノ整備改善ヲ促進スルト云フコトガ、極メ

テ緊要ナル急務デアルト我々ハ考ヘマス、故ニ私共ハ此際政府ニ於キマシテ、是等ノ調査及實行ノ爲ニ適當ナル機關ヲ設ケラル、コトヲ御考ヲ願ヒタイト云フ熱心ナル希望ノ下ニ本建議案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、ドウゾ滿場各位ノ御賛成ヲ得マシテ、其實現ヲ期シタイト存ズル次第デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十二ヨリ第五十マデ請願、會議

意見書案

漁業組合指導施設改善ノ件

東京市麴町區内山下町帝國水產會會長男爵村上隆吉呈出

右ノ請願ハ漁業組合ハ漁村發展ニ資スル唯一ノ經濟機關タルニ拘ラス是ニ對スル指導施設ハ甚不十分ナルヲ以テ中央及地方ニ於ケル該施設ヲ充實改善セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

船員保險法ニ關スル件

東京市麴町區内山下町帝國水產會會長男爵村上隆吉呈出

右ノ請願ハ近ク制定セラレムトスル船員保險法案ハ一般船員ト事情ヲ異ニスル漁船員ニ對シテハ權衡上不適當ナルモノ尠カラサルノミナラス未信憑スヘキ調査ナキヲ以テ尙之ヲ考慮セラレタク而テ其ノ制定ニ當リテハ漁業法第四十條ノ勅令ヲ公布スルト共ニ同法案ノ資料ヲ帝國水產會ニ内示シテ意見ヲ徵セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

青森海軍部出張所ヲ札幌遞信局ノ管轄ト爲スノ件

北海道函館市函館商工會議所會頭坂本作平外九十二名呈出

右ノ請願ハ政府ハ昭和四年度ニ於テ青森港ニ海軍部出張所ヲ新設スルノ企圖アリト聞クモ同港カ仙臺遞信局ノ管内ナル爲該海軍部出張所ヲ同局管轄トセムカ斯クテハ古來經濟上、交通上並執務上密接ノ地理的關係アル函館地方官民ノ不利不便尠カラサルハ海軍行政上甚遺憾ナルヲ以テ之ヲ札幌遞信局ノ管轄トセラレタク同時ニ新設セラルヘキ清水海軍部出張所ヲ東京遞信局ヘ既設新潟海軍部出張所ヲ仙臺遞信局ヘ移管セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

群馬縣下ノ大正用水掘鑿ニ關スル件

群馬縣佐波郡赤堀村平民農織田敏太郎外六百七十四名呈出

右ノ請願ハ群馬縣赤城山南麓約七千町歩ハ良野ナルニ拘ラス灌漑ノ便惡ク爲ニ毎年多大ナル旱害ヲ蒙リツツアルハ農村振興上甚遺憾ナルヲ以テ所謂大正用水ヲ速ニ掘鑿セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

盲及聾啞學齡兒童義務教育制定ノ件

東京市小石川區雜司ヶ谷町教員秋葉馬治外二百五十名呈出(三通)

右ノ請願ハ我國ニ於ケル盲及聾啞學校ノ現狀ニ徴スルニ其ノ學齡兒童ノ就學スルモノ僅少ナルハ教育振興上甚遺憾ナルヲ以テ義務教育制度ヲ制定スルト共ニ適切ナル學校及寄宿舎ヲ設立シ是等兒童ニ學資ヲ補給スル等普通教育ノ普及ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

財團法人日本少年指導會ニ對シ助成金下付ノ件

東京府豊多摩郡和田堀町陸軍中將橋本勝太郎外三十九名呈出

右ノ請願ハ在郷陸海軍將校有志ノ設立シタル財團法人日本少年指導會ハ専ラ不良少年ノ保護感化ニ努メ其ノ成績見ルヘキモノアルニ拘ラス財力常ニ乏シク事業經營上所要ノ施設ヲ爲シ能ハサルハ甚遺憾ナルニ依リ同會助成金トシテ年額五萬圓宛ヲ國庫ヨリ下付セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

津山區裁判所出張所設置ノ件

岡山縣久米郡加美村長池上眞通外三名呈出

右ノ請願ハ岡山縣久米郡加美村附近ハ近時交通網完備シ從テ諸種ノ事業著シク發展スルニ伴ヒ權利得喪ニ關スル件夥多ナルニ拘ラス從來所管ノ登記所ノミニテハ處理上支障多ク住民ノ不利不便甚シキニ依リ加美、打穴、大坪和、三保ノ四村佐良山村ノ内大字福田、大字高尾及吉岡村ノ内大字塚角、大

字八神ヲ管轄區域トスル津山區裁判所加美出張所ヲ昭和四年四月同村ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

和歌山縣有田郡五西月村大字青田ニ無集配郵便局設置ノ件

和歌山縣有田郡五西月村長上田新太郎外一名呈出

右ノ請願ハ和歌山縣有田郡五西月村及其ノ鄰接部落鳥屋城村大字小川、大字伏羊及岩倉村大字立石ハ近時人口多ク且產業發達ニ伴ヒ遞信事務多キニ拘ラス最寄郵便局ヲ距ルコト遠ク住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同村大字青田ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

霧多布燈臺建設ノ件

北海道厚岸郡濱中村漁業岩谷重吉外三十三名呈出

右ノ請願ハ北海道厚岸郡濱中村霧多布港ハ釧路港ト根室港トノ中間ニ位スル要港ニシテ又從來北海道廳ノ命令航路港ナリ加之曩ニ捕鯨場ノ設置以來寄港船舶愈激増ノ状態ニ在ルモ灣口ニ暗礁アリテ危險甚シク航行上不安ナルニ依リ霧多布岬端ニ相當ナル燈臺ヲ建設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

名寄區裁判所出張所設置ノ件

北海道紋別郡瀧上村農並木彌三郎外百十二名呈出

右ノ請願ハ北海道紋別郡瀧上村ハ近時戸口増殖シ諸取引亦頻繁ニシテ登記事務夥多ナルニ拘ラス管轄名寄區裁判所紋別出張所ヲ距ルコト遠ク殊ニ冬季ノ如キ交通一層困難ヲ來シ村民ノ不利不便尠カラサルハ地方開發ノ進展上甚遺憾ナルヲ以テ同村ニ區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

糶薄播獎勵ニ關スル件

大阪府泉北郡高石町財團法人富民協會理事長本山彦一呈出

右ノ請願ハ稻作ノ增收ヲ圖ルハ苗代ニ於テ糶ヲ薄播シ以テ剛健ナル苗ヲ養成スヘキニ拘ラス一般農家ノ未之ヲ實行スルモノ尠キハ農村經濟上甚遺憾ナルニ依リ速ニ糶薄播ノ普及ヲ期スル爲苗代ノ播種量ヲ限定シ且ツ府縣ヲシテ各地ニ模範苗代ヲ設ケ優良苗ヲ配給スル等適當ノ方策ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

岩見澤區裁判所出張所設置ノ件

北海道夕張郡長沼村長渡邊喜惣治外三百七名呈出

右ノ請願ハ北海道夕張郡長沼村地方ハ人口多ク近時産業ノ發達ニ伴ヒ登記事務夥多ナルニ拘ラス管轄岩見澤區裁判所由仁出張所ニ達スル距離遠ク住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ同村市街地ニ同區裁判所出張所ヲ設置セラレタク廳舍及敷地等ノ所要ハ應分ニ負擔スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

落石燈臺ニ霧笛及納沙布水道ニ航路標識設置ノ件

北海道根室郡根室町長本橋貞七呈出

右ノ請願ハ北海道根室國納沙布水道ハ通航船舶多キニ拘ラス其ノ通路狹隘、潮流急激ナルノミナラス夏期海霧ノ襲來アリテ遭難船舶尠カラス爲ニ航海業者ノ不安甚シク延イテ同地方ノ開拓ヲ阻礙スルハ遺憾ナルニ依リ速ニ該水道ニ適當ナル航路標識ヲ設クルト共ニ落石燈臺ニ霧笛ヲ附設シ以テ航路ノ安全ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

北海道中川郡西足寄村ニ登記所設置ノ件

北海道中川郡西足寄村長三浦十郎外二名呈出

右ノ請願ハ北海道中川郡西足寄村附近ノ地方ハ近時拓殖ノ進展ニ伴ヒ登記事務激増シタルモ現在ノ登記所ニ至ル距離遠ク住民ノ不便甚シキニ依リ西足寄村、足寄村及湊別村ノ三村ヲ管轄區域トスル登記所ヲ西足寄村字足寄太市街ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

古物商取締法中改正ノ件

大阪市東區伏見町商戸田彌七外四百四十二名呈出

右ノ請願ハ古物商取締法ハ明治二十八年ノ制定ニ係リ時勢ニ伴ハサル不備不完ノ點尠カラサルニ依リ今日ノ實情ニ照ラシ適當ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

秋田縣雄勝郡稻庭町ニ登記所設置ノ件

秋田縣雄勝郡稻庭町農佐藤有秀外三十九名呈出

右ノ請願ハ秋田縣雄勝郡稻庭町、三梨村、皆瀬村ハ湯澤區裁判所駒形出張所ノ管轄ナルモ該出張所ハ其ノ管轄區域ノ最北端ニ偏在セル爲其ノ距離遠ク殊ニ降雪期ニ際シ住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ是等三箇町村ヲ管轄スル登記所ヲ三梨、皆瀬兩村ノ中央稻庭町ニ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

藤原光親卿外四卿ヲ奉祀スル別格官幣社創建ノ件

靜岡縣駿東郡御殿場町會社員勝亦國臣外六十二名呈出

右ノ請願ハ承久ノ際王事ニ盡シタル忠臣藤原光親、源有雅、藤原宗行、藤原範茂及藤原信能ノ五卿ハ其ノ偉勳赫々タルニ拘ラス其ノ遺蹟纔ニ存スルモ殆ムト湮滅ニ近ク未國家ノ宗祀ニ列セラレサルハ甚遺憾ナルニ依リ之レ等英靈ヲ奉齋スル別格官幣社ノ創建ヲ認可セラレ長ヘニ國民ヲシテ敬虔ノ誠ヲ效サシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

上田區裁判所出張所設置ノ件

長野縣小縣郡長窪古町長須藤金次郎呈出

右ノ請願ハ長野縣小縣郡武石村、長窪古町、長久保新町、大門村及和田村ハ各種事業ノ勃興ニ伴ヒ登記事務夥多ナルニ拘ラス管轄上田區裁判所九子出張所ハ其ノ距離遠ク且交通不便ナルヲ以テ是等町村ノ中央ナル長窪古町ニ登記所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

大分、熊本間直通電話架設其ノ他ニ關スル件

熊本縣熊本市熊本縣知事齋藤宗宜外七名呈出

右ノ請願ハ大分縣大分市熊本縣熊本市間ニ直通電話ヲ、長崎縣南高來郡口ノ津村熊本縣天草郡鬼池村間ニ海底電話ヲ架設シ又熊本縣宇土郡三角町長崎縣南高來郡島原町間ト口ノ津村鬼池村間トノ郵便物遞送ヲ開始セララルハ地方發展上裨益スルところ大ナルニ依リ速ニ之レ等機關ノ施設ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一君

○議長(公爵德川家達君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第五十一ヨリ第七十マデ請願、會議

意見書案

陸軍火藥製造所所在地京都府宇治郡宇治村ニ助成金下付ノ件

京都府宇治郡宇治村平民農内川與三郎外六百九十九名呈出

右ノ請願ハ京都府宇治郡宇治村ハ數多ノ御陵墓ノ所在地ナルノミナラス曩ニ陸軍火藥製造所設置ニ伴ヒ其ノ用地買收セラレタル爲恆久的財源タル地租附加税及戸數割ニ減少ヲ來タシタルニ拘ラス擔税力ナキ製造所從業ノ職工等來住者多ク從テ教育費ノ如キハ年ト共ニ膨脹シ財政上ノ困難一方ナラサルニ依リ海軍火藥廠ノ所在町村ニ對スル助成金交付ニ倣ヒ當村ハ助成金ヲ下付セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川 家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

愛知縣知多郡常滑町ニ登記所設置ノ件

愛知縣知多郡常滑町長犬飼薰外一名呈出

右ノ請願ハ愛知縣知多郡常滑町及西浦町ハ人口多ク且知多半島ニ於ケル樞要ナル商工業地ニシテ登記事務夥多ナルニ拘ラス管轄區裁判所ヲ距ルコト遠ク住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ之レ等ヲ管轄區域トスル登記所ヲ常滑町ニ設置セラレタク所要ノ敷地及廳舍ハ所屬町ヨリ貸供スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ

議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

柳津、小出及只見、古町間鐵道敷設ノ件

福島縣大沼郡^{横田村}組合長菅家久三郎外七名呈出

右ノ請願ハ福島縣河沼郡柳津村ヨリ南會津郡只見村ヲ經テ新潟縣北魚沼郡小出町ニ至ルモノト只見村ヨリ分岐シテ南會津郡古町ニ至ル兩豫定線鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル鑛産、林産等幾多富源ノ開發上最重要ノ線路ナルニ拘ラス未開通ナキハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ之レ等ヲ起工完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

北海道旭川市ニ官立高等工業學校設立ノ件

北海道旭川市旭川市長代理助役御手洗正人呈出

右ノ請願ハ北海道ハ由來各種工業ノ資源豊富ナルニ拘ラス其ノ氣候、位置ノ關係ニ因リ優秀ナル研究者及技術者ニ乏シキノミナラス教育機關モ亦不十分ナルハ同道發展上甚遺憾ナルニ依リ地勢並交通其ノ他ノ點ニ於テ最恰適セル旭川市ニ官立高等工業學校ヲ設立シ以テ産業ノ開發ト教育施設ノ充實ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

兵庫縣川邊郡小田村潮江ニ無集配三等郵便局設置ノ件

兵庫縣川邊郡小田村農橋千代藏外十一名呈出

右ノ請願ハ兵庫縣川邊郡小田村ノ内東海道本線鐵道以北ニ在ル大字潮江、濱、次屋等十箇字ハ阪神兩都市ノ中間ニ位シ近時諸工場ノ設立ニ伴ヒ商業著シク發展シ人口亦益々多キヲ加ヘ從テ遞信事務夥多ナルニ拘ラス最寄郵便局ヲ距ルコト遠ク住民ノ不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ前記諸部落中發展最モ顯著ニシテ且交通至便ナル潮江ニ無集配三等郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

津輕新城郵便局ニ電信事務開始ノ件

青森縣東津輕郡新城村長工藤英夫呈出

右ノ請願ハ青森縣津輕郡新城村ハ奥羽本線鐵道ノ開通以來産業著シク發展シ人口亦多キヲ加ヘ從テ電信事務繁キニ拘ラス管轄津輕新城郵便局ハ之レカ取扱局ニアラサル爲住民ノ不便甚シキハ同村發展上遺憾ナルニ依リ速ニ同局ノ電話ヲ利用シ電信受付ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

東海道本線鐵道靜岡驛構内森下踏切ヲ地下道ト爲スノ件

靜岡縣靜岡市八幡町鑛業紅林源平外三十一名呈出

右ノ請願ハ東海道本線鐵道靜岡驛構内ニ在ル通稱森下踏切ハ第一縣道久能

街道ノ要衝ニシテ近時静岡市域擴張ト共ニ交通益々頻繁ナルニ拘ラス之レカ爲毎ニ遮斷ヲ受ケ不利不便尠カラサルモ同市財政上改良工事施行ハ困難ナルニ依リ速ニ國費ヲ以テ之レヲ地下道ニ改メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

米價調節ニ關スル件

北海道上川郡多寄村農富生藤吉外五千四百四十八名呈出

右ノ請願ハ現今ノ如キ米價ノ暴落ハ獨農村ノ疲弊ニ止マラス一般財界ヲ愈不況ナラシメ國民生活ヲ脅威スルモノナルヲ以テ米穀法ノ運用ヲ全カラシムル等請願人等所案ノ方法ニ依リ速ニ米價調節ノ對策ヲ考究セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

北海道土功組合事業助成ニ關スル件

北海道上川郡鷹栖村平民農田中茂部外五名呈出

右ノ請願ハ北海道ニ於ケル土功組合ノ事業ヲ助成シ率テ農村ノ疲弊ヲ救済スルハ同道拓殖上緊要ノコトナルニ拘ラス開墾、造田其ノ他灌漑工事ニ對シ補助小額ニシテ組合員ハ組合維持ニ當リ多額ノ負擔ニ苦ミ加之米價暴落ノ爲經濟上窮極ニ陥レルハ甚遺憾ナルニ依リ土功組合幹線竝溜池工費負債殘額ヲ第二期拓殖費ヨリ支辨セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

意見書案

石狩川架橋ノ件

北海道樺戸郡浦臼村平民農岩崎清澄外一名呈出(二通)

右ノ請願ハ北海道空知郡砂川町字奈井江市街地ヨリ樺戸郡浦臼村ニ通スル地方費道ヲ横斷スル石狩川ノ渡船場ニ橋梁ヲ架設スルハ從來密接ノ關係アル對岸相互ノ運輸交通上資スルトコロ大ナルニ拘ラス今尙不安不便ナル渡船ニ賴レルハ地方發展上甚遺憾ナルニ依リ速ニ國費ヲ以テ之レヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

清津、敦賀間直通命令航路開始ノ件

福井縣敦賀郡敦賀町長田保仁左衛門外一名呈出

右ノ請願ハ清津、敦賀間ハ從來貨客ノ往來旺盛ヲ極ムルニ拘ラス今尙迂回航路ニヨルハ徒費ノ日數多ク甚不利益ナルヲ以テ速ニ補助金ヲ交付シ直通命令航路ヲ開設セシメ優秀船ヲシテ之レニ當ラシメ以テ北鮮ノ開發及日滿、日歐間ノ國際通路トシテ運輸交通並貿易ノ發展ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家 達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

福島地方裁判所白河支部存置ノ件

福島縣西白河郡白河町長丸野實行呈出

右ノ請願ハ福島縣東西白河、岩瀬及石川ノ四郡ハ從來風俗慣習ヲ等シクスルヲ以テ行政區劃上竝司法事務執行上共ニ白河區裁判所ノ管轄區域ニ屬スルコト至當ナルニ拘ラス近時郡山地方民ハ岩瀬郡及石川郡ノ一部ヲ郡山區裁判所ノ管轄區域トナシ且福島地方裁判所支部ヲモ設置セムトスルノ陳情請願アリト聞ク斯クテ若白河區裁判所ノ管轄區域ヲ減少シ又福島地方裁判所白河支部廢止セラレムカ管轄區域ニ於ケル住民ノ不利不便尠カラサルハ其遺憾ナルニ依リ現制ヲ維持セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

大任郵便局ニ集配及電信事務開始ノ件

福岡縣田川郡大任村長村上松次郎外五名呈出

右ノ請願ハ福岡縣田川郡大任村ハ郡ノ中央ニ位シ炭山多ク且田川線鐵道竝私設小倉線鐵道ノ村内ヲ通スルモノアリテ梅田、今任ノ二停車場ヲ有スル等運輸交通發達シ人口亦多キニ拘ラス管轄大任郵便局ハ無集配ナルノミナラス又電報取扱局ニアラサル爲住民ノ不便甚シキハ遺憾ナルニ依リ昭和四年度ヨリ同局ニ集配竝電信事務ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

一時金療兵恩給法改正即行ニ關スル件

山口縣美禰郡於福村平民農末金與之助外十名呈出

福島縣若松市馬場上二之町平民商金子孫七外二十二名呈出

右ノ請願ハ世態ノ進運ト經濟界ノ推移ニ伴ヒ文武官ノ恩給ハ漸次改正セラレタルニ拘ラス軍人傷痍者ハ單ニ一時金ヲ受ケタルモノアルモ生活上何等ノ保障ナク爲ニ今ヤ窮境ニ陥レルモノ尠カラサルハ國民士氣振興上甚遺憾ナルニ依リ速ニ恩給法ヲ改正シ以テ一時金傷痍者及無償傷痍者ニ對シテモ優遇安定ノ途ヲ講セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

北海道空知郡瀧川町ニ區裁判所設置ノ件

北海道空知郡瀧川町長津田美之助外七名呈出

右ノ請願ハ北海道空知郡瀧川町附近一帶ノ地域ハ人口多ク產業竝交通ノ發達著シク爲ニ司法裁判事務繁劇ナルニ拘ラス管轄岩見澤區裁判所ヲ距ルコト甚遠ク住民ノ不利不便至大ナルハ遺憾ナルニ依リ岩見澤區裁判所ト旭川區裁判所トノ中間ニ在ル同町ニ區裁判所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

増毛區裁判所出張所設置ノ件

北海道苫前郡苫前村公吏山谷知五郎外九十一名呈出

右ノ請願ハ北海道天鹽國苫前郡苫前村ハ近時產業發達シ登記事務繁多ナルニ拘ラス管轄増毛區裁判所羽幌出張所ニ至ルノ距離遠ク爲ニ村民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ同村ニ増毛區裁判所出張所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候

因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

北海道檜山郡上ノ國村大字上ノ國村ニ無集配郵便局設置ノ件

北海道檜山郡上ノ國村農久末善八郎外百六十九名呈出

右ノ請願ハ北海道檜山郡上ノ國村ハ人口多ク近時拓殖ノ進捗ニ伴ヒ遞信事務夥多ナルニ拘ラス最寄郵便局ハ漁業部落ニ偏在シ農業部落ヲ距ルコト遠ク其不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ同村大字支中須田ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

北海道枝幸郡頓別村字濱頓別市街ニ區裁判所設置ノ件

北海道宗谷郡稚内町平民農管野榮助外二百八十三名呈出

右ノ請願ハ北海道枝幸郡頓別村ハ地域廣大ニシテ然モ交通ノ要衝ニ位シ近時産業ノ發展ニ伴ヒ取引亦隆盛ニ趨キ從テ民事刑事ノ裁判事件頻繁ナルニ拘ラス管轄裁判所ヲ距ルコト遠ク住民ノ不便甚シキハ遺憾ナルニ依リ速ニ枝幸郡頓別村字濱頓別市街ニ區裁判所ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

青森縣東津輕郡原別村ニ三等郵便局設置ノ件

青森縣東津輕郡原別村長齋藤萬兵衛外二十六名呈出

右ノ請願ハ青森縣東津輕郡原別村ハ其ノ位置國道ニ面シ同地方ニ於ケル産業ノ中心トシテ其ノ發達著シク人口亦益々増加シ從テ遞信事務夥多ナルニ拘ラス最寄郵便局ヲ距ルコト遠ク住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルニ依リ同村大字原別ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

軍人傷痍記章令中改正ノ件

福島縣若松市馬場上二之町平民商金子孫七外二十二名呈出

右ノ請願ハ軍人ニシテ傷痍ヲ受ケ兵役ヲ免除セラレタルハ假令傷痍ノ輕重アリト雖兵役義務ニ服シ國家ニ盡スコト敢テ軒輊ナキニ拘ラス軍人傷痍記章令ハ軍人傷痍記章受領者ヲ増加恩給受給者ニ限リ一時恩給受給者ヲ除外スルノ差別ヲ附シタルノミナラス願出ヲ條件トシタルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同令ヲ適當ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 徳川 家達
内閣總理大臣男爵田中義一殿

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願モ請願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔川崎卓吉君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 川崎君ハドウ云フコトデスカ

○川崎卓吉君 日程第二十九 六大都市ニ關スル法律案、特別委員長報告ト
ナツテ居リマスノデ、此際日程ヲ變更サレムコトヲ望ミマス

○男爵矢吹省三君 賛成

○子爵野村益三君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 川崎卓吉君ノ議事日程ヲ變更シテ、日程第二十九、
六大都市ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開クト云フ說ニ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

六大都市ニ關スル法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月二十四日

右特別委員長

伯爵 松 木 宗 隆

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 川崎君ノ登壇ヲ望ミマス

〔川崎卓吉君演壇ニ登ル〕

○川崎卓吉君 只今議題ニナツテ居リマスル六大都市ニ關シマスル法律案ノ
特別委員審査ノ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ衆議院提出ニ係ル六大都市
特別市制ニ關スル法律案デアリマスルガ、委員會ニ於キマシテハ本案ヲ審議
イタシマシタ結果、六大都市ニ特別市制ヲ設クルコトハ趣旨ニ於テハ必シモ
反對デハナイノデアリマスルガ、本案ハ規定ガ極メテ簡單デアリマシテ施行
上支障アリト認メマシタノデ、一應之ヲ否決スルコトニ決シタノデアリマス、
併ナガラ前述ノ如クニ六大都市ニ對シテ特別ノ制度ヲ設クルコトハ極メテ肝要
ナコトデアリマスルノデ、政府ヲシテ速ニ成案ヲ得セシメタイト云フ督勵ノ
趣旨ヲ以テ、本委員會ニ於テ左ノ如キ希望決議ヲ滿場一致ヲ以テ可決シタ次
第デアリマス

希望 決議

六都市ニ對シテハ特別制度ヲ設クルノ必要アリト認ムルヲ以テ政府ニ於テ
ハ之ニ關シ可成速ニ調査攻究ヲ遂ケ成案ヲ得テ之ヲ議會ニ提出セラレンコ

トヲ望ム

本委員會ニ託サレマシタ六大都市ニ關スル法律案ニ關スル審査ノ結果ハ大要
右ノ通りデアリマスル、御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ發言モ無イト存ジマスカラ採決イタシマス、
本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者少數〕

○議長(公爵徳川家達君) 起立者少數、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 只今兩院協議會ガ開會中デゴザイマス、又特別委
員會ノ未ダ報告ヲ議長ニ提出セラレナイモノモゴザイマス、議事ノ都合上暫
ク休憩ヲ致シマス、本日ハ御承知ノ通り最終ノ日デゴザイマスカラ、成ルベ
ク御退院ノナイコトヲ望ミマス

午後九時十七分休憩

午後十一時五十六分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

本日北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル
法律案兩院協議委員正副議長互選ノ結果左ノ通當選セリ

議長 公爵 一條 實 孝 君

副議長 伯爵 松 平 賴 壽 君

本日兩院協議委員議長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十三鐵道等買收ノ爲公債發行ニ關スル法
律案兩院協議會成案成立報告書

本日本院ニ於テ左ノ衆議院提出案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シ
タル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

六大都市ニ關スル法律案

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正
ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

府縣制中改正法律案

市制中改正法律案

町村制中改正法律案

北海道會法中改正法律案

北海道地方費法中改正法律案

昭和四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ前刻ニ續キマシテ、會議ヲ開キマス、内閣總理大臣ヨリノ通牒ニ接シマシタカラ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

昭和四年三月二十五日

内閣總理大臣 男爵 田 中 義 一

貴族院議長公爵德川家達殿

通 牒

本月二十六日貴族院ニ於テ帝國議會閉院式執行被 仰出候

○議長(公爵德川家達君) 是デ散會イタシマス

午後十二時五十八分散會